

平成 27 年度

宜野湾市の教育



志真志小学校・志真志幼稚園完成予想図

宜野湾市教育委員会



市章

市章は『ギノ』を図案化したもので「ギ」で躍進の翼を形どり、円で湾を表わし、協力の輪と平和を表わす。

(1967年6月17日)

健康都市宣言

宜野湾市は全市民が明るく、美しく、豊かな環境の中で身心ともに健やかな合理的生活がいとなめる健康都市建設に市民の総力を結集し、その推進をはかるため、宜野湾市を健康都市とすることを宣言する。

1964年7月1日

健康都市建設市民の誓い

わたしたち宜野湾市民は、健康都市宣言の本旨を高揚し明るく、美しく、豊かな住みよい健康都市を建設するために、次の事項の実現に努力することを誓います。

推進目標

- 1 丈夫な体に育てましょう。
- 1 りっぱな市民になりましょう。
- 1 交通道徳を高めましょう。
- 1 暮らしの向上をはかりましょう。
- 1 明るく美しいまちにしましょう。

表紙説明

志真志小学校・志真志幼稚園完成予想図

はじめに

近年、核家族化や少子高齢化、価値観の多様化、インターネットや携帯電話、ゲーム機の急速な普及など子どもたちを取り巻く生活環境が大きく変化しています。

いじめ問題や不登校の増加、規範意識の低さ等様々な課題が顕在化し、学校・家庭・地域の教育力の向上や充実が求められています。

このようななか、宜野湾市教育委員会では「学び」と「つながり」の視点に、人と人、学校と家庭、地域郷土と国際社会、現在と未来をつなぐ活動を学びをとおして進めていくことが重要と考え、大人も子どもも共に学び、自らの未来を切り拓いていくことができる人材の育成を目指し、平成 28 年度から平成 32 年度までの 5 年間を計画推進期間とした「宜野湾市教育振興基本計画」を策定いたしました。

大人も子どもの教育に関わりながら成長していけると考えます。学校教育と社会教育が融合することにより、家庭や地域の教育力を高め、市民一人一人も自らの夢に向かって輝くことのできる教育の実現を目指してまいります。

生涯学習においては、中央公民館でのサークル活動の支援を行い、市民図書館は「知の拠点」としての役割を果たすべく、充実を図ってまいります。

博物館では、「企画展」をとおして市民に聞かれた博物館として運営にあたっていきます。また、常設展示場改善の基本設計を行い、次年度着工に向け諸準備を整えてまいります。

社会教育においては、「学校支援地域本部事業」を推進し、地域全体で学校教育を支援する体制を図ってまいります。

芸術文化活動は「多くの市民が文化を享受できる社会」づくりに努めると共に、生涯スポーツの推進に努めてまいります。

教育の力が、地域社会の発展に多大な影響力を持っていたとの歴史を教訓として、教育の普遍性と時代性、地域性の三つのスタンスで本市教育上の優位性を活かし新たな教育の実践を行なっていきたいと考えます。

どうかご高覧いただき、忌憚ないご意見、ご指導をお寄せ下さいますようお願い致します。

平成 27 年 8 月

宜野湾市教育委員会
教育長 玉城 勝秀

目 次

宜野湾市の沿革	1
宜野湾市の位置と地勢	1
教 育 行 財 政	
1. 教育行政	2
2. 教育財政	18
3. 育英会事業	20
学 校 教 育	
1. 宜野湾市の学校教育	22
2. 学校教育状況	24
教 育 施 設	
1. 基本方針	35
2. 施設配置図	35
3. 学校教育施設	36
4. 社会教育施設	37
5. 学校敷地の状況	38
6. 学校校舎の必要面積と保有状況	39
7. 各学校施設の耐震改修状況調査結果	40
学 校 給 食	
1. 基本方針	41
2. 重点目標	41
3. 機構図	42
4. 学校給食運営図	42
5. 食育への取り組み	43
6. 地産地消の取り組み	44
7. 学校給食における食物アレルギーの取り組み	44
8. 学校給食の栄養量	45
は ご ろ も 学 習 セ ン タ ー	
1. 基本方針	46
2. 本年度の取組	46
3. 業務運営の効率化	46
4. 平成 27 年度 はごろも学習センター年間事業計画	47
5. 宜野湾市教育情報化推進計画概念図	48
6. 適応指導教室「若葉教室」の概要	49
7. 平成 26 年度 適応指導教室「若葉教室」	50

青少年サポートセンター

1. 基本方針	52
2. 業務内容	54
3. 組織図	56
4. 相談指導員の種類・配置先・任務等について	57
5. 平成 26 年度青少年サポートセンター教育相談室活動状況	58
6. 平成 26 年度 夜間街頭指導員による指導実績	59

社会教育

1. 基本方針	60
2. 重点目標	60
3. 平成 26 年度主な事業実績	61
4. 平成 27 年度社会教育係事業計画	64

社会体育

1. 基本方針	65
2. 重点目標	65
3. 宜野湾市スポーツ推進審議会	65
4. 宜野湾市スポーツ推進委員	65
5. 学校体育施設開放事業	66
6. 平成 27 年度事業計画	67
7. 平成 26 年度事業実績	68
8. 平成 26 年度 宜野湾市学校体育施設開放事業(実績)	69
9. 平成 26 年度スポーツ少年団県外派遣実績	69
10. 平成 27 年度学校体育施設開放事業団体登録数	70

中央公民館

1. 基本方針	71
2. 運営方針	71
3. 最重点施策・重点施策・取り組み事項	71
4. 平成 27 年度事業計画	72
5. 平成 26 年度事業報告	73
6. 中央公民館で活動するサークル	78
7. 平成 26 年度中央公民館図書室利用状況	79
8. 平成 26 年度中央公民館利用状況	80

市民図書館

1. 基本方針	81
2. 目標	81
3. 重点目標	81
4. 実施計画	81

5. 平成 26 年度宜野湾市子育て支援ブックスタート事業	83
6. ちゅらゆめ号ステーション案内	85

文 化 事 業

1. 基本方針	87
2. 文化財の保護・活用	88
3. 市史の編集	95
4. 文化振興	99

市 立 博 物 館

1. 基本方針	105
2. 重点目標	105
3. 設置目的と常設展示室の案内	105
4. 施設の内容	106
5. 開館日・休館日	107
6. 観覧料	107
7. 運営体制	107
8. 博物館の収蔵資料	107
9. 証明書交付	107
10. 平成 27 年度年間事業計画	108
11. 平成 26 年度の活動実績	109
12. 宜野湾市立博物館の運営に関する基本的方針	114

資 料

1. 学校職員一覧	117
2. 学校医・学校歯科医・学校薬剤師一覧表	118
3. 宜野湾市就学指導委員会委員	119
4. 宜野湾市学校給食センター運営委員会委員	120
5. 宜野湾市はごろも学習センター運営委員会委員	121
6. 宜野湾市社会教育委員	121
7. 宜野湾市立中央公民館運営審議会委員	121
8. 宜野湾市民図書館協議会委員	122
9. 宜野湾市立博物館協議会委員	122
10. 宜野湾市文化財保護審議会委員	122
11. 宜野湾市史編集委員会委員	123
12. 宜野湾市スポーツ推進委員	123

宜野湾市の沿革

本市の母体である宜野湾間切は、1671年(康熙10年)に浦添間切から我如古、宜野湾、神山、嘉数、謝名具志川(大山)、大謝名、宇地泊、喜友名、新城、伊佐の10ヵ村、中城間切から前普天間(野嵩)、寺普天間(普天間)そして北谷間切から安仁屋をそれぞれ分割し、大川(真志喜)を新設し14ヵ村をもって設立されました。

1879年(明治12年)の廃藩置県後、沖縄県庁の支庁として中頭郡役所が普天間に新設され、つづいて郡教育部会事務所、県立農事試験場等の官公署が設立されるなど本島中部の政治、経済、教育の中心地として活気を呈していました。

第二次世界大戦においては、本市も壊滅的な戦災を被りましたが、野嵩地域が奇跡的に消失を免れて、戦闘地域住民の収容所となり、そのため他の市町村に先んじて戦後処理作業が行われました。

その後、市域の主要な部分が米軍基地として接收され、基地のまちとしての性格を強めました。同時に市内の普天間を中心に都市化が進展し、1962年(昭和37年)7月1日に市制が施行され、新生「宜野湾市」が誕生しました。

市制施行後もなお、米軍基地が市の中央部に位置するため市街地は国・県道沿いにドーナツ状に発展し、特異な形態になっています。近年、那覇市の外延的な拡大に伴い、市街化が進展しつつあります。さらに、沖縄国際大学、琉球大学が立地し、沖縄コンベンションセンターが整備されるなど、県内の高次都市機能の一部を担う重要な地域となりつつあります。

また、1996年(平成8年)12月、日米特別行動委員会(SACO)で普天間飛行場全面返還合意が発表され、新たな宜野湾市の街づくりが始まろうとしています。

宜野湾市の位置と地勢

本市は、沖縄本島の中南部西海岸・東シナ海に面した位置にあり、北に北谷町、北中城村東に中城村、南には浦添市、西原町と接しています。県都那覇市より北に12km、沖縄市より南に6kmの地点にあり、市内をドーナツ状に国道58号線、国道330号線が南北に、県道宜野湾北中城線、県道34号線が東西にはしり、さらには沖縄自動車道の北中城インターチェンジや西原インターチェンジへもつながる交通上の重要な要所に位置しています。

本市の総面積は、19.70km²で東西6.1km、南北5.3kmの範囲です。地勢は、海岸線の出入りが比較的少なく、珊瑚礁が発達しています。地形は、おおむね平坦ですが、海岸線に対して国道58号線以東は台地となっています。市域の中央部と北側部分は米軍基地となっており、その面積は全市域の約33%を占めています。また、河川は宇地泊川、浦添市界に牧港川、北谷町界に普天間川があります。

気候は亜熱帯性であり、年平均気温は22.4℃と四季を通じて温暖で、春から夏にかけて雨量が多く、梅雨明けとともに長い夏が続きます。また、夏から秋にかけて熱帯性低気圧の進路となり台風の襲来が多くなります。

教育行財政

1. 教育行政

(1) 教育委員会

教育行政を執行するため教育委員会を設置する。

教育委員会は5人の委員をもって組織する合議制の執行機関である。

委員は当該地方公共団体の長の被選挙権を有し、人格高潔で教育、学術及び文化に関し識見を有する者の中から地方公共団体の長が議会の同意を得て任命し、任期は4年である。

委員長は、委員の中から互選され、教育委員会会議を主宰し、教育委員会を代表する。

また、教育委員会に教育長を置く。

教育長は、教育委員会が任命し、教育委員会の指揮監督の下に教育委員会の権限に属するすべての事務をつかさどり、事務局の事務を総括し、所属職員を指揮監督する。

(2) 教育委員



宮城 邦子
(委員長)



諸喜田 徹
(委員長職務代理)



平良 明子
(委員)



我謝 修
(委員)



玉城 勝秀
(教育長)

役職名	氏名	任期	備考
委員長	宮城 邦子	平成25年12月25日～平成29年12月24日	委員長就任 平27.7.1
委員長 職務代理	諸喜田 徹	平成26年7月1日～平成30年6月30日	
委員	平良 明子	平成26年7月1日～平成30年6月30日	
委員	我謝 修	平成24年12月25日～平成28年12月24日	
教育長	玉城 勝秀	平成25年4月1日～平成29年3月31日	

(3) 教育委員会の会議

教育委員会の会議は、月1回の定例会と臨時に開催される臨時会があり、平成25年4月1日から平成26年3月31日までの会議開催数、付議事件数とその内容は次のとおりである。

① 開催数 定例会 12回 臨時会 3回 合計 15回

② 事件数

付議事件	定例会	臨時会	計
人事、服務関係について	3	4	7
条例、規則等の制定、改廃について	19	3	22
付議機関等の委員の任命、委嘱について	10	1	11
予算関係について	6	0	6
その他	4	0	4
合計	42	8	50

(4) 歴代教育長

氏名	期間
知念俊吉	昭和47年5月15日から昭和50年6月15日まで
多和田真祐	昭和50年7月4日から昭和54年4月2日まで
宮城豊吉	昭和54年5月7日から昭和54年7月31日まで
宮里敏行	昭和54年9月13日から昭和62年3月31日まで
比嘉定英	昭和62年4月1日から平成3年3月31日まで
花城清英	平成3年4月1日から平成6年6月30日まで
普天間朝智	平成6年7月22日から平成8年5月31日まで
高宮城昇	平成8年7月26日から平成12年7月7日まで
宮城義昇	平成12年10月3日から平成16年10月2日まで
普天間朝光	平成16年10月5日から平成20年10月4日まで
宮城茂雄	平成21年4月1日から平成25年3月31日まで
玉城勝秀	平成25年4月1日から平成29年3月31日まで

(5) 教育委員会の沿革

年	月	日	事	項
昭 27.	2.	28	布令第 66 号による琉球教育法公布	
	3.	17	布令第 70 号区教育委員並びに教育区会計係特別選挙法公布	
	4.	1	琉球教育法公布により、初等学校を小学校に、中等学校を中学校に改称	
		4	宜野湾村教育委員会発足	
			委員長に知念清一、委員に古波蔵信雄、前田英吉、儀間仁栄、仲村オチヨが就任	
昭 29.	3.	27	教育委員の前田英吉退任により、又吉亀助就任	
昭 31.	3.	26	教育委員の又吉亀助、古波蔵信雄退任により、石川栄良、桃原正賢就任	
昭 32.	3.	3	布令第 165 号による新教育法公布	
			教育委員の桃原正賢退任により、島袋全一就任	
昭 33.	3.		教育委員の儀間仁栄、仲村オチヨ退任により、仲村春勝、屋嘉比盛長就任	
昭 34.	3.	9	教育委員の知念清一、屋嘉比盛長退任により、高橋清幸、稲福仁正就任	
			委員長に仲村春勝、委員に石川栄良、島袋全一、高橋清幸、稲福仁正	
昭 36.	3.	9	教育委員の稲福仁正退任により、玉城宗吉就任	
昭 38.	3.	8	教育委員の高橋清幸退任により、古波蔵信雄就任	
昭 40.	3.	9	教育委員の玉城宗吉、古波蔵信雄退任により、崎間健一郎、桃原正賢就任	
	4.	1	大山学校給食センター開設	
昭 41.			教育税廃止	
昭 42.	3.	1	教育委員の島袋全一退任により、仲本正重就任	
昭 43.	4.	1	大山幼稚園、嘉数幼稚園開園	
昭 44.	3.	13	教育委員の桃原正賢退任により、知念俊吉就任	
			委員長に知念俊吉、委員に石川栄良、仲村春勝、崎間健一郎、仲本正重	
	4.	1	普天間第二小学校が普天間小学校より分離開設 初代校長に登川義明就任	
		28	教育委員の崎間健一郎退任により、比嘉憲永就任	
	9.	5	宜野湾学校給食センター開設	
昭 45.	1.		嘉数中学校屋内運動場完成	
	4.	1	普天間幼稚園が開園	
昭 46.	3.		嘉数小学校校舎建築	
		16	教育委員の仲村春勝退任により、宮城豊吉就任	
	4.	1	宜野湾幼稚園が開園	
昭 47.	4.	1	普天間第二幼稚園開園	
	5.	14	「教育委員法」に基づく教育区制度廃止	
	5.	15	本土復帰に伴い、宜野湾区教育委員会が宜野湾市教育委員会となる	
			本土復帰により、教育委員任命制となる	
			委員長に仲本正重、委員に石川栄良、比嘉憲永、宮城豊吉、知念俊吉	

年 月 日	事 項
昭 47. 5. 15	教育委員会の機構改革により、事務局に総務課、教育課を置き、初代教育長に知念俊吉就任
12. 25	普天間中学校屋内運動場完成
昭 48. 3.	嘉数中学校校舎建築
4. 1	教育委員の仲本正重、石川栄良退任により米須清與、宮城孝吉就任 委員長に米須清與、委員に宮城豊吉、比嘉憲永、宮城孝吉、知念俊吉
5. 3	復帰記念沖縄特別国民体育大会「若夏国体」開催
6. 3	教育委員の米須清與退任
10.	宜野湾幼稚園園舎建築
18	教育委員に松川正義就任
12. 3	大山小学校屋内運動場完成
昭 49. 4. 1	教育委員に松川正義再任 委員長に宮城孝吉、委員に松川正義、比嘉憲永、宮城豊吉、知念俊吉
昭 50. 3. 17	宜野湾小学校及び普天間小学校屋内運動場完成
4. 1	教育委員に宮城孝吉再任 委員長に松川正義、委員に宮城豊吉、比嘉憲永、宮城孝吉、知念俊吉
5. 1	普天間第二学校給食センター開設
6. 15	教育委員(教育長)の知念俊吉退任
27	教育委員に多和田真祐任命
7. 4	教育長に多和田真祐任命
昭 51. 3. 25	嘉数小学校屋内運動場完成
4. 1	教育委員に宮城豊吉再任 委員長に宮城孝吉、委員に松川正義、宮城豊吉、比嘉憲永、多和田真祐、大謝名小学校・幼稚園開校初代校長に伊佐常英就任
昭 52. 3. 13	普天間第二小学校屋内運動場完成
31	教育委員の比嘉憲永任期満了により退任
4. 1	教育委員に崎間健一郎任命、教育委員に多和田真祐再任 委員長に宮城孝吉、委員に松川正義、宮城豊吉、崎間健一郎、多和田真祐
昭 53. 3. 28	大謝名小学校屋内運動場完成
31	教育委員の松川正義任期満了により退任
4. 1	委員長に宮城豊吉、委員に崎間健一郎、宮城孝吉、多和田真祐
6. 1	教育委員に花城清善任命 普天間小学校校舎建築
昭 54. 3. 31	教育委員の宮城孝吉任期満了により退任
4. 1	教育委員に宮里敏行任命 委員長に宮里敏行、委員に花城清善、崎間健一郎、宮城豊吉、多和田真祐、真志喜中学校開校初代校長に我如古盛仁就任
昭 54. 4. 2	教育委員(教育長)の多和田真祐辞任
5. 7	教育長に宮城豊吉任命

	年	月	日	事 項		
昭 54.	7.	7.	1	教育委員に知花幸至任命		
			31	教育委員(教育長)の宮城豊吉辞任		
	9.	7.	7	教育委員長に花城清善任命、委員に知花幸至、崎間健一郎、 宮城豊吉、宮里敏行		
			13	教育長に宮里敏行任命		
昭 55.	3.	31.	31	教育委員の宮城豊吉任期満了により退任		
			4.	1	機構改革に伴い保健体育課が新設される	
	6.	25.	25	真志喜中学校屋内運動場完成		
			7.	8	教育委員に諸喜田哲夫任命	
	9.	1.	1	真志喜学校給食センター開設		
			7	教育委員長に花城清善再任、委員に知花幸至、崎間健一郎、 諸喜田哲夫、宮里敏行		
昭 56.	3.	31.	31	教育委員の崎間健一郎、知花幸至任期満了により退任		
			6.	29	教育委員に知花幸至(再任)、恵敏行任命、教育委員長職務 代理者に知花幸至就任	
	7.	1.	1	宜野湾市立嘉数高台プール完成		
			3	宜野湾市立グラウンド完成		
	9.	3.	3	宜野湾小学校プール完成		
			4.	1	志真志小学校開校初代校長に宮城真英就任、志真志幼稚園開園	
昭 57.	6.	1.	1	教育委員に花城清善再任教育委員長に花城清善就任 委員に知花幸至、諸喜田哲夫、恵敏行、宮里敏行		
			12.	25	宜野湾市民会館開館	
	昭 58.	3.	7.	7	志真志小学校屋内運動場完成	
				15	普天間小学校プール完成	
昭 59.	4.	1.	1	教育委員に宮里敏行再任 教育長に宮里敏行再任		
			6.	1	教育委員長に花城清善就任 委員に知花幸至、諸喜田哲夫、恵敏行、宮里敏行	
	昭 60.	4.	1.	1	宜野湾市立中央公民館開館	
				7.	8	教育委員に諸喜田哲夫再任
昭 61.	6.	28.	28	教育委員の知花幸至、恵敏行任期満了により退任		
			12.	1.	1	教育委員長に諸喜田哲夫就任 委員に花城清善、宮里敏行
					24	教育委員に普天間朝英、天久勇吉任命
昭 61.	1.	17.	17	宜野湾中学校校舎完成		
			3.	14.	14	嘉数小学校プール完成
	18.	25.			18	普天間中学校校舎改築
			4.	1.	25	宜野湾市立体育館完成、宜野湾中学校屋内運動場完成
	4.	1			宜野湾中学校開校 初代校長に仲村将弘就任	
	5.	1	教育委員長職務代理者に普天間朝英就任			

	年	月	日	事 項
昭 61.	7.	1		教育委員に宮城武雄任命
	10.	17		宜野湾中学校屋外運動場照明施設完成
昭 62.	3.	4		宜野湾中学校プール完成
		13		宜野湾市立野球場完成
		14		普天間中学校プール完成
	4.	1		比嘉定英教育長に任命
	9.	2		第 42 回国民体育大会「海邦国体」(夏季大会)開催
	10.	25		第 42 回国民体育大会「海邦国体」(秋季大会)開催
	12.	1		教育委員長に宮城武雄就任
昭 63.	1.	11		宜野湾市立多目的屋内運動場完成
	2.	9		大謝名小学校プール完成
		29		真志喜中学校プール完成
	3.	2		パソコンによる個別学習の導入
	7.	8		教育委員に諸喜田哲夫再任
	12.	1		教育委員長に宮城武雄再任
	平元.	1.	8	
4.		1		宜野湾市公共施設管理公社設立
9.		12		衆議院沖特委による普天間第二小学校視察来市
		25		嘉数小学校屋外運動場照明施設完成
12.		1		教育委員長に諸喜田哲夫就任
平 2.		24		教育委員に普天間朝英、天久勇吉再任
	1.	8		委員長職務代理者に天久勇吉就任
	4.	1		宜野湾市立教育研究所設置
	7.	1		教育委員に宮城武雄再任
	11.	1		普天間中学校屋外運動場証明施設完成
	12.	1		教育委員長に天久勇吉就任、教育委員長職務代理者に普天間朝英就任
	平 3.	3.	31	
				嘉数中学校内運動場柔剣道場完成
				教育委員(教育長)の比嘉定英任期満了により退任
4.		1		教育長に花城清英任命
9.		21		宜野湾市立体育館空調設備設置
平 3.	11.	27		宜野湾市民図書館開館
	11.	30		大山小学校校舎改築完成
	12.	1		教育委員長に天久勇吉就任、教育委員長職務代理者に普天間朝英就任
平 4.		16		大山小学校プール完成
	1.			真志喜中学校屋外運動場照明施設完成
	5.	1		機構改革に伴い、二部体制実施(教育部、指導部)
平 4.	7.	8		教育委員に諸喜田哲夫再任
	12.	1		教育委員長に天久勇吉就任、教育委員長職務代理者に普天間朝英就任
平 5.	3.	22		大山小学校屋内運動場改築

	年	月	日	事 項
平 5.	12.	1		教育委員長に宮城武雄就任、教育委員長職務代理者に諸喜田哲夫就任
			23	教育委員の普天間朝英任期満了により退任
			24	教育委員に天久勇吉再任 教育委員に伊佐ハツ任命
平 6.	1.	5		宜野湾小学校校舎改築
		3.	18	嘉数中学校プール完成
		6.	3	教育委員長の宮城武雄任期満了により退任 教育委員(教育長)の花城清英辞任
		7.	1	教育委員長に天久勇吉就任、教育委員長職務代理者に諸喜田哲夫就任 教育委員に普天間朝智任命
		22	教育長に普天間朝智任命	
平 7.	2.	10.	2	教育委員に知名定昭任命
		2.	24	普天間幼稚園園舎改築
		28	嘉数幼稚園園舎改築	
		3.	1	普天間中学校屋内運動場改築
		4.	1	教育委員に知名定昭再任
平 8.	3.	7.	1	教育委員長に天久勇吉再任、教育委員長職務代理者に知名定昭就任
		3.	31	普天間第二幼稚園園舎改築、普天間第二小学校校舎及び屋内運動場改築普天間第二小学校プール完成
		5.	31	教育委員(教育長)の普天間朝智辞任
		7.	1	教育委員長に天久勇吉再任、教育委員長職務代理者に伊佐ハツ就任
		7	教育委員の諸喜田哲夫任期満了により退任	
平 9.	7.	8	教育委員に玉那覇仁、高宮城昇任命	
		26	教育長に高宮城昇任命	
		7.	1	教育委員長に天久勇吉再任、教育委員長職務代理者に伊佐ハツ就任
		12.	23	教育委員の天久勇吉、伊佐ハツ任期満了により退任
平 10.	1.	24	教育委員に仲本實、伊佐好子任命	
				教育委員長に知名定昭再任、教育委員長職務代理者に玉那覇仁就任
		1.	28	宜野湾小学校屋内運動場改築
平 11.	7.	7.	1	教育委員に玉那覇仁任命
		12.	24	教育委員長に玉那覇仁就任
		1.	18	教育委員長職務代理者に仲本實就任
平 12.	2.	15		長田幼稚園園舎完成長田小学校校舎及び屋内運動場完成
		4.	1	長田小学校開校初代校長に奥間輝夫就任、長田幼稚園開園 教育委員の知名定昭任期満了により退任、教育委員に桃原隆任命
		6.	1	宜野湾市立博物館開館
		12.	24	教育委員長に玉那覇仁再任、教育委員長職務代理者に仲本實就任
平 12.	4.	1		教育部に施設課を設置

	年	月	日	事 項
平 12.	7.	7.	7	教育長の高宮城昇、任期満了により退任
			9	国際平和子どもサミットINぎのわん開催
	10.	3	教育委員に宮城義昇任命、教育長に宮城義昇任命	
	12.	24	教育委員長に仲本實就任、教育委員長職務代理者に伊佐好子就任	
平 13.	3.	30	30	宜野湾幼稚園園舎改築
			10.	31
	12.	23	23	教育委員の仲本實任期満了により退任
			24	教育委員の伊佐好子再任
			25	教育委員に宮城朝春任命 教育委員長に桃原隆就任、教育委員長職務代理者に伊佐好子就任
平 14.	1.	31	31	嘉数幼稚園園舎増改築完成
			3.	15
	4.	5	大謝名小学校地域学校連携施設完成	
	6.	3	教育委員の玉那覇仁任期満了により退任	
	7.	1	教育委員に嘉手苺喜郎任命	
	9.	1	はごろも学習センター開所	
	平 15.	1.	15	15
8.				29
11.		14	大山学校給食センター増改築完成	
平 16.	1.	15	15	教育委員長に嘉手苺喜郎就任、教育委員長職務代理者に宮城朝春就任
			3.	15
	3.	24	24	長田小学校校舎増築
			26	普天間第二小学校総合遊具設置
			4.	19
	3.	21	21	宜野湾市立グラウンド全天候型へ改修
			3	宜野湾学校給食センター改築
	6.	14	幼稚園預かり保育開始(普天間第二幼稚園、志真志幼稚園)	
	10.	2	2	教育長の宮城義昇任期満了により退任
5			教育委員に普天間朝光任命、教育長に普天間朝光任命 教育委員に新垣英子任命	
16			教育委員長に嘉手苺喜郎再任、教育委員長職務代理者に新垣英子就任	
平 17.	4.	12	12	幼稚園預かり保育 4 園に拡大(普天間幼稚園、普天間第二幼稚園、 志真志幼稚園、宜野湾幼稚園)
			18	「宜野湾市英語教育特区」市内全小学校英語授業開始
	12.	23	23	教育委員の宮城朝春、伊佐好子任期満了により退任
			26	教育委員に玉寄澄子、佐渡山美智子任命
			16	教育委員長に嘉手苺喜郎再任、教育委員長職務代理者に新垣英子就任
平 18.	2.	24	24	大謝名幼稚園園舎増改築

	年	月	日	事 項
平 18.	4.	1		幼稚園預かり保育 6 園に拡大(H16 普天間第二幼稚園、志真志幼稚園、H17 普天間幼稚園、宜野湾幼稚園、H18 大山幼稚園、大謝名幼稚園)
	6.	3		教育委員長の嘉手苺喜郎、任期満了により退任
	7.	3		教育委員に玉城勝秀任命
		18		教育委員長に玉城勝秀就任、教育委員長職務代理者に新垣英子就任
平 19.	4.	1		幼稚園預かり保育全園に拡大(H16 普天間第二幼稚園、志真志幼稚園、H17 普天間幼稚園、宜野湾幼稚園、H18 大山幼稚園、大謝名幼稚園、H19 嘉数幼稚園、長田幼稚園)
				幼稚園 2 年保育モデル事業スタート(嘉数幼稚園、長田幼稚園)
	7.	18		教育委員長に玉寄澄子就任、教育委員長職務代理者に新垣英子就任
	9.	28		嘉数中学校校舎改築
	8.	22		大山給食センター増築
平 20.	7.	18		教育委員長に玉寄澄子就任、教育委員長職務代理者に新垣英子就任
	9.	3		市民会館舞台照明改修工事完了
	10.	4		教育委員長職務代理者の新垣英子、教育長の普天間朝光、任期満了により退任
		6		教育委員長職務代理者に佐渡山美智子就任
	12.	22		教育委員に高江洲善勝任命
平 21.	3.	30		市民図書館入退館システム導入事業完了
	4.	1		教育委員に宮城茂雄任命教育長に宮城茂雄任命
	7.	18		教育委員長に高江洲善勝就任
		21		教育委員長職務代理者に佐渡山美智子就任
	12.	25		教育委員長職務代理者の佐渡山美智子、教育委員の玉寄澄子、任期満了により退任
		26		教育委員長職務代理者に上原助勝就任
平 22.	1.	29		嘉数小学校校舎増改築
	5.	17		(仮称)大山小学校分離新設校、幼稚園の基本構想、基本計画の策定
	7.	1		教育委員に島崎映子、宮城典子任命
		18		教育委員長に上原助勝就任、教育委員長職務代理者に高江洲善勝就任
	8.	1		平成 22 年度全国高等学校総合体育大会(アーチェリー、卓球)開催
	12.	1		宜野湾中学校校舎大規模改造
平 23.	7.	18		教育委員長に上原助勝再任、教育委員長職務代理者に島崎映子就任
		28		大山小学校分離新設校の名称をはごろも小学校、幼稚園に決定同校の通学区域を設定
	11.	3		宜野湾市民図書館開館 20 周年記念式典開催
平 24.	3.	29		真志喜中学校校舎改築
	7.	18		教育委員長に島崎映子就任、教育委員長職務代理者に宮城典子就任
	12.	21		教育委員の高江洲善勝、任期満了により退任
		25		教育委員に我謝修任命

	年	月	日	事 項
平 25.	3.	31		教育長の宮城茂雄、任期満了により退任
	4.	1		教育委員に玉城勝秀任命、教育長に玉城勝秀任命
	7.	18		教育委員長に宮城典子就任教育委員長職務代理者に我謝修就任
	12.	25		教育委員の上原助勝、任期満了により退任
平 26.		26		教育委員に宮城邦子任命
	3.	20		はごろも小学校校舎・幼稚園園舎完成
	4.	1		はごろも小学校開校 初代校長に高森新一就任、はごろも幼稚園開園
		1		新三学期制度実施 幼稚園 2 年保育全園に拡大
	6.	30		教育委員長の宮城典子、教育委員の島崎映子、任期満了により退任
	7.	1		教育委員長に我謝修就任、教育委員長職務代理者に宮城邦子就任
平 27.		1		教育委員に平良明子、諸喜田徹任命
	4.	1		宜野湾学校給食センター民営化
				子ども子育て支援新制度施行
	7.	1		教育委員長に宮城邦子就任、教育委員長職務代理者に諸喜田徹就任

(6) 第三次宜野湾市総合計画 基本構想

市民が主役の「ねたて」の都市をめざして人材豊かな宜野湾市づくりを推進する

まちづくりは、地域に住み、働き、学び、憩う全ての人々と行政との共同作業です。市民が地域に愛着を持ち、自主的、主体的に創造的な活動が発揮できるよう、また、地域のコミュニティが世代を越えて結びつき新たな役割が担えるよう、再構築を図ることが肝要です。『市民が主役の「ねたて」の都市・ぎのわん』を実現するためにも「情報の共有化と多彩な参加による市民力を育成する」、「響きあい、共に育つ心身豊かな社会の実現をすすめる」を施策の柱として、人材豊かな宜野湾市づくりを推進します。

(7) 教育目標

響きあい、共に育つ心身豊かな社会の実現をすすめる

まちづくりの基本は人づくりです。地域が人を育て、人が地域を創造し発展させていきます。高齢化社会の到来や余暇時間の増大、価値観の変化などによって、市民一人ひとりの生きがいづくりや自己実現の要望も多様化してきています。このような状況を踏まえ、人生の初期段階における学校教育においては、実践的コミュニケーション能力の向上などの基礎・基本の確実な定着を図り、生きる力を身につけるとともに、知・徳・体の調和のとれた人間の育成を目指します。また、社会教育の重要性はますます大きくなっていることから、多様化・高度化するニーズに応え、市民の生きがいづくりや心の豊かさ、健康づくりに資する生涯学習や文化振興、スポーツ・レクリエーションの振興を目指し、次の基本方針のもと諸施策を推進していきます。

(8) 基本方針

① 学校教育の充実

○ 幼稚園教育の充実

幼稚園振興計画に基づき、幼児一人一人の発達に応じた指導・支援を行い、基本的な生活習慣や社会生活に必要なルールやマナー、道徳観等の習慣を促進します。

○ 義務教育の充実

児童生徒が「生きる力」を備えた人間として成長できるよう、地域の特性を生かした教育課程の編成に努めます。特に英語教育や情報教育の充実を図りつつ、多くの国の文化について学び国際性豊かな人材の育成に努めます。また、国や県と連携し、宜野湾市の状況に対応した学力向上を推進します。

学校、家庭、地域社会がそれぞれ持つ教育資源や豊かな知識・経験を活かし、地域に開かれた、特色ある学校づくりを進めます。

○ 生徒指導及び教育相談の充実

生徒の自己指導能力が高まるよう、生徒会活動の活性化に努めます。また、心因的な要因による不登校児童生徒への助言指導や保護者、学校への対応の充実に努めます。

引き続き、青少年サポートセンター(はごろもネットワーク会議等での情報交換)はじめ、関係機関との連携を強化し、学校への復帰支援や各種相談体制、夜間街頭指導等の充実に努めます。

○ 教育環境、安全対策の充実

ゆとりのある教育環境づくりをめざし、学校規模等の適正化を進めるとともに、少人数学級への対応に努めます。また、老朽化した校舎、設備等の整備を進めます。

登下校時の安全教育を推進し、交通安全・防犯意識の高揚と、交通マナーの向上に努めます。

さらに、地域と連携した巡回パトロールの実施や通学路の点検活動により、安全な通学環境の整備に努めます。

○ 教員研修の充実

宜野湾市の教育課題の解決に向けた研究の充実を図るとともに、成果を学校に反映できる仕組みづくりを進めます。また、児童生徒や保護者、教職員への意識調査等を行い、教育課題の把握に努めるとともに、大学や関係機関等との連携により、課題の解決方策を明らかにします。

校長や教頭、臨時的任用教員、各担当者の研修会など、テーマに沿った各種研修会を実施し、教職員の資質の向上を図ります。また、メンタルヘルスの専門家を講師とした教職員研修の充実に努めます。

② 生涯学習の充実

○ 生涯学習の基盤づくり

生涯学習の拠点施設となる中央公民館や市民図書館等の施設については、維持管理に努めるとともに、利用しやすい施設づくりを目指します。

類似講座の統廃合による効率的な講座の提供の他、学習に関する情報発信の充実に努めます。また、高等教育機関と連携した生涯学習の推進に努めます。

○ ライフステージに応じた学習支援

子ども・青年期においては「生きる力」を育み、子育て期から高齢期にかけては「人間力」の向上に資するよう、ライフステージ、目的にあった学びの場の提供に努めます。

○ 生涯学習を支え活かす仕組みづくり

学習活動を継続して行えるよう、学びを支える体制の強化、活動団体への支援やボランティア等の人材育成に努めます。また、成果発表機会の提供や表彰等、継続的な活動支援に努めるとともに、地域活動への展開支援を行います。

③ 芸術・文化の振興と文化財の保護

○ 芸術・文化活動の振興

優れた舞台芸術や書道、絵画、音楽等の鑑賞機会の提供に努めるとともに、市民が参加できる文化・芸術活動の場の提供に努めます。さらに、地域の歴史文化等を題材とした市民劇等市民が主体となった文化活動を支援します。

○ 文化財の保護・活用の推進

文化財の実態を明らかにするとともに、国・県・市の指定文化財の保存整備と維持管理、伝統的な民俗芸能と民俗技術の保護に努めます。また、市民が主体となった保護・活用の取り組みを支援します。

基地内の文化財については、国や県等と連携し、埋蔵文化財等の調査を進めるとともに、跡地利用計画と連携した文化財の保護・活用を進めます。

地域の歴史と文化を知る発掘調査により出土した埋蔵文化財の整理・収蔵・公開を進め、市民の地域史づくりの支援と学校教育との連携に努めます。

市史編集については、聞き取り調査や関係資料の収集と編集を進め、宜野湾市の歴史・文化の記録・保存および収集資料の市民活用に努めます。また、各字誌の編集についても協力・支援に努めます。

博物館については、中・長期計画を策定し、自然・歴史・文化に対する知識と理解が深められるような事業に努めます。また、友の会の支援および市民ボランティアの育成等、地域に開かれた博物館づくりを目指します。

(9) 施策

響きあい、共に育つ心身豊かな社会の実現を進める

① 学校教育の充実

幼稚園教育の充実

- ・幼児教育の充実
- ・2年保育の推進
- ・預かり保育の実施
- ・子育て支援活動の推進

義務教育の充実

- ・学習指導要領に即した指導内容の充実
- ・小中学校一貫した英語教育の推進
- ・幼小中学校の連携教育の推進
- ・情報教育の推進
- ・学力向上の推進
- ・特別支援教育の推進
- ・キャリア教育の推進
- ・食育の推進
- ・地域との連携強化

生徒指導及び
教育相談の充実

- ・生徒会活動の活性化のための指導の強化
- ・適応指導教室の充実
- ・青少年サポートセンター、家庭、関係機関との連携強化
- ・スクールカウンセラー、臨床心理士の活動促進
- ・心の教育の充実

教育環境、安全
対策の充実

- ・学校規模の適正化
- ・少人数学級への対応
- ・老朽化に伴う学校給食センターの建替え
- ・屋内、屋外施設の整備
- ・老朽化した校舎の増改築等
- ・安全教育の充実
- ・通学環境の整備

職員研修の充実

- ・教育課題の調査研究の充実
- ・意識調査の実施
- ・高等教育機関との連携
- ・各種教職員研修の充実
- ・教職員のメンタルヘルス対策の強化

②生涯学習の充実

生涯学習の
基盤づくり

- ・生涯学習施設の充実・連携の強化
- ・情報の一元化、情報発信の充実
- ・類似講座の統廃合の検討
- ・教育機関等との連携

ライフステージに
応じた学習支援

- ・趣味・家庭生活・社会問題に関する学習活動の推進
- ・キャリア形成に向けた学習支援
- ・生涯スポーツ活動の推進

生涯学習を支え
活かす仕組みづくり

- ・成果発表の場づくり
- ・社会教育活動団体への支援
- ・人材育成・人材バンクの活用
- ・地域活動への展開支援

③芸術・文化の振興と文化財の保護

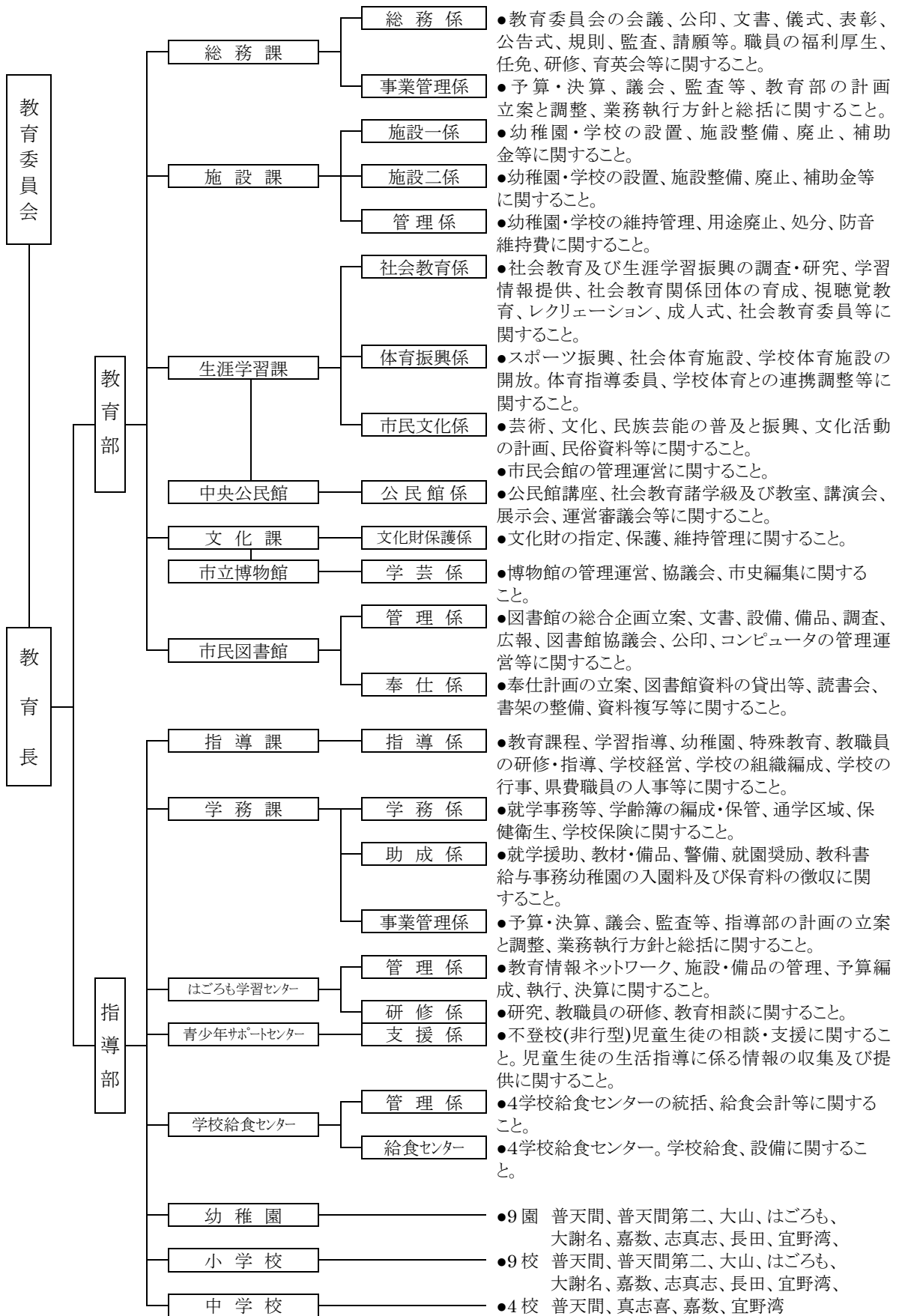
芸術・文化活動
の振興

- ・高度な芸術・文化の鑑賞機会の提供
- ・市民参加型のフェスティバル、公演会の開催
- ・創作市民劇の制作・上演
- ・文化芸術活動団体やグループへの支援

文化財の保護・
活用の推進

- ・文化財の実態調査の推進
- ・市民主体の文化財の保存整備と保護・活用の推進
- ・伝統的な民俗芸能と民俗技術の保護・活用の推進
- ・基地返還予定地の文化財の保護・活用の推進
- ・埋蔵文化財の整理・収蔵・公開の推進
- ・市史の編集
- ・各字誌編集への協力・支援
- ・市関係資料の収集・保存と市民活用の推進
- ・博物館事業の充実

(10) 教育委員会事務局等の機構と事務分掌の概要



(11) 教育委員会職員配置表

平成27年4月1日

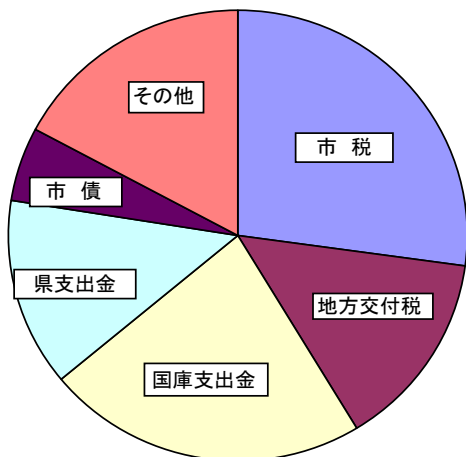
		部長	次長	課長	主幹	技幹	所長	館長	係長	担当主査	主事・主査	担当技査	技師・技査	副園長	教諭	司書	調理員	管理員	施設	合計		
教 育 部	部長	1																			1	
	次長		1																		1	
	総務課			[1]	1				2		4										7	
	施設課			1					3				6								10	
	生涯学習課			1					3		5										9	
	中央公民館 (非常勤職員)							< 1 >	1		1										2 < 1 >	
	文化課			1					2		4										7	
	市立博物館 (非常勤職員)							< 1 >	1		1										2 < 1 >	
	市民図書館 (非常勤職員)							< 1 >	2	1	3										6 < 1 >	
小計	1	1	3	1	0	0	0 < 3 >	14	1	18	0	6	0	0	0	0	0	0	0	45 < 3 >		
指 導 部	部長 (指導主事)	(1)																			1	
	次長		1																		1	
	指導課 (指導主事)				(1)				1	(2)	1				2						7	
	学務課			[1]					3	1	6										10	
	はごろも学習センター (非常勤職員) (指導主事)						< 1 >		1		1										3 < 1 >	
	青少年センター						1	[1]			1										2	
	学校給食センター	管理係						1	1	1	1											4
		普天間第二							1											7		8
		大山							1											4		5
		真志喜							1											9		10
	幼稚園(9園)													9	19						28	
小学校(9校)															3				7	10		
中学校(4校)															0				3	3		
小計	1	1	1	0	0	2 < 1 >	0 < 0 >	10	4	10	0	0	9	21	3	20	10			92 < 1 >		
合計	2	2	4	1	0	2 < 1 >	0 < 0 >	24	5	24	0	6	9	21	3	20	10			133 < 1 >		

2.教育財政

(1)平成 27 年度一般会計当初予算事項別明細

歳 入

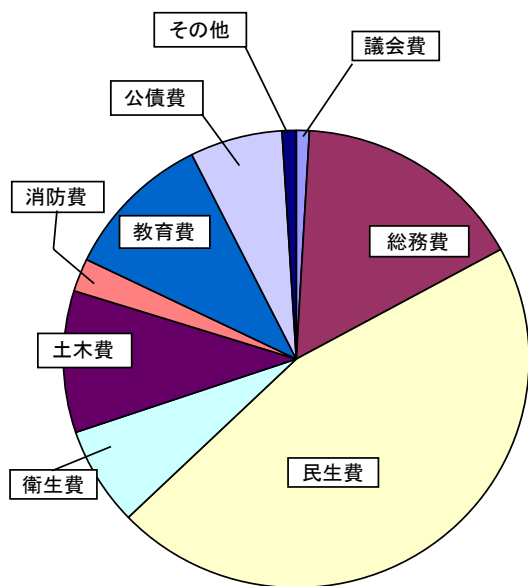
単位：千円



市 税	10,018,810	27.16 %
地方交付税	5,228,742	14.17 %
国庫支出金	8,360,829	22.66 %
県 支 出 金	4,985,499	13.51 %
市 債	1,959,387	5.31 %
そ の 他	6,343,733	17.19 %
合 計	36,897,000	100.00 %

歳 出

単位：千円



議 会 費	332,420	0.90 %
総 務 費	5,958,629	16.15 %
民 生 費	16,889,530	45.78 %
衛 生 費	2,573,045	6.98 %
土 木 費	3,698,378	10.02 %
消 防 費	862,613	2.34 %
教 育 費	3,849,949	10.43 %
公 債 費	2,370,393	6.42 %
そ の 他	362,043	0.98 %
合 計	36,897,000	100.00 %

(2) 平成 27 年度教育予算関係の項目

単位：千円

款	項	目	名 称	本年度	前年度	比 較	伸び率
10			教 育 費	3,849,949	2,910,091	939,858	32.3 %
	1		教育総務費	624,770	593,876	30,894	5.2 %
		1	委員会費	3,707	3,695	12	0.3 %
		2	事務局費	413,692	401,461	12,231	3.0 %
		3	教育指導費	207,371	188,720	18,651	9.9 %
	2		小学校費	646,689	537,311	109,378	20.4 %
		1	学校管理費	321,795	369,021	△ 47,226	△ 12.8 %
		2	教育振興費	156,911	155,577	1,334	0.9 %
		3	学校建設費	167,983	12,713	155,270	1,221.3 %
	3		中学校費	257,336	267,658	△ 10,322	△ 3.9 %
		1	学校管理費	149,150	157,227	△ 8,077	△ 5.1 %
		2	教育振興費	108,186	108,780	△ 594	△ 0.5 %
		3	学校建設費	0	1,651	△ 1,651	△ 100.0 %
	4		幼稚園費	313,917	258,311	55,606	21.5 %
		1	幼稚園費	313,917	258,311	55,606	21.5 %
	5		社会教育費	751,702	746,644	5,058	0.7 %
		1	社会教育総務費	202,307	186,208	16,099	8.6 %
		2	公民館費	33,791	11,589	22,202	191.6 %
		3	文化費	266,792	306,160	△ 39,368	△ 12.9 %
		4	図書館費	76,475	70,318	6,157	8.8 %
		5	市史編集費	9,285	8,657	628	7.3 %
		6	博物館費	36,225	36,057	168	0.5 %
		7	学習センター費	126,827	127,655	△ 828	△ 0.6 %
	6		保健体育費	1,255,535	506,291	749,244	148.0 %
		1	保健体育総務費	37,915	34,106	3,809	11.2 %
		3	給食センター費	1,217,620	472,185	745,435	157.9 %
2			総 務 費	126,370	153,772	△ 27,402	△ 17.8 %
	1	8	市民会館費	123,320	150,709	△ 27,389	△ 18.2 %
		3	1 戸籍住民基本台帳費	3,050	3,063	△ 13	△ 0.4 %
合 計				3,976,319	3,063,863	912,456	29.8 %

3. 育英会事業

(1) 目的

本会は、優秀な人材で経済的理由によって修学困難な者に対し学資を貸与し、その他育英上必要な業務を行って有為な人材を育成することを目的とする。

(2) 概要

- ① 名 称 : 宜野湾市育英会
- ② 創立年月 : 昭和 35 年 4 月
(昭和 46 年～昭和 53 年まで業務中断。昭和 54 年より松岡配電育英資金を合併し業務再開)
- ③ 所 在 地 : 宜野湾市字野嵩 730 番地(宜野湾市教育委員会総務課内)
- ④ 事 業 : 奨学育英事業(学資【奨学金・入学準備金】の貸与事業)
入学準備金制度を平成 26 年 11 月より開始
- ⑤ 役 員 : 会長 1 名 副会長 2 名 理事 6 名 書記 1 名 会計 1 名 監事 2 名 評議員 16 名

(3) 貸与・償還

① 奨学生の資格

- ・本市に 3 年以上住所を有する本市民の子弟又は 3 年以上住所を有する者であること。
- ・学業、操行ともに優秀であり、かつ、健康であって学資の支弁が困難と認められる者であること。
- ・学校教育法(昭和 22 年法律第 6 号)第 1 条に定める大学(大学院及び短期大学を含む。通信制を除く。)又は同法 124 条に定める専修学校のうち修業年限 2 年以上の専門課程に在学している学生。(入学準備金は、入学予定の者)

② 奨学生の募集人数、募集時期(入学準備金は、平成 26 年 11 月より開始)

区 分	募集人数	募集時期
奨 学 金	若干名(予算の範囲内において増減)	毎年 4 月～4 月末日
入学準備金	前期、後期を合わせて 15 名程度 (予算の範囲内において増減)	前期:毎年 6 月～6 月末日 後期:毎年 11 月～11 月末日

③ 貸与の区分、期間、金額

区 分	期 間	金額(年額)
奨 学 金	毎年度 6 月から翌年 3 月まで 10 ヶ月間貸与 貸与生の採用年度より最短就業年限の終期まで	下記金額より選択 300,000 円 400,000 円 500,000 円
	※奨学金の貸与方法は、毎月貸与、年 2 回貸与の いずれかを選択	
入学準備金	前期:7 月から 10 月の期間に貸与(1 回限り) 後期:12 月から翌年 3 月の期間に貸与(1 回限り)	

④ 償還の区分、期間、金額

区 分	期 間	金額(月額)
奨 学 金	貸与が終了した月の6ヶ月後から貸与総額を完納するまで	貸与年額の1/20
入学準備金	卒業若しくは、退学した月の6ヶ月後から貸与額を完納するまで	貸 与 額 の 1/40

⑤ 貸与の状況

		平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
奨 学 金	新規	7	8	8	5	4
	継続	16	15	14	14	15
入学準備金	前期					
	後期					9
合 計(人)		23	23	22	19	28
貸与総額(円)		8,500,000	9,100,000	7,850,000	7,310,000	12,150,000

⑥ 償還の状況

	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
償 還 金	9,433,000	10,647,000	10,025,000	12,000,000	9,820,000

(4) 寄付金・補助金

	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
寄 付 金	970,000	680,000	1,360,000	410,000	1,130,000
市からの拠出金	2,000,000	2,000,000	2,000,000	2,000,000	1,920,000
合 計	2,970,000	2,680,000	3,360,000	2,410,000	3,050,000

学校教育

1. 宜野湾市の学校教育

(1) 「根づくり教育」で「生きる力」を育てる

現代社会は国際化、情報化、グローバル化が急速に進み、新しい知識・情報・技術が政治・経済・文化をはじめ社会のあらゆる領域での活動の基盤として飛躍的に重要性を増す知識基盤社会である。わたしたちは、このように発展する社会の恩恵を受ける一方、環境問題、エネルギー問題など地球規模の課題をはじめ、社会環境として人間関係の希薄化、家庭・地域の教育力の低下などの課題もある。そのように激しく変化し、複雑化する社会の中で、子どもたちは自己実現を目指して「生きる力」を身に付けていかなければならない。

宜野湾市教育委員会としては、国や県の教育の方向性を踏まえながら、宜野湾市がめざす将来都市像「市民が主役のねたての都市・ぎのわん」に必要な人材を育成するための教育施策「宜野湾市教育振興基本計画」(以下、本市教育振興基本計画とする。)の策定を進めている。本市教育振興基本計画では、「子どもたちの生きる力を育む教育」、「学校に集う人たちが学びをとおしてつながる学校づくり」、「地域が学びをとおしてつながるまちづくり」を基本方向として学校教育の充実を目指している。とりわけ、学校教育においても基本方向を踏まえ、確かな学力の向上と子どもたちの心と身体の健やかな成長を支える教育の推進を図っていく。

本市教育委員会では、これまで「根づくり教育」を主要施策とし、「信頼」、「学び」、「生命」、「誇り」を基軸に学校教育の充実に取り組んできた。その結果、平成 26 年度全国学力・学習状況調査結果では、市内全小学校の算数A正答率が全国平均正答率を上回り、中学校においても全国平均正答率の差を縮めつつある。しかし、不登校生徒は増加傾向にあることや学力向上には更なる取組みが必要である。

平成 27 年度の「宜野湾市の学校教育」では、これまでの「根づくり教育」を踏襲しつつ、沖縄県学力向上主要施策「夢・にぬふぁ星プランⅢ」、本市教育振興基本計画との整合性や、学校長の「自主創造」性を尊重しつつ、市としての方向性を一つにした全取組で課題解決を目指していく。

(2) 学校教育目標

宜野湾市教育委員会は、人間尊重の精神を基底とし、幼児児童生徒に「生きる力」を育むことを目指し、国及び郷土の自然と文化に誇りを持つ個性豊かで「創造性・国際性に富む健全な人材の育成」を期して、次のことを目標に教育施策を推進する。

- 自ら学ぶ意欲を育て、学力の向上をめざすとともに、規律を守り、豊かな心を持ち表現力とねばり強さのある幼児・児童・生徒を育成する。
- 平和で安らぎと活力ある社会の形成者として、郷土文化の継承・発展に寄与し、国際化・情報化社会で活躍する心身ともに健全な幼児・児童・生徒を育成する。
- 家庭・学校・地域社会の相互連携のもとに、時代の変化に対応し得る教育の方法を追求し、生涯学習社会への基礎を培う。

(3) 主要施策(根づくり教育の推進)

① 信頼される学校づくり

- 自主創造のある学校経営、子どもが生きる学年・学級経営、学校評価を生かした家庭・地域との連携による信頼関係づくりをめざす。

② 確かな学力の向上

- 自ら学ぶ意欲と基礎的・基本的な知識・技能の習得および思考力・判断力・表現力等、その他の能力の育成による学力向上をめざす。

③ 豊かな心とたくましい体の育成

- 命を大切にすることをはぐくみ、安全・安心な生活の確立をめざす。
- 運動に親しみ健康な体づくりをめざす。

④ 郷土文化の継承、国際社会への対応

- 国及び郷土文化の理解と国際理解及び情報活用能力の育成をめざす。

2. 学校教育状況

(1) 児童数・生徒数及び学級の推移

各年5月1日

		2007年	2008年	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年
		(平成19年)	(平成20年)	(平成21年)	(平成22年)	(平成23年)	(平成24年)	(平成25年)	(平成26年)	(平成27年)
普天間小 明治39年	児童	716	774	747	728	743	728	707	675	653
	学級	23 (1)	25 (1)	24 (1)	23 (1)	25 (2)	26 (3)	25 (3)	25 (5)	25 (5)
普天間第二小 昭和44年	児童	683	726	709	706	714	708	682	659	679
	学級	22 (1)	22 (1)	22 (1)	22 (1)	23 (1)	25 (2)	24 (2)	24 (4)	25 (4)
大山小 昭和21年	児童	1,187	1,134	1,128	1,104	1,085	1,079	1,090	547	583
	学級	36 (2)	34 (2)	35 (2)	34 (2)	34 (2)	36 (3)	36 (3)	21 (3)	21 (4)
はごろも小 平成26年	児童								731	741
	学級								26 (3)	28 (4)
大謝名小 昭和51年	児童	666	673	682	708	723	709	717	562	569
	学級	23 (2)	23 (2)	22 (2)	24 (3)	27 (4)	26 (4)	26 (4)	23 (4)	23 (4)
嘉数小 大正8年	児童	996	996	1,011	905	878	860	869	867	845
	学級	32 (3)	33 (3)	35 (3)	30 (3)	30 (3)	30 (3)	30 (4)	30 (4)	31 (4)
志真志小 昭和57年	児童	660	644	635	724	685	711	721	726	743
	学級	20 (1)	21 (1)	21 (1)	24 (1)	22 (1)	25 (3)	27 (3)	26 (3)	28 (3)
長田小 平成11年	児童	588	598	618	586	575	574	574	582	605
	学級	19 (1)	20 (1)	21 (1)	20 (1)	20 (1)	20 (1)	20 (2)	22 (3)	23 (3)
宜野湾小 明治15年	児童	807	810	809	821	815	808	798	811	821
	学級	27 2	27 2	28 (2)	28 (2)	27 (2)	28 (2)	28 (2)	29 (3)	28 (3)
小学校 合計	児童	6,303	6,355	6,339	6,282	6,218	6,177	6,158	6,160	6,239
	学級	202 (13)	205 (13)	208 (13)	205 (14)	208 (16)	216 (21)	216 (23)	226 (32)	232 (34)
普天間中 昭和23年	生徒	694	662	692	653	673	670	675	727	711
	学級	20 (1)	19 (1)	19 (1)	18 (1)	19 (1)	20 (2)	20 (2)	22 (2)	21 (2)
真志喜中 昭和54年	生徒	794	798	853	856	878	892	882	871	853
	学級	23 (2)	23 (2)	24 (2)	24 (2)	25 (2)	26 (2)	26 (3)	25 (2)	25 (2)
嘉数中 昭和37年	生徒	856	860	864	845	843	808	782	741	736
	学級	24 (1)	25 (2)	25 (2)	23 (1)	24 (2)	24 (2)	22 (1)	22 (2)	22 (2)
宜野湾中 昭和61年	生徒	644	641	630	631	647	646	686	688	692
	学級	19 (1)	19 (1)	19 (1)	20 (2)	20 (2)	20 (2)	21 (2)	21 (2)	21 (2)
中学校 合計	生徒	2,988	2,961	3,039	2,985	3,041	3,016	3,025	3,027	2,992
	学級	86 (5)	86 (6)	87 (6)	85 (6)	88 (7)	90 (8)	89 (8)	90 (8)	89 (8)
小・中 合計	児童 生徒	9,291	9,316	9,378	9,267	9,259	9,193	9,183	9,187	9,231
	学級	288 (18)	291 (19)	295 (19)	290 (20)	296 (23)	306 (29)	305 (31)	316 (40)	321 (42)

()内は特別支援学級で内数である。

(2) 園児数及び学級数の推移

各年 5 月 1 日

		2007年	2008年	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年
		(平成19年)	(平成20年)	(平成21年)	(平成22年)	(平成23年)	(平成24年)	(平成25年)	(平成26年)	(平成27年)
普天間 昭和45年	園児	89	57	60	67	78	63	69	80	66
	学級	3	2	2	2	3	3	3	3	3
普天間第二 昭和47年	園児	91	80	73	81	69	82	86	66	87
	学級	3	3	3	3	3	3	3	3	3
大 山 昭和43年	園児	135	117	112	97	114	116	151	74	94
	学級	4	4	4	3	4	4	5	3	4
はごろも 平成26年	園児								112	104
	学級								4	4
大謝名 昭和51年	園児	62	72	54	76	83	89	75	70	54
	学級	2	3	2	3	3	3	3	3	3
嘉 数 昭和43年	園児	136	130	141	116	116	112	93	110	111
	学級	5	4	5	4	4	4	4	4	4
志真志 昭和57年	園児	56	96	81	79	91	96	95	88	87
	学級	2	4	3	3	3	3	4	4	3
長 田 平成11年	園児	76	67	72	70	68	75	79	85	84
	学級	3	3	3	3	3	3	3	3	3
宜野湾 昭和46年	園児	72	67	109	111	81	97	80	84	70
	学級	3	2	4	4	3	3	3	3	3
合 計	園児	717	686	702	697	700	730	728	769	757
	学級	25	25	26	25	26	26	28	30	30

(3) 学校別・学年別児童生徒数及び学級数

小学校		1学年	2学年	3学年	4学年	5学年	6学年	小計	特支 学級	幼稚園		
										4歳児	5歳児	小計
普天間 小学校	男	46 (2)	48 (4)	51 (5)	53 (2)	65 (6)	62 (3)	325 (22)		7	28	35
	女	56 (1)	53 (0)	45 (1)	64 (2)	58 (1)	52 (0)	328 (5)		10	21	31
	計	102 (3)	101 (4)	96 (6)	117 (4)	123 (7)	114 (3)	653 (27)		17	49	66
	学級数	4 加配	4 加配	3	3	3	3	20	5	1	2	3
普天間第二 小学校	男	50 (2)	62 (3)	52 (1)	60 (3)	64 (4)	67 (3)	355 (16)		10	29	39
	女	62 (0)	46 (2)	60 (1)	46 (2)	56 (1)	54 (1)	324 (7)		10	38	48
	計	112 (2)	108 (5)	112 (2)	106 (5)	120 (5)	121 (4)	679 (23)		20	67	87
	学級数	4	4 加配	4 加配	3	3	3	21	4	1	2	3
大 山 小学校	男	49 (4)	56 (4)	67 (3)	59 (3)	36 (2)	36 (0)	303 (16)		5	43	48
	女	52 (1)	44 (0)	42 (0)	56 (2)	36 (1)	50 (0)	280 (4)		13	33	46
	計	101 (5)	100 (4)	109 (3)	115 (5)	72 (3)	86 (0)	583 (20)		18	76	94
	学級数	3	3	3	3	2	3	17	4	1	3	4
はごろも 小学校	男	76 (4)	70 (3)	62 (2)	54 (3)	67 (3)	54 (3)	383 (18)		13	40	53
	女	77 (1)	68 (1)	57 (1)	49 (1)	61 (2)	46 (1)	358 (7)		12	39	51
	計	153 (5)	138 (4)	119 (3)	103 (4)	128 (5)	100 (4)	741 (25)		25	79	104
	学級数	5	5 加配	4 加配	3	4	3	24	4	1	3	4
大謝名 小学校	男	52 (3)	41 (0)	47 (3)	40 (4)	42 (4)	52 (4)	274 (18)		8	21	29
	女	52 (1)	39 (0)	55 (0)	48 (0)	47 (1)	54 (2)	295 (4)		7	18	25
	計	104 (4)	80 (0)	102 (3)	88 (4)	89 (5)	106 (6)	569 (22)		15	39	54
	学級数	4 加配	3 加配	3	3	3	3	19	4	1	2	3
嘉 数 小学校	男	62 (4)	58 (1)	82 (3)	63 (2)	69 (1)	87 (2)	421 (13)		17	40	57
	女	76 (1)	70 (0)	66 (1)	77 (1)	65 (2)	70 (1)	424 (6)		10	45	55
	計	138 (5)	128 (1)	148 (4)	140 (3)	134 (3)	157 (3)	845 (19)		27	85	112
	学級数	5 加配	5 加配	5 加配	4	4	4	27	4	1	3	4
志真志 小学校	男	67 (2)	66 (2)	64 (3)	62 (2)	48 (6)	62 (1)	369 (16)		11	36	47
	女	60 (0)	74 (1)	60 (0)	62 (0)	49 (0)	69 (3)	374 (4)		14	26	40
	計	127 (2)	140 (3)	124 (3)	124 (2)	97 (6)	131 (4)	743 (20)		25	62	87
	学級数	5 加配	5 加配	4	4	3	4	25	3	1	2	3
長 田 小学校	男	52 (2)	74 (7)	57 (2)	36 (0)	52 (1)	47 (1)	318 (13)		10	25	35
	女	58 (2)	41 (0)	44 (3)	50 (1)	48 (0)	46 (1)	287 (7)		20	29	49
	計	110 (4)	115 (7)	101 (5)	86 (1)	100 (1)	93 (2)	605 (20)		30	54	84
	学級数	4	4 加配	3	3	3	3	20	3	1	2	3
宜野湾 小学校	男	68 (1)	69 (4)	60 (3)	64 (0)	78 (2)	74 (2)	413 (12)		5	30	35
	女	69 (2)	72 (0)	72 (0)	48 (0)	84 (1)	63 (1)	408 (4)		6	29	35
	計	137 (3)	141 (4)	132 (3)	112 (0)	162 (3)	137 (3)	821 (16)		11	59	70
	学級数	5 加配	5 加配	4	3	4	4	25	3	1	2	3
合 計	男	522 (24)	544 (28)	542 (25)	491 (19)	521 (29)	541 (19)	3,161 (144)		86	292	378
	女	562 (9)	507 (4)	501 (7)	500 (9)	504 (9)	504 (10)	3,078 (48)		102	278	380
	計	1,084 (33)	1,051 (32)	1,043 (32)	991 (28)	1,025 (38)	1,045 (29)	6,239 (192)		188	570	758
	学級数	39	38	33	29	29	30	198	34	9	21	30

(特別支援学級児童数) 特別支援学級数

中学校		1学年	2学年	3学年	小計	特支 学級
普天間 中学校	男	110 (6)	154 (3)	116 (2)	380 (11)	
	女	99 (1)	111 (3)	121 (0)	331 (4)	
	計	209 (7)	265 (6)	237 (2)	711 (15)	
	学級数	6 加配	7	6	19	2
真志喜 中学校	男	156 (4)	133 (2)	146 (0)	435 (6)	
	女	139 (6)	152 (0)	127 (1)	418 (7)	
	計	295 (10)	285 (2)	273 (1)	853 (13)	
	学級数	8	8	7	23	2
嘉数 中学校	男	128 (4)	122 (2)	124 (3)	374 (9)	
	女	120 (1)	127 (2)	115 (3)	362 (6)	
	計	248 (5)	249 (4)	239 (6)	736 (15)	
	学級数	7	7	6	20	2
宜野湾 中学校	男	116 (1)	138 (0)	118 (3)	372 (4)	
	女	98 (1)	100 (1)	122 (1)	320 (3)	
	計	214 (2)	238 (1)	240 (4)	692 (7)	
	学級数	7 加配	6	6	19	2
合計	男	510 (15)	547 (7)	504 (8)	1,561 (30)	
	女	456 (9)	490 (6)	485 (5)	1,431 (20)	
	計	966 (24)	1,037 (13)	989 (13)	2,992 (50)	
	学級数	28	28	25	81	8

(特別支援学級生徒数) 特別支援学級数

総括表

	小学校	特別支援			中学校	特別支援			総合計	特別支援		
		知	言	情		知	言	情		知	言	情
男	3,161	(37)	(2)	(105)	1,561	(14)	(0)	(16)	4,722	(51)	(2)	(121)
女	3,078	(21)	(2)	(25)	1,431	(9)	(0)	(11)	4,509	(30)	(2)	(36)
計 (児童生徒数)	6,239	(58)	(4)	(130)	2,992	(23)	(0)	(27)	9,231	(81)	(4)	(157)
学級数	232	(11)	(2)	(21)	89	(4)	(0)	(4)	321	(15)	(2)	(25)

基準日：平成27年5月1日

※()は特別支援学級児童生徒数で、それぞれ学年児童生徒数の「内数」となる。

※加配＝ 小学校：少人数学級(1・2年生＝30人、3年生＝35人)実施学級(「標準学級：1年＝35人、2・3年＝40人」に比し全体で16学級増)
中学校：少人数学級(1年生＝35人)実施学級(「標準学級1年＝40人」に比し全体で2学級増)

(4) 行政区別・学年別児童生徒数

平成 27 年 5 月 1 日

行政区	区分	小 学 校						中 学 校				小中 合計	
	学年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	計	1年	2年	3年		計
野嵩1区		67	55	64	78	80	76	420	71	97	69	237	657
野嵩2区		6	5	8	8	12	10	49	10	10	11	31	80
野嵩3区		13	15	10	10	12	13	73	10	10	13	33	106
普天間1区		4	13	8	11	9	10	55	12	14	9	35	90
普天間2区		7	4	5	7	8	6	37	6	7	5	18	55
普天間3区		23	24	17	25	27	23	139	18	25	30	73	212
新 城 区		57	55	52	38	47	53	302	44	53	57	154	456
喜友名区		35	33	39	40	48	43	238	33	48	41	122	360
伊 佐 区		40	48	56	45	35	34	258	33	39	31	103	361
大 山 区		81	81	80	84	65	72	463	63	68	74	205	668
真志喜区		106	87	78	74	76	74	495	83	67	70	220	715
宇地泊区		58	52	52	41	55	44	302	40	39	39	118	420
大謝名区		41	20	27	26	33	39	186	39	37	38	114	300
大謝名団地		10	7	10	10	4	3	44	10	6	5	21	65
上大謝名		11	15	16	10	11	9	72	17	16	14	47	119
嘉数ハイツ		9	9	12	15	9	15	69	12	14	9	35	104
嘉 数 区		37	20	43	33	30	32	195	28	33	27	88	283
真栄原区		100	98	98	96	95	116	603	103	89	82	274	877
我如古区		75	82	80	79	63	83	462	62	71	70	203	665
長 田 区		107	116	100	90	103	90	606	91	105	82	278	884
宜野湾区		59	68	55	56	43	61	342	55	53	60	168	510
愛 知 区		73	91	75	61	99	84	483	76	76	94	246	729
中 原 区		64	53	57	52	61	55	342	49	60	57	166	508
基 地 内		0	0	0	0	0	0	0	1	0	2	3	3
市 外		1	0	1	1	0	0	3	0	0	0	0	3
その他		0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	1
合 計		1,084	1,051	1,043	991	1,025	1,045	6,239	966	1,037	989	2,992	9,231

(5) 宜野湾市立学校の指定通学区域

平成 27 年 5 月 1 日

学 校 名	指 定 通 学 区 域
普天間小学校	野嵩1区自治会、野嵩2区自治会、野嵩3区自治会、普天間1区自治会及び普天間2区自治会に係わる地域
普天間第二小学校	普天間3区自治会、新城区自治会及び喜友名区自治会に係わる地域
大山小学校	伊佐区自治会及び大山区自治会の一部に係わる地域
はごろも小学校	大山区自治会の一部、真志喜区自治会及び宇地泊区自治会の一部に係わる地域
大謝名小学校	宇地泊区自治会の一部、大謝名区自治会、大謝名団地自会、嘉数ハイツ自治会及び上大謝名自治会に係わる地域
嘉数小学校	嘉数区自治会、真栄原区自治会の一部及び我如古区自治会の一部に係わる地域
志真志小学校	真栄原区自治会の一部、我如古区自治会の一部及び宜野湾区自治会
長田小学校	長田区自治会に係わる地域
宜野湾小学校	愛知区自治会及び中原区自治会に係わる地域
普天間中学校	普天間小学校及び普天間第二小学校の通学区域
真志喜中学校	大山小学校、はごろも小学校及び大謝名小学校(上大謝名自治会地域を除く。)の通学区域
嘉数中学校	嘉数小学校、志真志小学校の通学区域及び大謝名小学校の通学区域に係わる上大謝名自治会地域
宜野湾中学校	宜野湾小学校及び長田小学校の通学区域

※自治会とは、宜野湾市自治会の認定に関する規程(昭和 60 年宜野湾市訓令第 5 号)に規程する自治会をいう。

(6) 特別支援学級在籍者の変遷

各年5月1日

年度		平成20年度		平成21年度		平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度	
		児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数
小学校(知的)	普天間	3	1	5	1	6	1	4	1	6	1	7	1	10	2	9	2
	普天間第二	3	1	3	1	4	1	6	1	4	1	4	1	10	2	12	2
	大山	3	1	3	1	4	1	2	1	2	1	5	1	2	1	2	1
	はごろも小	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	4	1	6	1
	大謝名	5	1	5	1	5	1	5	1	5	1	4	1	4	1	5	1
	嘉数	4	1	4	1	3	1	6	1	5	1	5	1	3	1	5	1
	志真志	6	1	4	1	4	1	6	1	8	1	6	1	7	1	7	1
	宜野湾	1	1	2	1	2	1	1	1	3	1	4	1	5	1	5	1
	長田	4	1	4	1	3	1	2	1	3	1	1	1	3	1	7	1
	計	29	8	30	8	31	8	32	8	36	8	36	8	48	11	58	11
中学校(知的)	普天間	3	1	2	1	2	1	5	1	4	1	7	1	7	1	8	1
	真志喜	2	1	2	1	2	1	3	1	4	1	5	1	2	1	5	1
	嘉数	9	2	10	2	6	1	10	2	12	2	8	1	7	1	8	1
	宜野湾	4	1	5	1	5	1	3	1	6	1	4	1	7	1	5	1
	計	18	5	19	5	15	4	21	5	26	5	24	4	23	4	26	4
小学校(言語)	普天間第二		通級		通級		通級		通級		通級		通級		通級		通級
	大謝名小	3	1	4	1	4	1	4	1	4	1	3	1	3	1	3	1
	嘉数小	1	1	1	1	3	1	2	1	2	1	2	1	2	1	1	1
	計	4	2	5	2	7	2	6	2	6	2	5	2	5	2	4	2
小中学校(自閉・情緒)	宜野湾小	2	1	3	1	6	1	4	1	3	1	6	1	10	2	11	2
	大山小	2	1	3	1	4	1	6	1	10	2	15	2	11	2	18	3
	はごろも小	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	14	2	19	3
	大謝名小	—	—	—	—	5	1	9	2	12	2	14	2	13	2	14	2
	嘉数小	3	1	2	1	4	1	4	1	8	1	11	2	10	2	13	2
	普天間小	—	—	—	—	—	—	7	1	10	2	14	2	22	3	18	3
	普天間第二	—	—	—	—	—	—	—	—	5	1	5	1	11	2	11	2
	志真志小	—	—	—	—	—	—	—	—	9	2	12	2	13	2	13	2
	長田小	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	4	1	9	2	13	2
	真志喜中	2	1	3	1	4	1	5	1	8	1	10	2	8	1	8	1
	嘉数中													4	1	7	1
	宜野湾中	—	—	—	—	3	1	5	1	7	1	5	1	2	1	2	1
	普天間中	—	—	—	—	—	—	—	—	4	1	5	1	6	1	7	1
	計	9	4	11	4	26	6	40	8	76	14	101	17	133	23	154	25
合計	60	19	65	19	79	20	99	23	144	29	166	31	209	40	242	42	
幼稚園	普天間	0	0	1	1	2	2	2	1	1	1	4	2	4	0	8	2
	普天間第二	1	1	1	1	1	1	2	1	1	1	1	1	1	0	3	1
	大山	1	1	1	1	1	1	1	1	3	1	3	1	1	0	2	1
	大謝名	0	0	0	0	1	1	2	1	1	1	0	0	1	0	1	1
	嘉数	0	0	1	1	0	0	1	1	1	1	0	0	1	0	5	2
	志真志	1	1	0	0	0	0	1	1	0	0	2	1	2	0	2	1
	宜野湾	0	0	0	0	1	1	0	0	5	2	1	1	1	0	2	1
	長田	0	0	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	4	0	3	1
	はごろも															1	1
	計(※)	3	3	5	5	7	7	10	7	13	8	12	7	15	0	27	11

(※)幼稚園については「学校基本調査」の調査項目でない。従って、「学級数」欄は特別支援担当者配置の有無を計上。

(7) 要保護・準要保護児童生徒の推移

各年3月31日

年度	学校 区分	小 学 校										小 学 校 計	中 学 校					中 学 校 計	小 中 学 校 合 計
		普 天 間 間	普 天 間 第 二	大 山	は ご ろ も	大 謝 名	嘉 数	志 真 志	長 田	宜 野 湾	そ の 他		普 天 間	真 志 喜	嘉 数	宜 野 湾	そ の 他		
2010年 (平22)	要保護	17	15	21		6	17	17	2	15	0	110	22	20	17	11	0	70	180
	準要保護	125	144	141		119	164	119	72	171	0	1,055	153	160	156	146	3	618	1,673
	計	142	159	162		125	181	136	74	186	0	1,165	175	180	173	157	3	688	1,853
	在籍	728	706	1,104		708	905	724	586	821	—	6,282	653	856	845	631	—	2,985	9,267
	割合(%)	19.5	22.5	14.7		17.7	20.0	18.8	12.6	22.7	—	18.5	26.8	21.0	20.5	24.9	—	23.0	20.0
2011年 (平23)	要保護	14	22	21		5	8	17	0	12	0	99	24	19	23	9	0	75	174
	準要保護	147	157	156		133	170	115	71	170	3	1,122	166	158	150	159	4	637	1,759
	計	161	179	177		138	178	132	71	182	3	1,221	190	177	173	168	4	712	1,933
	在籍	743	714	1,085		723	878	685	575	815	—	6,218	673	878	843	647	—	3,041	9,259
	割合(%)	21.7	25.1	16.3		19.1	20.3	19.3	12.3	22.3	—	19.6	28.2	20.2	20.5	26.0	—	23.4	20.9
2012年 (平24)	要保護	13	26	16		6	15	13	1	14	0	104	20	23	22	10	1	76	180
	準要保護	165	156	170		140	167	118	75	168	4	1,163	164	174	150	149	4	641	1,804
	計	178	182	186		146	182	131	76	182	4	1,267	184	197	172	159	5	717	1,984
	在籍	728	708	1,079		709	860	711	574	808	—	6,177	670	892	808	646	—	3,016	9,193
	割合(%)	24.5	25.7	17.2		20.6	21.2	18.4	13.2	22.5	—	20.5	27.5	22.1	21.3	24.6	—	23.8	21.6
2013年 (平25)	要保護	14	17	21		11	18	14	5	5	0	105	7	15	21	10	0	53	158
	準要保護	156	139	174		140	160	115	68	162	4	1,118	159	165	149	157	7	637	1,755
	計	170	156	195		151	178	129	73	167	4	1,223	166	180	170	167	7	690	1,913
	在籍	707	682	1,090		717	869	721	574	798	—	6,158	675	882	782	686	—	3,025	9,183
	割合(%)	24.0	22.9	17.9		21.1	20.5	17.9	12.7	20.9	—	19.9	24.6	20.4	21.7	24.3	—	22.8	20.8
2014年 (平26)	要保護	16	18	12	6	8	25	15	4	4	0	108	10	22	18	7	0	57	165
	準要保護	146	130	94	95	122	165	133	75	176	3	1,139	190	166	151	143	9	659	1,798
	計	162	148	106	101	130	190	148	79	180	3	1,247	200	188	169	150	9	716	1,963
	在籍	675	659	547	731	562	867	726	582	811	—	6,160	727	871	741	688	—	3,027	9,187
	割合(%)	24.0	22.5	19.4	13.8	23.1	21.9	20.4	13.6	22.2	—	20.2	27.5	21.6	22.8	21.8	—	23.7	21.4

※ はごろも小学校は、平成26年度より開校。

※ その他は、区域外就学・琉大附属小中学校・私立小中学校である。

(8) 学校職員数

幼稚園

幼稚園名	職名	園長 (兼務)	副園長 (※注)	本務職員 (5歳担任)	臨時職員 (休暇代替)	定数 内	臨時職員 (4歳担任)	臨時職員 (特別支援)	臨時職員 (預かり保育・ パート含む)	計
普 天 間		1	1	2	1	0	1	2	2	10
普 天 間 第 二		1	1	1	0	1	1	1	2	8
大 山		1	1	2	1	1	1	1	3	11
は ご ろ も		1	1	3	0	0	1	1	2	9
大 謝 名		1	1	2	1	0	1	1	2	9
嘉 敷		1	1	3	1	0	1	2	4	13
志 真 志		1	1	2	1	0	1	1	3	10
長 田		1	1	2	1	0	1	1	2	7
宜 野 湾		1	1	2	0	0	1	1	4	10
計		9	9	19	6	2	9	11	24	89

※H27.5.1 付「学校基本調査」による。

※注「副園長」は改正学校教育法で規定する「副園長」とは異なる。

小学校

学校名	職名	県 費 職 員									計	市 費 職 員					PTA	合計
		校長	副校長	教頭	教諭	養護 教諭	事務 主事	図書 事務員	栄 養			主事	図書 司書	施設 管理員	JTE・ ALT	計		
								教諭	職員									
普 天 間		1		1	29	1	2	0	0	1	35	1	1	1	2	5	1	41
普 天 間 第 二		1		1	31	1	1	0	0	1	36	1	1	1	2	5	1	42
大 山		1		1	25	1	1	0	0	1	30	1	1	1	2	5	1	36
は ご ろ も		1		1	33	1	1	0	0	0	37	1	1	1	2	5	1	43
大 謝 名		1		1	26	1	1	0	1	0	31	1	1	1	2	5	1	37
嘉 敷		1		1	36	1	1	0	0	0	40	1	1	1	2	5	1	46
志 真 志		1		1	33	1	1	0	0	0	37	1	1	1	2	5	1	43
長 田		1		1	26	1	1	0	0	1	31	1	1	1	2	5	1	37
宜 野 湾		1		1	34	1	1	0	0	1	39	1	1	1	2	5	1	45
計		9	0	9	273	9	10	0	1	5	316	9	9	9	18	45	9	370

※H27.5.1 付「学校基本調査」による。ただし、市費職員の一部(JTE・ALT)・PTA数は別調べ。※「県費職員数」は休職者も含む数で、「教諭」は基本調査における教諭・助教諭・講師(本務・兼務)の計。

※志小の「教頭」数は休職者等含む数のため、実配置は1減。

※臨任教員、臨時職員含む(以下同じ)

中学校

学校名	職名	県 費 職 員									計	市 費 職 員					PTA	合計
		校長	副校長	教頭	教諭	養護 教諭	事務 主事	図書 事務員	栄 養			主事	図書 司書	施設 管理員	JTE・ ALT	計		
								教諭	職員									
普 天 間		1		1	35	1	1	0	0	0	39	1	1	1	1	4	1	44
真 志 喜		1		1	42	2	2	0	0	1	49	1	1	1	1	4	1	54
嘉 敷		1	0	2	38	1	1	0	0	0	43	1	1	1	1	4	1	48
宜 野 湾		1		1	37	1	1	0	0	0	41	1	1	1	1	4	1	46
計		4	0	5	152	5	5	0	0	1	172	4	4	4	4	16	4	192

※H27.5.1 付「学校基本調査」による。ただし、市費職員の一部(JTE・ALT)・PTA数は別調べ。

※「県費職員数」は休職者も含む数で、「教諭」は基本調査における教諭・助教諭・講師(本務・兼務)の計。

(9) 小・中学校児童生徒の体位(平成 26 年度)

学年		小 学 校						中 学 校			
		1年	2年	3年	4年	5年	6年	1年	2年	3年	
身長・体重・座高											
身長 (c m)	男	宜野湾市	115.9	120.6	126.8	132.4	137.1	144.2	151.3	158.8	164.2
		沖縄県	115.4	121.3	126.9	132.3	137.6	144.2	151.8	158.9	163.9
		全 国	116.5	122.4	128.0	133.6	138.9	145.1	152.5	159.7	165.1
	女	宜野湾市	115.0	120.4	125.8	132.9	139.8	146.2	150.9	153.3	154.7
		沖縄県	114.8	120.7	126.4	132.9	139.8	146.2	151.0	153.6	154.9
		全 国	115.5	121.5	127.4	133.4	140.1	146.8	151.8	154.8	156.4
体重 (k g)			1年	2年	3年	4年	5年	6年	1年	2年	3年
	男	宜野湾市	21.2	23.2	26.8	30.1	32.6	38.1	43.4	48.4	53.6
		沖縄県	21.1	23.7	26.8	30.1	33.6	38.2	44.1	49.1	53.9
		全 国	21.3	24.0	27.0	30.4	34.0	38.4	44.0	48.8	53.9
	女	宜野湾市	20.8	23.2	26.1	30.2	34.8	39.0	44.1	46.5	49.4
		沖縄県	20.7	23.4	26.4	30.1	34.7	39.6	44.3	47.6	49.7
全 国		20.8	23.4	26.4	29.8	34.0	39.0	43.6	47.2	50.0	
座高 (c m)			1年	2年	3年	4年	5年	6年	1年	2年	3年
	男	宜野湾市	64.4	66.7	69.6	72.0	73.9	77.1	80.4	84.2	87.7
		沖縄県	64.4	67.1	69.6	71.9	74.2	77.1	81.1	84.7	87.6
		全 国	64.8	67.6	70.2	72.6	74.9	77.6	81.3	84.9	88.1
	女	宜野湾市	64.1	66.7	69.2	72.4	75.7	79.0	81.9	83.1	83.8
		沖縄県	64.0	66.8	69.5	72.3	75.7	79.0	81.8	83.2	84.2
全 国		64.4	67.2	69.9	72.6	75.8	79.3	82.1	83.8	84.9	

(10) 学校図書館貸出冊数

小学校

		学校合計冊数	学校平均冊数
貸出数	男子	429,034	53,629.3
	女子	450,771	56,346.4
	合計	879,805	109,975.6
一冊も借りてない人数*	男子	4	0.5
	女子	6	0.8
	合計	10	1.3
人数	男子	2,769.0	346.1
	女子	2,619.0	327.4
	全体	5,388.0	673.5
一人平均男子		1,259.0	157.4
一人平均女子		1,395.0	174.4
一人平均全体		1,325.0	165.6
評価	年間 数値目標		100.0
	年間評価		A

備考:年間評価A>B(99~60)>C

「一冊も借りていない人数」には、不登校児童も含む。

中学校

		学校合計冊数	学校平均冊数
貸出数	男子	50,787	12,696.8
	女子	53,317	13,329.3
	合計	104,104	26,026.0
一冊も借りてない人数*	男子	29	7
	女子	19	5
	合計	48	12
人数	男子	50,816	387
	女子	53,336	355
	全体	2967.0	741.8
一人平均男子		129.9	32.5
一人平均女子		147.0	36.7
一人平均全体		138.0	34.5
評価	年間 数値目標		35.0
	年間評価		B

備考:年間評価A>B(34~15)>C

「一冊も借りていない人数」には、不登校生徒も含む。

教育施設

1. 基本方針

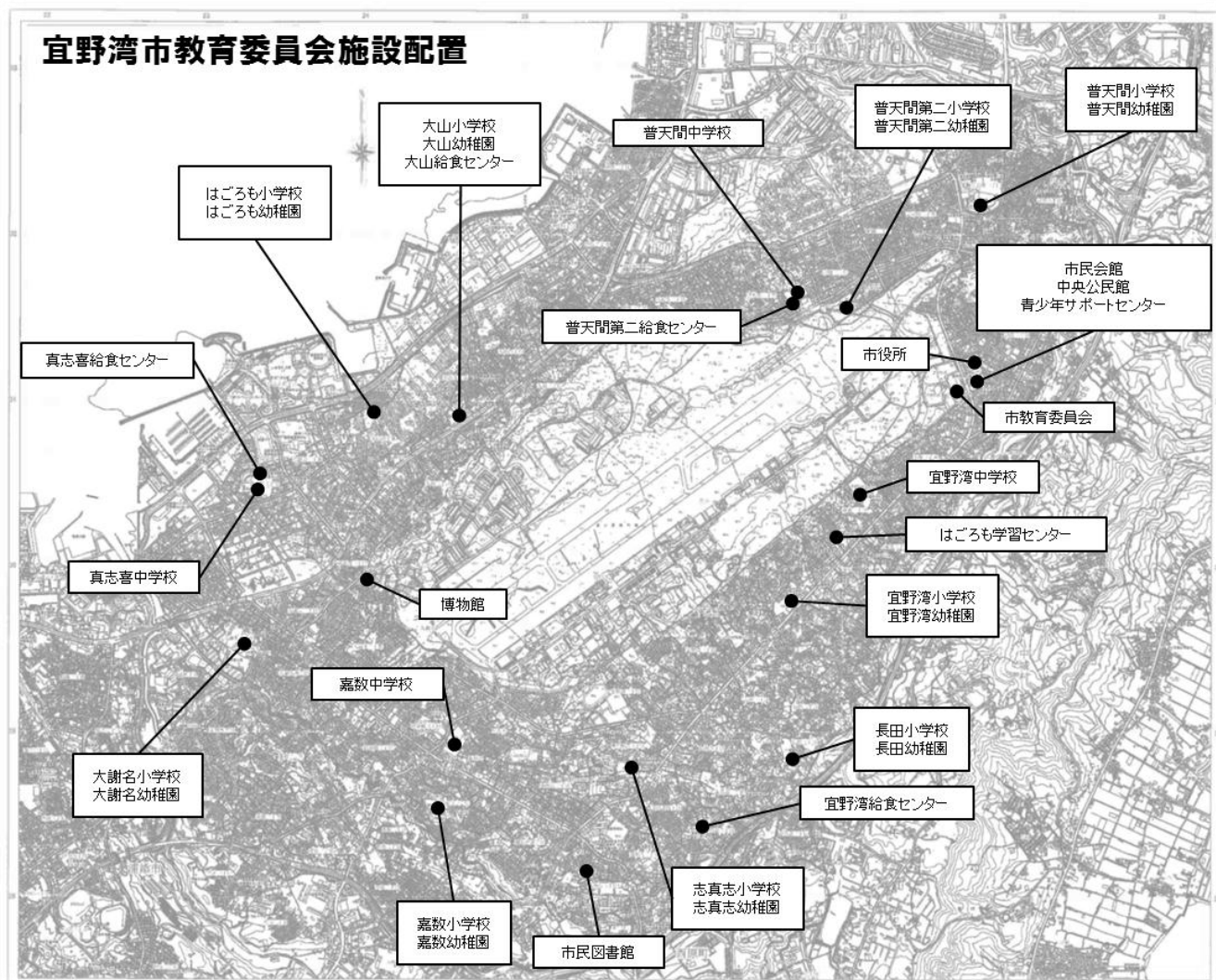
本市の学校施設の大部分が建設から数十年経過し、老朽化した校舎、屋内運動場等改築の時期を迎えております。

学校施設の整備については、計画的に校舎等の耐震化事業をすすめるとともに、地域に開かれた学校及び生涯学習の場としての施設づくりを推進し、学校と地域の連携を強化し、心豊かな次代を担う子ども達の健全育成に努めていきます。

また、学校施設の維持管理としましては、保全事業、補修事業及び営繕大工の派遣等をとおして、「幼児・児童・生徒にとって、安全で快適な教育環境の整備と維持」、「地域に親しまれる教育環境の整備」、「障がい者に優しい教育環境の整備」を図っていきます。

その他、教育関連施設に関しても、常にメンテナンスを心がけ、施設利用者である市民の立場に立って維持管理に努めていきます。

2. 施設配置図



3. 学校教育施設

(1) 幼稚園

学 校 名 TEL	普天間幼稚園 892-2665	普天間第二幼稚園 892-4430	大山幼稚園 897-6193	はごろも幼稚園 942-2050	大謝名幼稚園 897-4154
〒 所 在 地	〒901-2202 普天間1-10-1	〒901-2201 新城2-8-19	〒901-2223 大山5-16-1	〒901-2223 大山6-23-1	〒901-2225 大謝名5-12-1
建物面積(m ²) ※1	574	683	640	957	749
建 物 構 造	R C 造	R C 造	R C 造	R C 造	R C 造
建物敷地面積 (m ²)	1,893	1,626	1,353	2,490	2,136
建築年月※2	平成7年3月	平成8年3月	平成5年2月	平成26年3月	平成18年2月

学 校 名 TEL	嘉数幼稚園 898-6243	志真志幼稚園 892-1501	長田幼稚園 892-2411	宜野湾幼稚園 892-5263	
〒 所 在 地	〒901-2215 真栄原1-13-1	〒901-2211 宜野湾3-5-1	〒901-2212 長田3-19-1	〒901-2207 神山1-1-1	
建物面積(m ²)	873	835	556	682	
建 物 構 造	R C 造	R C 造	R C 造	R C 造	
建物敷地面積 (m ²)	1,310	2,184	1,060	1,326	
建築年月	平成7年3月	昭和57年3月	平成11年2月	平成13年3月	

(2) 小学校

学 校 名 TEL	普天間小学校 892-3359	普天間第二小学校 892-2424	大山小学校 897-2174	はごろも小学校 942-2040	大謝名小学校 897-2100
〒 所 在 地	〒901-2202 普天間1-10-1	〒901-2201 新城2-8-19	〒901-2223 大山5-16-1	〒901-2223 大山6-23-1	〒901-2225 大謝名5-12-1
建物面積(m ²)	5,975	6,912	6,586	7,520	6,554
建 物 構 造	R C 造	R C 造	R C 造	R C 造	R C 造
建物敷地面積 (m ²)	14,600	9,697	5,826	13,210	15,937
運動場敷地面積 (m ²)	7,300	8,826	8,829	6,970	7,770
建築年月	昭和54年3月	平成8年1月	平成2年12月	平成26年2月	昭和53年3月

学 校 名 TEL	嘉数小学校 898-2630・2644	志真志小学校 892-1502	長田小学校 892-1177	宜野湾小学校 892-3006	
〒 所 在 地	〒901-2215 真栄原1-13-1	〒901-2211 宜野湾3-5-1	〒901-2212 長田3-19-1	〒901-2207 神山1-1-1	
建物面積(m ²)	7,720	6,582	5,667	7,219	
建 物 構 造	R C 造	R C 造	R C 造	R C 造	
建物敷地面積 (m ²)	15,180	9,961	12,954	13,918	
運動場敷地面積 (m ²)	7,027	12,292	8,720	5,804	
建築年月	平成22年2月	昭和57年3月	平成11年2月	平成6年2月	

※1 建物面積は施設台帳上の現有面積を記載。

※2 一部増改築がある場合は、主たる建物の最も古い建築年月を記載、以下に同じ。

(3) 中学校

学 校 名 TEL	普天間中学校 892-3328	真志喜中学校 897-3651	嘉数中学校 898-2642	宜野湾中学校 893-1397
〒 所 在 地	〒901-2201 新城2-41-1	〒901-2224 真志喜3-19-1	〒901-2214 字我如古423番地	〒901-2205 赤道1-15-1
建物面積(m ²)	7,239	8,170	8,280	6,832
建 物 構 造	R C 造	R C 造	R C 造	R C 造
建物敷地面積 (m ²)	14,210	16,242	8,656	12,121
運動場敷地面積 (m ²)	9,015	11,332	8,189	10,427
建 築 年 月	昭和59年3月	平成24年3月	平成19年10月	昭和61年2月

(4) 学校給食センター

施 設 名 TEL	普天間第二学校給食センター 892-5350	大山学校給食センター 897-3477	真志喜学校給食センター 897-1129	宜野湾学校給食センター 898-4541
〒 所 在 地	〒901-2201 新城2-41-27	〒901-2223 大山5-16-1	〒901-2224 真志喜3-19-2	〒901-2213 志真志3-16-1
建物面積(m ²)	432	241	594	1,206
敷地面積(m ²)	1,187	-	1,058	2,873
建 築 年 月	昭和50年1月	平成2年12月	昭和55年8月	平成16年4月

(5) はごろも学習センター

名 称・TEL	宜野湾市はごろも学習センター 893-6077
〒・所在地	〒901-2205 赤道1-5-17
建 物 面 積(m ²)	1,089
開 設 年 月	平成14年9月(教育研究所:平成7年4月~平成14年8月)

4. 社会教育施設

名 称 TEL	宜野湾市立中央公民館 893-4436	宜野湾市民図書館 897-4646	宜野湾市立博物館 870-9317	宜野湾市民会館 893-4433
〒 所 在 地	〒901-2203 野嵩1-1-2	〒901-2214 我如古3-4-10	〒901-2224 真志喜1-25-1	〒901-2203 野嵩1-1-2
建物面積 (m ²)	1,620	4,887	1,999	5,999
建物構造	R C 造 地下1F・地上3F	R C 造 地下1F・地上2F	R C 造 地下1F・地上2F	R C 造 地下1F・地上3F
敷地面積 (m ²)	7,533	6,580	4,710	7,533
建築年月	平成57年12月 (開館・昭和59年4月)	平成3年6月	平成11年3月	昭和57年12月

5. 学校敷地の状況

平成27年5月1日現在

学校名	事項	校舎敷地		運動場敷地		実験実習地、その他		合計		備考
		現有面積		現有面積		現有面積		現有面積		
		保有面積	借用面積	保有面積	借用面積	保有面積	借用面積	保有面積	借用面積	
		(㎡)	(㎡)	(㎡)	(㎡)	(㎡)	(㎡)	(㎡)	(㎡)	
小学校	普天間	160	14,440		7,300			160	21,740	一部借用
	普天間第二	8,456	1,241	8,514	312			16,970	1,553	一部借用
	大山	5,826		8,829				14,655	0	
	はごろも	11,367	1,843	6,970				18,337	1,843	一部借用
	大謝名	15,647	290	7,718	52			23,365	342	一部借用
	嘉数	14,466	714	6,897	130			21,363	844	一部借用
	志真志	9,961		12,292				22,253	0	
	長田	8,502	741	8,521	199	3,711		20,734	940	一部借用
	宜野湾	13,823	95	5,804				19,627	95	一部借用
計	88,208	19,364	65,545	7,993	3,711	0	157,464	27,357		
中学校	普天間	14,210		9,015				23,225	0	
	真志喜	16,242		11,332				27,574	0	
	嘉数	8,656		8,189				16,845	0	
	宜野湾	12,006		10,427		115		22,548	0	
計	51,114	0	38,963	0	115	0	90,192	0		
幼稚園	普天間		1,893					0	1,893	全敷地借用
	普天間第二	1,626						1,626	0	
	大山	1,353						1,353	0	
	はごろも	2,490						2,490	0	
	大謝名	2,136						2,136	0	
	嘉数	1,310						1,310	0	
	志真志	2,184						2,184	0	
	長田	1,060						1,060	0	
宜野湾	1,326						1,326	0		
計	13,485	1,893	0	0	0	0	13,485	1,893		
小中幼・合計		152,807	21,257	104,508	7,993	3,826	0	261,141	29,250	

6. 学校校舎の必要面積と保有状況

平成27年5月1日現在

事項 学校名	生徒数	学級数	校舎							屋内運動場				水泳プール (㎡)	備考	
			必要面積 (㎡)	校舎保有面積				保有率 (%)	整備資格 面積(㎡)	必要面積 (㎡)	保有面積 (㎡)	保有率 (%)	整備資格 面積(㎡)			
				RC造	木造	その他	計※1									
小学校	普天間	653	25	5,840	5,923	0	51	5,975	102.31	0	1,215	1,215	100.00	0	400	
	普天間第二	679	25	6,897	6,912	0	0	6,912	100.22	0	1,215	1,101	90.62	114	400	
	大山	583	21	6,081	6,586	0	0	6,586	108.30	0	1,215	1,173	96.54	42	400	
	はごろも	741	28	7,510	7,520	0	0	7,520	100.13	0	1,215	1,215	100.00	0	400	
	大謝名	569	23	6,081	6,393	0	158	6,554	107.78	0	1,215	1,000	82.30	215	400	
	嘉数	845	30	7,720	7,720	0	0	7,720	100.00	0	1,215	1,215	100.00	0	400	
	志真志	743	28	6,369	6,582	0	0	6,582	103.34	0	1,215	1,000	82.30	215	400	
	長田	605	23	6,290	5,613	0	53	5,667	90.10	623	1,215	930	76.54	285	400	
	宜野湾	821	28	7,057	7,219	0	0	7,219	102.30	0	1,215	1,295	106.58	0	400	
計	6,239	231	59,845	60,468	0	262	60,735	101.49	623	10,935	10,144	92.77	871	3,600		
中学校	普天間	711	21	6,641	7,239	0	0	7,239	109.00	0	1,476	1,335	90.45	141	400	
	真志喜	853	25	8,297	8,170	0	0	8,170	98.47	127	1,476	1,550	105.01	0	400	
	嘉数	736	22	7,578	8,280	0	0	8,280	109.26	0	1,476	1,240	84.01	236	400	
	宜野湾	692	21	7,099	6,828	0	4	6,832	96.24	267	1,476	1,078	73.04	398	400	
	計	2,992	89	29,615	30,517	0	4	30,521	103.06	394	5,904	5,203	88.13	775	1,600	
幼稚園	普天間	66	3	813	574	0	0	574	70.60	239						
	普天間第二	87	3	857	683	0	0	683	79.70	174						
	大山	94	4	1,018	595	0	44	640	62.87	378						
	はごろも	104	4	1,018	957	0	0	957	94.01	61						
	大謝名	54	3	857	749	0	0	749	87.40	108						
	嘉数	112	4	1,062	873	0	0	873	82.20	189						
	志真志	87	3	857	835	0	0	835	97.43	22						
	長田	84	3	857	556	0	0	556	64.88	301						
	宜野湾	70	3	857	682	0	0	682	79.58	175						
計	758	30	8,196	6,504	0	44	6,549	79.90	1,647							
小中幼・合計	9,989	350	97,656	97,489	0	310	97,805	100.15	2,664	16,839	15,347	91.14	1,646	5,200		

※1 計(RC造+木造+その他)は、木造、その他の実面積をRC換算した値の合計のため多少のずれがあります。

※2 生徒数・学級数は特殊学級児童生徒数・特殊学級数を含む。

参考資料:「平成27年度公立学校施設台帳」

7. 各学校施設の耐震改修状況調査結果

平成27年5月1日現在

種別	建物区分	学校数	棟数	昭和56年以前の建築棟数	全棟数に占める割合	耐震診断実施棟数	耐震診断等実施の棟数内訳										耐震診断未実施棟数	備考
							耐震化優先度調査						耐震診断					
							ランク①	ランク②	ランク③	ランク④	ランク⑤	計	1次診断	2次診断	その他	計		
幼稚園	園舎	9	9	1	11.1%	1	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	
小学校	校舎	9	27	7	25.9%	7	0	0	0	0	1	1	6	0	0	6	0	
	屋体	9	9	1	11.1%	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	
中学校	校舎	4	13	0	0.0%	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	屋体	4	4	0	0.0%	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
計		22	62	9	14.5%	9	0	0	0	0	2	2	7	0	0	7	0	

※耐震改修状況等調査の対象範囲

- ・昭和56年5月31日以前に建築確認を得て建築された建物を対象。
- ・非木造の2階以上又は非木造の延床面積200㎡超の建物全てを対象。
- ・耐震診断を実施した棟数は現時点で解体した建物を除く。

学校給食

1. 基本方針

学校給食を学校教育の一環として位置づけ、調理場の運営は共同調理場方式を中心とし、施設の新築・改築にあたってはドライシステムを導入します。また、既存施設においては可能な限りドライ運用を図り、学校給食のさらなる安全、充実を目指していきます。

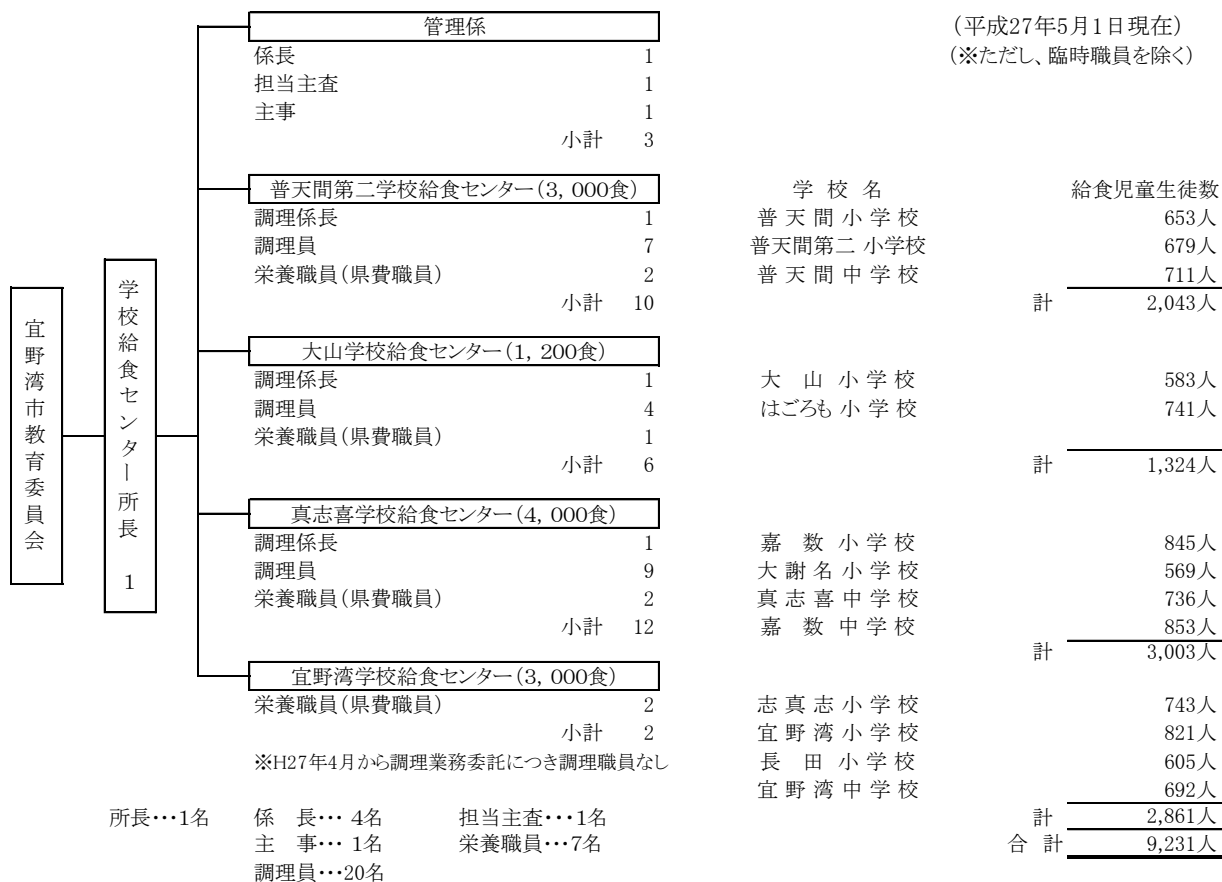
- (1) 学校給食を通して食の教育を充実し、児童生徒の心身の健全な発達及び健康の保持増進を図ります。
- (2) 学校生活の活力や豊かな心を育むため、多様な食品を組み合わせ栄養的にバランスのとれた食事を提供します。
- (3) 学校給食は、児童生徒の一日の食生活の一部を分担しているので、給食センター・学校・家庭は児童生徒の健全な成長を援助するために連携を密にします。
- (4) 地域の産物を取り入れ(郷土料理週間など)、児童生徒が地域社会と一体感をもち、その一員としての好ましい人間関係を築けるよう推進します。
- (5) 徹底した衛生管理のもと、良好な設備のもとで給食づくりを推進します。

2. 重点目標

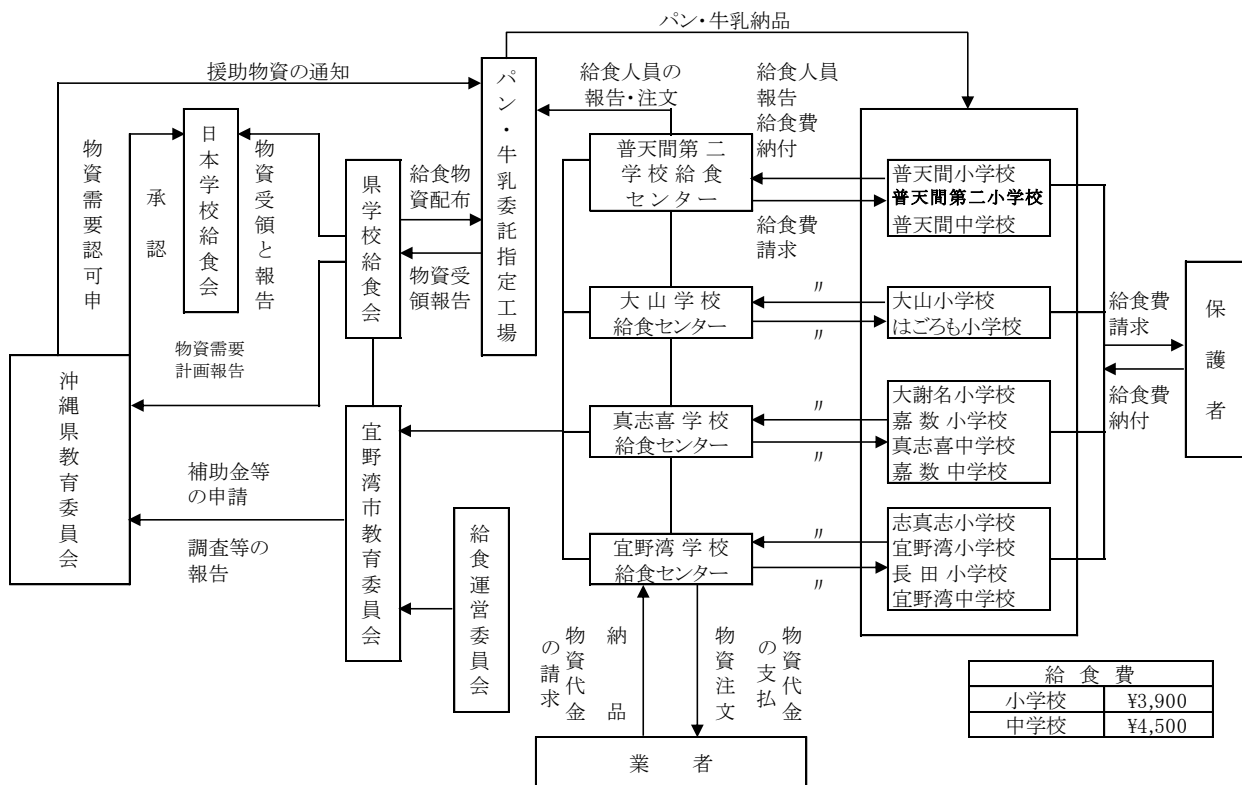
- (1) 適切な栄養の摂取による健康の保持増進を図ります。
- (2) 日常生活における食事について正しい理解を深め、健全な食生活を営むことができる判断力を培い、及び望ましい食習慣を養います。
- (3) 学校生活を豊かにし、明るい社交性及び協同の精神を養います。
- (4) 食生活が自然の恩恵の上に成り立つものであることについての理解を深め、生命及び自然を尊重する精神並びに環境の保全に寄与する態度を養います。
- (5) 食生活が食にかかわる人々の様々な活動に支えられていることについての理解を深め、勤労を重んずる態度を養います。
- (6) 我が国や各地域の優れた伝統的な食文化についての理解を深めます。
- (7) 食料の生産、流通及び消費について、正しい理解に導きます。

(上記は、『学校給食法』第2条に基づく)

3. 機構図



4. 学校給食運営図



5. 食育への取り組み

学校給食の実情を把握し、今後の学校給食の更なる充実発展を図ることを目的に、毎年、全国学校給食週間(1月24日～30日)に学校給食状況視察を実施しており、市長や市議会議員、教育長などが視察しています。

学校給食は、栄養豊かな食事の提供だけではなく、給食の時間をはじめとして、各教科等の時間で「食」に関する指導の教材として活用されています。

(1) 授業で学ぶ

【食育授業】

学級担任と一緒に食育の授業を行っています。児童・生徒にとって望ましい食生活を身につけるために必要な、効果的な指導を行います。



(2) 給食の時間で学ぶ

【特色ある給食】

バイキング給食、シイラの姿揚げ給食など、給食の思い出づくりができるように、季節やイベントに合わせた様々な給食を実施しています。



(3) 体験的な学習を通して学ぶ

【総合的な学習の時間】

キャリアスタートウィーク(職場体験学習)を通して、より望ましい職業観や勤労観を得ることを目的としています。地域社会・地域人材を知る機会としています。



6. 地産地消の取り組み

市内4つの学校給食センターでは、いくつかの生産農家と連携を取り、市内で生産されている田芋や冬瓜などの農産物を学校給食で使用するための取り組みを進めています。

これらの農産物は、生産者が直接、給食センターへ搬入することから、生産者の顔が見える「安全・安心」な食材が児童・生徒に提供されています。

また、学校給食センターでは、生産農家の皆さんの協力のもと、中学生・高校生の職場体験実習を積極的に受け入れています。実習では、実際に畑に足を踏み入れ、作物の生産方法や生育状況を学習しています。



※地産地消…「地域生産地域消費」「地元生産地元消費」などの略称。
その地域で作られた農産物・水産物をその地域で消費すること。

7. 学校給食における食物アレルギーの取り組み

1. 基本的な考え方

- ①食品衛生法における表示義務7品目のみに対応する。
- ②食物アレルギー対応等の希望がある場合は、保護者に医療機関で受診すること及び『食物日誌』の提出を義務付け、具体的内容(除去すべき食物の指定など)について医師の指示を書面で提出及び『学校生活管理指導表(写)』により明らかにアレルギーを持つ児童生徒であることを確認する。
- ③学校給食のアレルギー対応は、医師の診断と指示において行うものである。学校及び調理場は、保護者、医師と共に正しい診断に基づく適切な対応を図る。
- ④保護者との個別面談で申請内容及び詳細な情報を把握する。
- ⑤食物アレルギー処遇会議において対応内容を検討し、決定内容については、学校から教育委員会に報告する。

2. 学校給食でのアレルギー対応

- (1)教育委員会は、各学校の状況を的確に把握し対応するための体制を確立し、人的及び物理的環境の整備を図っていく。学校は整えた環境の中で最良の対応が実現できるよう努める。
 - ①教育委員会は衛生及び危機管理体制を整え、学校は、学校教職員全員の共通理解や研修等を通じて資質の向上を図る。
 - ②学校は、食物アレルギー対応児童生徒の対応食の喫食状況等を確認する。
- (2)献立内容を各家庭に事前に周知し、保護者の理解を得ると共に学級においての他の児童生徒が対応を思いあったり、いじめのきっかけにならないように十分配慮する。また、誤食の防止に努める。
- (3)給食センターは、食物アレルギー会議の決定内容について、調理場内職員会議を行い、アレルギー給食内容の協議及び確認を行う。コンタミネーション(混入)や誤食が無いように周知徹底を図る。

(4) 児童生徒がアナフィラキシー及びアナフィラキシーショックを発症した場合、迅速な対応が重要となる学校は、緊急時の対応方法を全教職員に周知徹底しておく。

3. 対応方法

- (1) 詳細な献立表対応: 食品衛生法における表示義務 7 品目を記入した献立表を各家庭に配布する。
- (2) 除去食対応: 申請のあったアレルゲンを除いた給食を提供する。
- (3) 弁当対応: 「完全弁当対応」と「一部弁当持参」とする。

4. 児童・生徒への指導

食に関する問題を有する児童生徒に対しては、学校において指導体制を整備し、全教職員が共通理解のもと、保護者と連携して個別の事情に応じた対応や相談・指導を行う。児童生徒にとって望ましい食生活の形成と自己管理能力の育成を図る。

8. 学校給食の栄養量

学校給食の栄養量は、厚生労働省が示す「日本人の食事摂取基準」をもとに、児童生徒の家庭における栄養摂取量の数値を考えあわせて、学校給食の摂取基準が定められています。

児童又は生徒1人1回あたりの学校給食摂取基準

区分	基準値						1日の食事摂取基準に対する学校給食の割合(%)
	幼児の場合	児童の(6~7歳)場合	児童の(8~9歳)場合	児童の(10~11歳)場合	児童の(12~14歳)場合	特別支援学校の高等部の生徒の場合	
エネルギー(kcal)	510	530	640	750	820	820	33%
たんぱく質(g)	18	20	24	28	30	30	50%
範囲※	15~26	16~26	18~32	22~38	25~40	25~40	
脂質(%)	学校給食による摂取エネルギー全体の25~30%						—
ナトリウム(食塩相当量)(g)	2未満	2未満	2.5未満	2.5未満	3未満	3未満	33%未満
カルシウム(mg)	280	300	350	400	450	380	50%
鉄(mg)	2	2	3	4	4	4	33%
ビタミンA(μgRE)	150	150	170	200	300	300	40%
ビタミンB ₁	0.3	0.3	0.4	0.5	0.5	0.5	40%
ビタミンB ₂	0.3	0.4	0.4	0.5	0.6	0.6	40%
ビタミンC	15	20	20	25	35	35	33%
食物繊維(g)	4	4	5	6	6.5	6.5	

(注) 1. 表に挙げるもののほか、次のものについてもそれぞれ示した摂取量について配慮すること。

マグネシウム…児童(6~7歳)70mg、児童(8~9歳)80mg、児童(10~11歳)110mg、
 幼児 40 mg、生徒(12~14歳)140mg、特別支援学校の高等部の生徒 160mg
 亜鉛…児童(6~7歳)2mg、児童(8~9歳)2mg、児童(10~11歳)3mg、
 幼児 2 mg、生徒(12~14歳)3mg、特別支援学校の高等部の生徒 3mg

2. この摂取基準は、全国的な平均値を示したものであるから、適用に当たっては、個々の健康及び生活活動等の実態並びに地域の実情等に十分配慮し、弾力的に運用すること。

※範囲…示した値の内に納めることが望ましい範囲

はごろも学習センター

1. 基本方針

宜野湾市はごろも学習センターは、教員の研修、教育研究、幼児児童生徒の健やかな成長に関する相談・支援、教育の情報化に関する支援、教育情報機器の維持・管理に努め、本市における教育課題の解明と解決にあたる。また、市民の生涯学習施設としての利活用を促進する。

27年度は教育研究所、適応指導教室、生涯学習施設の3つの機能をもって運営にあたる。それぞれの役割については、次のように考え、具体的な諸事業を展開する。

(1) 教育研究所

- ① 21世紀の学校教育の今日的課題を的確に捉え、研究・実践をする。
- ② 宜野湾市内の教育課題に対し、その解決方策について共に考え研究、支援する。
- ③ 教員の実践的指導力を高めるための研修を実施し、「学び続ける教員像の確立」を支援する。
- ④ 教育の情報化を推進し、ICTを活用した校務支援や教職員の授業力向上を図る。
- ⑤ 研究資料や教育情報等の収集に努め、図書や資料活用を促進する。

(2) 適応指導教室「若葉教室」

- ① 不登校児童生徒を支援し、学校復帰に努める。
- ② 教育相談業務を充実させ、不登校児童生徒の「居場所づくり」に努める。
- ③ 保護者との連携を密にして信頼関係を築き、児童・生徒理解と支援に努める。
- ④ 関係機関との連携やスクールカウンセラーを活用した教育相談の充実に努める。

(3) 生涯学習施設

- ① 生涯学習活動の場として、多目的ホール等を一般市民に提供する。
- ② 関係機関、団体との連絡・調整のもと、施設利用を進める。

2. 本年度の取組

(下線部は重点取組事項)

- (1) 長期研究教員、情報教育研究員による実践研究の充実
- (2) 情報教育研修の充実・強化
- (3) 校長等管理者研修、初任者研修、経年研修(2年目・3年目・5年目・10年目)の実施
- (4) 臨時的任用教職員等若手教員への研修の実施
- (5) 幼稚園、学校経営研修会の実施
- (6) 諸検査・調査・研究の実施と活用の充実
- (7) 教育研究に関する資料の収集及び情報の発信
- (8) はごろも教育ネットの充実・強化
- (9) 校務支援システムの活用と推進
- (10) 教育情報化の推進

3. 業務運営の効率化

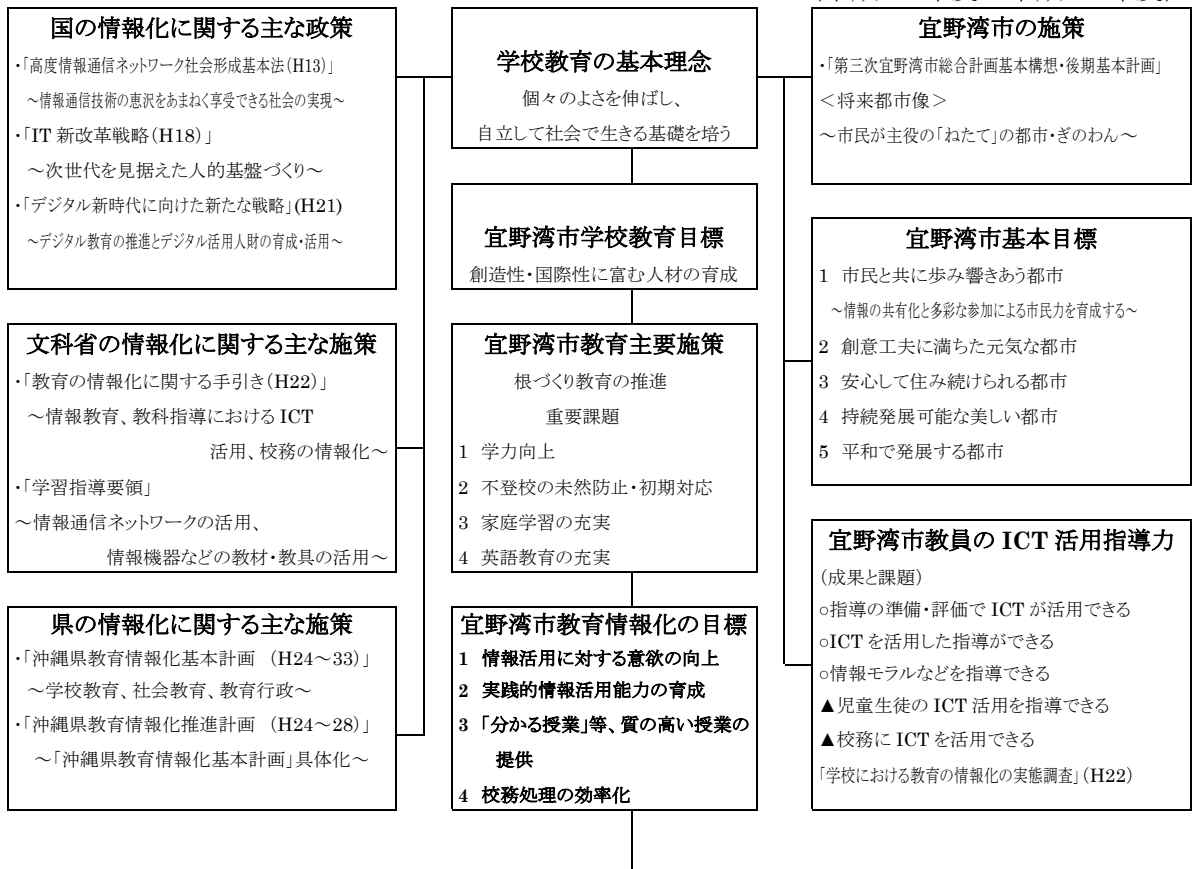
- (1) 青少年サポートセンター相談業務とのスムーズな連携に努める。
- (2) はごろも運営委員会、教育情報化推進委員会の円滑な開催を図る。
- (3) はごろも教育ネット事業の円滑な調整に努める。
- (4) インターネットやe-mail等の情報手段を活用し、業務の効率化を図る。
- (5) 要覧、研究報告書集録、授業づくりの事例研究、「若葉の教室」実践報告書等の教育資料を発刊する。

4. 平成 27 年度 はごろも学習センター年間事業計画

事業内容		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
研修関係	初任者研修	サービス関係 (6月4日) 保育実習、市文化財巡検(7月27日～84日)											
	5、10年研	企業体験、介護体7月29・30日											
	臨任研	臨任経験1、2年目巡回指導(5月～7月) 臨任研修会(7月30日)											
	職員研修関係	はごろも管理職研修会(8月14日)											
	長期研究教員研修	入所式(10月1日)テーマ検討会(10月27日)中間検討会(11月26日)検証保育、授業(12・1月)成果報告会(3月1日)											
学力調査関係	社会科研修	社会科副読本の編集・作成(小学校・中学年)											
	全国学力・学習状況調査	小6、中3調査実施(4月21日)											
	知能・標準学力検査	実施説明会(4月9日) 小3、小5、中1 知能検査実施(4月16日) 標準学力検査実施(4月17日) 活用説明会(5月28日)											
	ハイパーQ-Uテスト	小5、中2実施、(5月8日) 活用説明会(普天間中校区6月10日、真志喜中校区6月11日、嘉数中校区6月16日、宜野湾中校区6月18日) 第2回全校実施予定(12月8日)											
	宜野湾市学力調査	中1、3調査実施(10月21、22日)											
情報教育関係	沖縄県学力到達度調査	小3、小5調査実施(2月24日) 中2調査実施(2月25、26日)											
	情報教育研究会	委嘱状交付(4月27日) 研究授業・・・授業力支援訪問等 成果報告会(3月1日)											
	適応指導教室「若葉」関係	開級式(5月7日) 保護者説明会(5月) 青少年サポートセンターとの情報交換会(月1回) 家庭教育支援講演会(10月28日) 宿泊体験年3回(7、9月) 閉級式(3月17日)											
	若葉教室学校訪問・情報交換会	4月23日から5月14日まで(各学校を訪問し、若葉教室の概要の説明と情報交換を行う)											
	指導課・青少年サポートセンター関係	HSN会議 第1回学校支援相談会 第2回学校支援相談会											
校務支援	システム操作研修会	夏季講習会、校内研修等 随時行う											
	作業支援(データ整備)	基本データ、名簿データ、名簿詳細データ、テスト項目データ等 随時支援を行う											
	カスタマイズの検討	各学校からの意見を吸い上げ、システム会社に依頼する。年1回3月にバージョンアップされる。9月から契約更新											
情報担当者会議の実施	4月17日	5月29日	6月19日				9月25日		11月27日		1月22日		(年6回)
情報夏季講習会の実施	年6回予定(7月21日～7月28日まで)												
情報備品検査の実施	年2回予定(1回目8月10日～14日・2回目12月2日～12月17日まで)												
教育ソフト	はいさいメール	保護者連絡メール運用開始(期間限定 H28年3月まで)											
	ジャストスマイル	各研修会や校長会等で、教材ソフトの紹介を行う。随時 バージョンアップの検討。											
	アンケート実施	教育用ソフト・ICT機器の使用状況把握のため、アンケートを実施する。年1回											
ICT機器環境の整備	タブレット各学校導入(20台) 校内LANの整備、学校各サーバーのバックアップ確認、IPアドレス一覧の修正等 随時。												
その他	＜サーバー移設＞ 図書管理システム(企画競争提案)												
CMS学校ホームページの支援	ホームページ作成補助、サーバー環境支援等 随時。												
授業支援	ICT機器の接続の補助や教育コンテンツの提案など、教師の授業支援を行う。随時。												
トラブル対応	導入IT機器・校内LAN	プリンター、PC等の機器や、ネットワーク関連のトラブル対応を行う。随時。											
	ウイルス対応	ヘルプデスクと連携し、ウイルス対策に努める。情報担当者会議で注意喚起を行う。随時。											
	ヘルプデスクとの会議	ヘルプデスクとの会議を行い、お互いの連携を図る。月1回、基本的には第1金曜日。											
施設利用管理	中央公民館で登録されたサークルや、学校関連団体への施設利用に関する業務。随時行う。												
はごろも運営委員会	運営委員10名。年2回開催(7月、2月)												
教育情報化推進委員会	情報推進委員11名。年3回開催(4月、7月、3月)												
はごろも教育ネット	年2回開催(6月、1月)												

5. 宜野湾市教育情報化推進計画概念図

(平成 24 年度～平成 28 年度)



情報教育推進の目標 **多様化・高度化する社会へ対応できる人材の育成**

教育の情報化

情報教育 (ICT 活用能力の育成)	授業における ICT 活用の推進 (知識技能の定着、学ぶ意欲の向上)	校務の情報化の推進 (児童生徒に向き合う時間の確保)
(1) 教科指導における ICT の活用促進	(4) 校務の情報化の推進	
(2) 情報教育の体系的な推進	(5) 教員の ICT 活用指導の向上	
(3) 情報モラル教育の推進	(6) 学校における ICT 環境整備	

宜野湾市指導行政推進の4つの柱(具体的な取り組み)

情報担当者研修会	教職員を対象とした研修会	教育情報化推進委員会	情報教育研究会
① 学校配備機器情報、役割、体制、故障・障害対応について	① 情報夏季講習会の実施 ・タブレット/パソコンの活用	① ICT 環境整備に関すること	① 「わかる授業」にむけて、ICT を利活用した授業改善に係る実践研究をすすめる(タブレット等)
② 情報モラル・セキュリティー	② 研究教員基礎講座の情報処理研修(ヘルプデスク)	② ICT 機器の活用促進に関すること	② 授業公開による実践事例の共有化を推進し、学校での授業づくりの一助とする
③ ホームページの作成・更新	③ 初任者研修	③ ICT 教育の推進に関すること	③ 学習指導要領における情報教育の方向性を理解し授業との関連性を検証する
④ 校務支援システム	④ 臨時的任用研修	④ 校務の情報化に関すること	
⑤ 情報教育有効活用			
⑥ 次年度計画			

6. 適応指導教室「若葉教室」の概要

1. 目的

不登校児童生徒の問題の解決は、本市における学校教育上の重要な課題となっている。このような状況に対し、心因性不登校児童生徒を支援し学校適応を促進するために、適応指導教室「若葉教室」を設置する。

2. 設置場所 宜野湾市はごろも学習センター 2階

3. 配置職員 特別実務者研修員(担当教諭)、適応指導員

4. 開設・指導日時及び休業日

- ・ 開設 5月上旬
- ・ 開級式 6月中旬
- ・ 閉級式 3月上旬
- ・ 指導日時 月曜日～金曜日の週5日間
午前9時～午後2時(水曜日は、午後12時15分までとする。)
- ・ 休業日 市立小中学校に準ずるものとする。

※長期休業時(夏休み・冬休み)は、生活リズムを保つために週3回程度の開級日を設定する。

5. 援助指導対象

- (1) 宜野湾市内の公立小中学校に在籍し、心理的要因による不登校で、適応指導教室における援助指導が必要と判断され、適応指導教室に通う意欲を持っている児童生徒を対象とする。(ただし、精神疾患によるものは除く。)
- (2) 学校復帰を前提に適応指導教室に通う意志を持っており、以下に示す状態がみられる児童生徒を対象とする。
 - ①学校に行く意志はあるが行けない。
 - ②登校時になると、身体症状を呈する。(腹痛、頭痛、下痢、嘔吐、蕁麻疹、発熱等)
 - ③家に閉じこもり、ほとんど外出しない。
 - ④級友や担任が家庭訪問しても会いたがらない。
 - ⑤対人に対する緊張が強く、他と交流したがらない。
 - ⑥学校復帰する意志がある。

6. 組織

- (1) 宜野湾市教育委員会、宜野湾市立教育研究所が主管となって本事業を推進する。
- (2) 適応指導教室研究協力委員会(はごろも運営委員会)を組織して、適応指導教室の運営児童生徒への援助指導について協力を求める。
- (3) 入(退)級判定委員会を研究所内で組織し、適応指導教室の入(退)級判定を行う。判定委員は、はごろも学習センター所長、研修係長、適応指導教室担当教諭、青少年サポートセンター所長、臨床心理士及びはごろも学習センター所長が必要とする専門委員等で構成する。

7. 平成 26 年度 適応指導教室「若葉教室」

(1) 年間活動実績

月	主行事	沖適連・県総合教育センター	若葉諸活動
	□儀式的学校行事 ☆若葉教室主行事 ○その他行事	■研修会・講演会等 ○生徒交流会・保護者交流会	☆BWD(月1回程度) □制作活動、■体験活動 ○宿泊学習
4月	□小中学校 始業式(7日(月)) □中学校入学式(7日(月)) □小学校入学式(8日(火))	■担当者等研修会①(11日(金))	
5月	☆若葉教室開級(8日(火)) ☆若葉二者面談(27日(火)~28日(水))	■担当者等研修会②(13日(火)) ■幹事会・総会(29日(木))	
6月	☆若葉教室開級式(12日(木)) □中頭中体連(6日(金)~8日(日))	○子どもの心を理解する 保護者交流会①(1日(日)) ■担当者等研修会③(10日(火))	☆第1回BWD(3日(水))
7月	☆若葉保護者会①(7日(月)) □1学期終業式(18日(金))	■担当者等研修会④(1日(火)) ■講演会(宮古開催)(2日(水)) ○適応指導教室通級児童生徒等 スポーツ交流会①(4日(金))	☆第2回BWD(29日(火)) ☆進路学習(16日(水))
8月	□2学期始業式(27日(水))中学校	■担当者等研修会⑤ 【宜野湾市】(6日(水))	☆第3回BWD(13日(水))
9月	□2学期始業式(1日(月))小学校 □地区陸上競技大会A(25日(木)) B(26日(金))	■担当者等研修会⑥(10日(火))	☆第4回BWD(2日(火)) ○渡嘉敷いきいき自然キャンプ (16日(火)~19日(金)) ☆第6回BWD(26日(金))
10月	☆家庭教育支援講演会(28日(火))	○子どもの心を理解する 保護者交流会②(5日(日)) ■担当者等研修会⑦(7日(火))	○第1回若葉宿泊 (16日(木)~17日(金)) ○PA体験(29日(水))
11月		■担当者等研修会⑧(11日(火)) ○適応指導教室通級児童生徒等スポーツ交流会②(6日(木)) ■担当者等研修会②【沖縄市】 (28(金))	☆第6回BWD(28日(金))
12月	☆若葉三者面談②(1日(月)~2日(火))	○適応指導教室通級児童生徒 体験活動交流会(5日(金)) ■担当者等研修会⑨(9日(火))	☆7回BWD(11日(木))
1月		■担当者等研修会⑩(13日(火)) ○活動展示報告会(21日(水))	☆第8回BWD(28日(水))
2月	○実践報告会(20日(金))	■担当者等研修会⑪(4日(火)) ○子どもの心を理解する 保護者交流会③(8日(日))	☆第8回BWD(26日(木))
3月	□県立高校入試(10日(火)・11日(水)) □中学校卒業式(14日(土)) □県立高校合格発表(17日(火)) ☆若葉教室閉級式・閉級(18日(水)) □小学校卒業式(23日(月)) □小・中学校修了式(24日(火))	■担当者等研修会⑫(16日(月))	

(2) 若葉教室の推移

小中	学年	性別	H16年度	H17年度	H18年度	H19年度	H20年度	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度
小学	1年生	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	2年生	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	3年生	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	4年生	男	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	5年生	男	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		女	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0
	6年生	男	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0
		女	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0
小計	男	2	2	0	0	0	1	0	0	0	0	0	
	女	1	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	
中学生	1年生	男	2	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0
		女	3	1	1	0	0	0	0	1	1	1	0
	2年生	男	3	2	1	2	0	0	0	0	0	0	0
		女	4	2	2	1	1	0	0	0	2	0	2
	3年生	男	3	3	3	2	4	1	2	0	0	1	0
		女	2	3	1	2	2	2	0	2	1	2	3
小計	男	8	6	6	4	4	1	2	0	0	1	0	
	女	9	6	4	3	3	2	0	3	4	3	5	
合計	男	10	8	6	4	4	2	2	0	0	1	0	
	女	10	6	4	3	4	2	1	3	4	3	5	
男女計			20	14	10	7	8	4	3	3	4	4	5

青少年サポートセンター

1. 基本方針

社会状況の大きな変化により、子どもを取り巻く環境は複雑化、多様化している。長年の課題でもある不登校及び非行といった問題は、本市においてもその発生率が全国的に見ても高い数値となっており、深夜はいかいいに対する指導も依然として多い。

また、経済状況の悪化に伴う「子どもの貧困」問題や発達障害を伴う子どもたちへの支援といった、近年顕在化しつつある問題への対応も緊急な課題となっている。このような問題に対して、問題解決のために関係機関・団体と連携し、次のような重点目標を掲げ取り組んでいく。

- 「はごろもサポートネットワーク会議」「はごろも実務者研修会」を充実させ、幼児児童生徒の問題行動等の情報連携、行動連携を迅速・確実なものにする。
- 不登校や青少年の非行防止のために学校配置相談指導員スクールソーシャルワーカー(SSW)、夜間街頭指導員、PTA、民生児童員、保護司、関係機関等を網羅しての諸活動を展開する。
- 幼児児童生徒及び家庭が抱える問題の解決を目指し、文科省、県の委託事業、本市独自の事業の派遣指導員の人材を最大限に活かした活動を行う。

(1) 設置目的

子どもの教育における様々な問題(不登校、非行、いじめ、発達・情緒に関する問題等)に対して、その問題行動の未然防止や解決のために、早期に把握し、家庭、学校、地域及び関係機関・団体との連携を図りながら、相談・支援・指導・居場所づくり等の諸活動を行い、その健全な育成を図ることを目的とする。

(2) 業務内容

- ① 幼児から児童生徒、過卒生の教育に関する様々な問題に対する相談・支援に関すること。
- ② 幼児児童生徒の生活指導に係る情報の収集及び提供に関すること。
- ③ 夜間街頭巡回指導に関すること。
- ④ 広報啓発活動に関すること。
- ⑤ 青少年の有害な環境浄化に関すること。
- ⑥ 関係機関、団体との連携に関すること。

(3) 具体的方針

- ① 支援体制について
 - 宜野湾市在住又は市立幼小中学校に在席する幼児、児童生徒、過卒生の教育に関する問題を抱える本人、保護者、教職員に対して相談・支援を行う。
 - 個々の相談については、青少年サポートセンター所長の監督の下、臨床心理士、臨床心理士補助嘱託員、スクールソーシャルワーカーアドバイザー、スクールソーシャルワーカーコーディネーター、青少年教育相談指導員が実施する。
 - 第一相談室は怠学・非行型の不登校児童生徒に関する相談・支援業務を実施する。第二相談室は心理的情緒的不安による不登校や発達に関する相談・支援業務を実施する。
- ② 相談活動について
 - 相談活動は、電話相談、来所相談、訪問相談、巡回相談とする。
 - 電話相談、来所相談については、教育におけるさまざまな悩みについて、本人や保護者からの相談はもとより学校や他機関からの紹介を受けて相談を行う。

- 訪問相談については、学校から相談のあった幼児児童生徒や街頭指導した青少年に対して、学校と相談しながら家庭訪問を行い、本人や保護者に対して、問題行動等の解消に向けた指導及び相談を行う。
 - 第一教育相談室が行う訪問支援については、通級している児童生徒に対し校内で相談や支援を行う。
 - 学校から依頼のある巡回相談について(「気になる子」についての保育・授業観察などを含む)、青少年サポートセンター所長の監督の下、臨床心理士が実施する。
 - 相談日は、月曜日から金曜日(午前9時～午後4時:休業日等は除く)とする。
 - 通級相談における相談時間は一回あたり1時間～1時間半、継続相談については50分程度とする。
 - 通級相談では、支援回数を原則として週1～3回とする。
 - 心理的情緒不安(心因性)不登校の児童生徒が適応指導教室「若葉」に入級を希望する場合、第二教育相談室も「若葉」入級の相談窓口として相談を行う。
 - 義務教育を修了し、継続相談を希望する青少年(18才以下)は個々の対応を基本とするので十分な支援ができる範囲内で受け入れる。
- ③ 学校配置支援事業について
- 学校配置相談指導員スクールソーシャルワーカー(SSW)は4中学校と5小学校に合計14名配置して、学校関係職員との連携を図り、児童生徒、保護者の相談・支援を行う。
 - 学校配置相談指導員スクールソーシャルワーカー(SSW)は第一、第二教育相談室と情報・行動連携を図りながら業務を遂行する。
 - 年5回の「はごろも実務者研修会」を通して学校配置相談指導員スクールソーシャルワーカー(SSW)の資質向上、スキルアップを図る。
- ④ 夜間街頭指導について
- 指導員は市内4中学校から4人ずつ選出し、16人体制で活動する。4人グループに編成し、各グループとも班長を決める。班長は、その日の活動の世話役となり、活動日誌の記入をする。
 - 夜間街頭指導は、原則として週3日とし、金曜日・土曜日と平日に1回実施する。平日は基本的に午後9時～午後11時までとし、金曜日・土曜日は、午後10時～午前零時の時間帯に実施する。状況によっては実施曜日の変更もあり得る。
 - 指導員の研修会には、原則として全員参加するものとし指導員の資質向上に努める。
 - 「少年を守る日」の街頭指導日には、街頭指導員も地域の一員として参加協力し、学校と地域との連携を図る。
- ⑤ 居場所づくりについて
- 子どもの心に響く、感動する居場所づくりを実施する。
 - 青少年の問題行動の未然防止と健全育成のために諸体験活動の推進を図る。
 - 青少年にさまざまな体験を通して自分の良さや特技などを発見し、将来への夢を持たせ、最終的には学校復帰へ繋がるように働きかける。
- ⑥ 環境浄化・広報啓発活動について
- 関係機関・団体と連携をとり、有害図書販売やたばこの自動販売機設置の実態調査を行う。
 - 宜野湾市青少年サポートセンターしおりを発行し、関係機関・団体や学校等に提供する。
- ⑦ その他の健全育成について
- 青少年の問題行動の未然防止と健全育成のために、諸体験活動を推進する。

2. 業務内容

(1) 第一教育相談室

- 対象
宜野湾市在住の児童生徒(小学生～中学校を卒業した 18 歳までの過卒生)及びその保護者
- 相談の内容
怠学、非行傾向にある不登校に関する相談、支援。
- 具体的な業務内容
 - ①電話相談…相談者からの電話に対して相談員が対応、場合により関係機関と連携して支援を行う。
 - ②来所相談…直接来所した相談者に対して相談員が対応、学校配置相談指導員と連携を図り支援を行い、過卒生の相談に関しては関係機関と連携を図り支援を行う。
 - ③訪問相談…ケース会議の依頼、運営、参加等を行う。また相談依頼のある家庭への訪問を行う。
 - ④学校巡回相談…定期的に学校を巡回し、学校配置相談指導員と連携を図りながら、学校及び保護者(SSW との連携)等からの依頼のある相談支援を行う。
 - ・通級相談…通級生徒と保護者に対して定期的な面談を行い、場合により学習支援ボランティアによる学習支援を行う。
 - ・体験通級…通級に至らない生徒に対し定期的に来所相談を行う。
 - ・訪問支援…学校に通えている通級生徒を定期的に学校訪問し支援を行う。
 - ・体験活動…調理実習やスポーツ、施設見学等の企画・運営・参加。
 - ⑤各種会議の企画・運営・参加…HSN 会議、はごろも実務者研修会等の企画・運営を行う。
 - ⑥関係機関の会議・研修への参加…県及び市主催の研修会、連絡協議会への参加。
 - ⑦警察署との連携…夜間街頭指導員や地域からの情報をもとに問題行動の未然防止と早期対応を図る。
 - ⑧各大学のボランティア支援室との連携…通級生に対し、学習支援ボランティアの要請を行う。
 - ⑨他市町村との広域連携…他市町村の学校・教育員会並びに行政機関との情報交換・行動連携を図る。

(2) 第二教育相談室

- 対象
宜野湾市在住の幼児・児童生徒、中学校を卒業した 18 歳までの過卒生及びその保護者
- 相談の内容(主訴)
心理的情緒的不安(心因性)不登校、発達、対人関係、いじめ、性格・気分に関する相談の中で行われる心理検査の実施(心理検査のみの実施は行っていない)
- 具体的な業務内容
 - ①電話相談…電話にて臨床心理士、相談員が対応する。
 - ②来所相談…通級相談(不登校)、継続相談(学校には通えているが、何らかの課題を抱えている子どもの相談)を行う。
 - ③訪問相談…各種ケース会議の依頼・運営・参加
 - ④巡回相談…授業観察や学校巡回、コンサルテーションなどを行う。

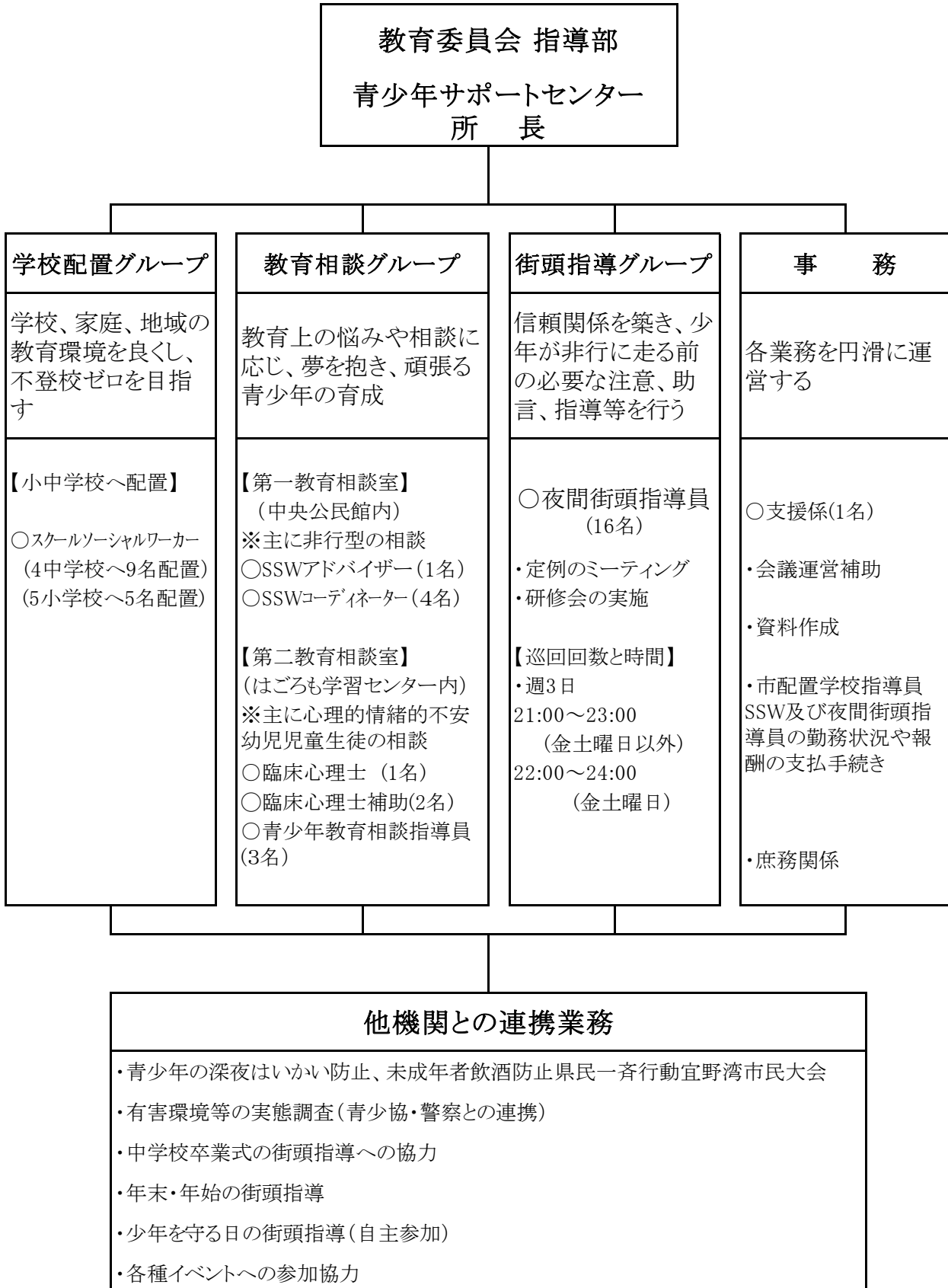
- ⑤適応指導教室「若葉」との連携を図る。
 - ・連携教育相談ミーティング(月 1 回)の実施
 - ・若葉ミーティング(不定期)の実施
 - ・入級児童生徒と保護者の定期的な面談
 - ・第二教育相談室、若葉と合同で行う体験活動の企画・運営・参加
 - ・その他必要と認められる事項
- ⑥各関連機関スクールカウンセラー、市福祉推進部(児童家庭課、保護課、障がい福祉課、保育課など)、サポートステーション沖縄などとの行動連携を図る。
- ⑦各種会議(HSN 会議、はごろも実務者研修会、学校支援相談会など)の企画・運営・参加を行う
- ⑧大学との連携(琉球大学大学院教育学研究科臨床心理学専攻の院生の実習受入)を図る。
- ⑨緊急支援(緊急を要する幼児・児童生徒のカウンセリング等)に関し必要と認められる事項を行う。

(3) 臨床心理士の役割について

- 教育相談グループ(第二教育相談室)の統括
 - ・臨床心理士は、相談業務の統括を行う。
 - ・ 来所相談については、初回面接を実施し、その後、担当の教育相談員にコンサルテーションを行い相談活動をともに行う(基本的には相談員に相談を割り振るが、難しいケースの場合は心理士が担当する)。
- 教育相談グループ(第一教育相談室)との連携
 - ・ 第一教育相談室で対応しているケースに関しては、「ケースミーティング」の場で相談員に対しアドバイスをを行う。
- 学校配置グループ(学校配置相談指導員)との関わり
 - ・ 随時情報連携、行動連携を図ることに努める。
- 適応指導教室「若葉」への支援
 - ・ 適応指導教室「若葉」へ入級まで担当した児童生徒(またはその保護者)に対して、入級後も面談を実施し継続的な支援に努める。
 - ・ 適応指導教室「若葉」の担当教諭、指導員に対してスーパーバイズを行う。
- 関連機関との連携
 - ・ スクールカウンセラー(SC)連絡協議会を開催し、SCとの連携に努める。
 - ・ 関連機関との連携として、「つながり」(発達障がい児者関係機関連絡会議)に出席し、福祉推進部との連携に努める。
 - ・ その他、随時連携が必要と思われる会議(はごろも実務者研修会、はごろもサポートネットワーク会議、学校支援相談会など)に出席し、スーパーバイズまたは事務局の一員として教育相談支援を実施する。

3. 組織図

業務体制



4. 相談指導員の種類・配置先・任務等について

名称	配置先	任務	勤務形態	期限	備考
臨床心理士 (1名)	・青少年サポートセンター第二相談室(はごろも学習センター在)	・幼児児童生徒のカウンセリングに関する事 ・適応指導教室、教育相談室の支援 ・教職員、保護者のカウンセリング ・関係機関との連携	・本務		
臨床心理士 補助嘱託員 (2名)	・青少年サポートセンター第二相談室(はごろも学習センター在)	・臨床心理士が行う不登校児童生徒や保護者のカウンセリング、教育相談支援業務等のサポート業務。 ・状況によっては臨床心理士の業務の代理も担う	・嘱託 週 30 時間	年度更新	市費
スクール ソーシャル ワーカー アドバイザー (1名)	・青少年サポートセンター 第一相談室 (市民会館在)	・学校配置相談指導員(ssw)への指導助言 ・第一相談指導室sswコーディネーターの統括を担う ・学校、家庭、関係機関との情報連携、行動連携を図るためのネットワーク会議等の推進 ・各小中学校の生徒指導主任、教育相談担当教諭との情報交換、協力体制を密にする	・嘱託 週 30 時間	年度更新	市費
スクール ソーシャル ワーカー コーディネーター (4名)	・青少年サポートセンター 第一相談室 (市民会館在)	・学校、家庭、関係機関との情報連携、行動連携を図るためのネットワーク会議等の推進 ・各小中学校の生徒指導主任、教育相談担当教諭との情報交換、協力体制を図る ・関係機関との連携 ・学校配置相談指導員のコーディネートする ・児童生徒、保護者、教職員に対する支援 ・相談の実施	・嘱託 週 4 日勤務 1 日 6 時間	年度更新	市費
青少年教育 相談指導員 (3名)	・青少年サポートセンター 第二相談室 (はごろも学習センター在)	・心理的情緒的不安(心因性)の不登校児童生徒や過卒生、保護者、教職員等に対する支援・相談活動の実施 ・青少年の教育相談に関する事 ・体験学習や交流事業に関する事 ・不登校児童生徒の生活支援に関する事 ・保護者、在籍校との連携・協力 ・不登校児童生徒の学習支援に関する相談 ・適応指導教室との連携に関する事	・嘱託 週 4 日勤務 1 日 6 時間	年度更新	市費
スクール ソーシャル ワーカー (14名) 中学校(4校) 小学校(5校)	・普天間中 (3名) ・真志喜中 (2名) ・嘉数中 (2名) ・宜野湾中 (2名) ・宜野湾小 (1名) ・志真志小 (1名) ・嘉数小 (1名) ・大謝名小 (1名) ・はごろも小(1名)	・児童生徒の置かれた様々な環境問題(家庭・友人環境等)に働きかけ、問題を抱える児童生徒に対して未然防止、早期発見、早期対応に努める。	週 4 日勤務 1 日 6 時間 年間 171 日	年度更新	市費

5. 平成26年度青少年サポートセンター教育相談室活動状況

(平成26年4月～平成27年3月)

1. 平成26年度第一・第二教育相談室活動状況

※ 第一教育相談室・・・主にあそび・非行傾向の児童・生徒・その保護者対象

※ 第二教育相談室・・・主に心理的情緒不安(心因性)及び発達の課題を抱えている幼児・児童・生徒・その保護者対象

相談受理状況(延べ数)

・来所相談

	就学前	小学生	中学生	過卒生	保護者	学校関係者	関係機関	合計
第一教育相談室		0	71	29	17	281	253	651
第二教育相談室	7	255	407	0	463	61	106	1,299
合計	7	255	478	29	480	342	359	1,950

・訪問相談

	就学前	小学生	中学生	過卒生	保護者	学校関係者	関係機関	合計
第一教育相談室		1	130	2	16	787	125	1,061
第二教育相談室	0	16	23	0	5	120	118	282
合計	0	17	153	2	21	907	243	1,343

・巡回相談

	就学前	小学生	中学生	過卒生	保護者	学校関係者	関係機関	合計
第一教育相談室		0	0	0	0	156	41	197
第二教育相談室	1	4	0	0	0	2	0	7
合計	1	4	0	0	0	158	41	204

・電話相談

	就学前	小学生	中学生	過卒生	保護者	学校関係者	関係機関	合計
第一教育相談室		0	20	16	63	875	793	1,767
第二教育相談室	0	0	11	0	569	615	215	1,410
合計	0	0	31	16	632	1,490	1,008	3,177

6. 平成 26 年度 夜間街頭指導員による指導実績

(午後 9 時以降指導された延べ人数)

※巡回曜日・時間 平日→21:00～23:00 金・土→22:00～24:00

(平成 26 年 4 月～平成 27 年 3 月)

巡回指導場所	4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		1月		2月		3月		合計	
	小・中	高・過卒	小・中	高・過卒	小・中	高・過卒	小・中	高・過卒	小・中	高・過卒	小・中	高・過卒	小・中	高・過卒	小・中	高・過卒	小・中	高・過卒	小・中	高・過卒	小・中	高・過卒	小・中	高・過卒		
普天間中学校校区	松の丘公園																								0	
	あすなろ公園(タコ)							2				2			6								6		16	
	ソウ公園(きさらぎ)	2																					2		4	
	新城公園										2	1											2		5	
	ひがし児童公園				3																				3	
	ちゆんな公園	5				2							2							4		4		5	2	24
	野嵩ユニオン											11												3	14	
	野嵩公園		2				5				2	6				2						3		9	29	
	普天間小前																								0	
	普天間公園								2				1	4											7	
	その他	2	5					3	25	5	3														43	
真志喜中学校校区	ラウンドワン																4	10						14		
	ユニオン周辺																							0		
	コンベンション																							0		
	サンエー大山店																							0		
	はにんす																							0		
	あだん公園																							0		
	カメ公園						2			2	4													8		
	シーサー公園																							0		
	マック(真志喜)																							0		
	海浜公園(ぎのわん)																							0		
	わかたけ公園								2															2		
	真志喜公園(ロケット)													3								2		5		
	夕日が丘公園																					4		4		
	ファミマ(大謝名)																							0		
	はごろも小																							0		
	かたばる公園			3	17	7	3	7	12	13	7	2	2	4	13	2		5				2	2	101		
ユニオン真志喜店										3	7												10			
伊佐第二児童公園		5					7														3		15			
その他				8																			8			
嘉数中学校校区	嘉数高台																						0			
	真栄原公園																				3			3		
	嘉中校門前								7					1	4						6			18		
	ぐんばる公園	2			5																		5	17		
	ひやら川公園		2	14	11		2	5	2	6		2	3	6	13		5	15						81		
	おおぶき公園										6										6			12		
	我如古公園																						0			
	ファミマ(嘉中近)					4	3	8							2								17			
	ローン我如古店									5													5			
	サンエー佐真下店																						0			
その他									11						5	2						11	29			
宜野湾中学校校区	まつぼっくり		7																				7			
	愛知高層団地															3							3			
	赤道公園								4	5	4						3			4	2		22			
	上原公園																						0			
	ファミマ(愛知)																						0			
	かねひで前																						0			
	長田サンエー																						0			
	志真志公園																						0			
	いこいのパーク																						0			
	ツタヤ前																						0			
その他																						0				
26年度合計	11	16	19	30	19	20	16	26	51	54	15	38	13	7	26	31	12	32	4	13	16	20	10	27	526	
25年度合計	17	36	31	21	26	19	9	9	14	60	23	59	30	38	10	62	22	29	2	42	25	14	3	19	620	
24年度合計	15	10	29	69	2	90	3	46	0	37	2	59	6	72	0	10	20	36	8	45	11	9	26	29	634	
26年度 月別実施回数	9回実施	12回実施	12回実施	10回実施	10回実施	10回実施	10回実施	10回実施	10回実施	10回実施	11回実施	11回実施	13回実施	11回実施	11回実施	11回実施	11回実施	11回実施	7回実施	11回実施	11回実施	11回実施	11回実施	11回実施	1回当たり 指導人数 4.1人	

社会教育

1. 基本方針

近年、国際化や高度情報化、少子高齢化に加え、産業構造の変化、環境問題に加え震災からの復興など、私たちを取りまく社会状況は大きく変化しています。

このような社会情勢において、市民一人一人が生涯にわたり、より充実した生活や生きがいを築くため、自己の学びをとらして知識や技能を高め、柔軟な思考力や自己の課題解決力を身につけることが必要です。

そのためにも市民がともに学び合い、身に付けた知識や技能がそれぞれの社会や地域で活かされ、地域力が高まり響きあう環境づくりを目指します。

そして、平成 22 年 3 月に策定した宜野湾市生涯学習推進計画において掲げた基本理念「ともに学びあい、響きあい、平和を希求する都市(まち)ぎのわん」を踏まえた 3 つの基本方針「1. 生涯学習の基盤づくり」「2. ライフステージに対応した学習支援」「3. 生涯学習を支え活かす仕組みづくり」のもと、以下の重点目標の達成に向けて取り組みます。

2. 重点目標

(1) 生涯にわたり市民がともに学びあうことによる地域教育力の向上のため、社会教育委員や社会教育関係団体と連携し、生涯学習並びに社会教育の振興に努めます。

(2) 学校・家庭・地域が一体となって子どもたちを育む環境づくりを目指し、地域住民が学校支援ボランティアとして、学校運営や学習支援などに関わっていく体制づくりに努めます。一人でも多くの地域住民による学校支援ボランティア活動を積み重ね、学校と地域、地域と地域のつながりの強化を図ります。

(3) 学校・家庭・地域が連携のもと、子どもたちが社会の中で心豊かで健やかに育まれる環境づくりのため、放課後子ども教室推進事業を推進します。放課後や週末に学校の空き教室を活用し、保護者や地域住民の参画のもと、子どもたちに様々な体験活動の機会を提供していくなかで、地域の子どもは地域で育むという機運の醸成を図ります。

(4) 社会教育活動を目的とする団体(市婦人連合会、市青年連合会、市子ども会育成者連絡協議会、市PTA連合会)を補助金交付、研修実施、指導助言等をとらして育成し、その公益活動を助長すると共に、市行政の円滑なる運営を図ります。

3. 平成 26 年度主な事業実績

(1) 学校支援地域本部事業

学校支援地域本部事業は、地域全体で学校教育を支援する体制づくりを推進することにより、地域のきずなを深め、地域における教育力の活性化を図ることを目的としています。学校を中心とした地域づくりが行われることにより、地域住民の学習成果の活用機会の拡充の他、学校においては教員の子どもと向き合う時間の充実が期待されます。

○ 学校とボランティアを繋ぐ取り組み

本事業によって設置された地域コーディネーターが、地域の自治会・老人クラブ・婦人会、近隣大学等と連携し、市内小中学校の要請に応じた学校支援ボランティアを繋げてきたと共に、ボランティアの募集や派遣を行う他、学校でボランティアが活動しやすい環境づくりに努めてまいりました。

○ 主な学校支援ボランティア活動

No.	学校	支援内容	支援してくれた方
1	小学校	生活科 昔遊び体験	地域老人会
2		算数 折り紙を使った指導	保護者
3		総合学習 昔の生活講話	地域老人会
4		家庭科 ミシン操作補助	保護者、婦人会
5		総合学習 キャリア指導	義肢製作所、ワイン屋さん
6		特別授業支援	環境保護ボランティア団体
7		体育 着衣水泳指導	若手消防士
8		総合学習 キャリア講話	ダブルダッチプロチーム
9		図工 木工教室	地域のはるさー木工名人
10		朝の○付け	保護者
11		校内の田んぼ整備	地域のはるさー
12		総合学習 芋ほり体験	地域のはるさー
13		特別支援学級 むーちー作り	婦人会
14		総合学習 はごろも伝説講話	宜野湾市立博物館長
15		クラブ活動 三線	地域人材
16		図書館蔵書整備	保護者
17	中学校	総合学習 キャリア講演	県内で活躍するタレント
18		総合学習 マナー講習会	地域人材
19		適応指導教室 体験活動クッキーづくり	地域人材
20		学習支援	大学生ボランティア(キリ学、沖国、琉大)

(2) 放課後子ども教室推進事業

地域住民の参画のもと、放課後や週末に子どもたちの安心安全な居場所を設け、勉強やスポーツ・文化芸術活動、地域交流活動の機会を提供することにより、子どもたちが地域社会の中で、心豊かで健やかに育まれる環境づくりを推進します。

○ 放課後子ども教室コーディネーター及び教育活動推進員、教育活動サポーターの取り組み

放課後子ども教室コーディネーターが中心となって、学校の空きスペースを拠点とした居場所づくりの企画運営を行い、教育活動推進員、教育活動サポーターと連携協力し、子どもたちに様々な体験活動や学習の機会を提供しました。子どもの居場所づくりをとおして、コーディネーターを中心に学校・PTA・地域住民との連携が図られました。

○ 平成 26 年度活動実績

学校区	活動内容	活動回数	参加児童人数
普天間小学校 放課後子ども教室	製作活動、料理教室、軽スポーツ等	38	1,000
大山小学校 放課後子ども教室	製作活動、体験活動、宿題サポート等	37	600
はごろも小学校 放課後子ども教室	製作活動、室内遊び、宿題サポート等	36	600
合 計		111	2,200

(3) 社会教育団体の育成

社会教育を推進し、活気ある地域づくりのリーダー育成を図るため、以下の研修を実施するとともに各社会教育関係団体が実施する研修を支援しました。

生涯学習課が実施したリーダー研修

研修名	日程	研修内容
子どもリーダー及び子ども会育成者 宿泊研修	平成 26 年 11 月 23 日(土) ～11 月 24 日(日)	沖縄水産高校と連携したクラフト体験、実習船見学 自主的なレク活動 会場：糸満青少年の家、糸満市西崎運動公園
社会教育団体 合同宿泊研修	平成 27 年 3 月 20 日(土) ～3 月 21 日(日)	講話：琉球大学 教育学部 教授 背戸博史氏 「社会教育団体の意義 ～連携の必要性を考える～」 講話：株式会社ストリズム 代表取締役 金城 良治 氏 「モノ、コト、情報に物語を」 会場：ユインチホテル南城、南風原町中央公民館

生涯学習課が支援した研修

研修名	日程	研修内容
青年リーダー研修 (青年連合会)	平成 26 年 3 月 16 日(日)	講話：中頭地区青年団協議会会長 金城 薫氏 「中部地区から見る青年会の歴史」 会場：宜野湾市立中央公民館
婦人リーダー 宿泊研修 (婦人連合会)	平成 26 年 6 月 7 日(土) ～6 月 8 日(日)	講話：元教育委員長 玉寄 澄子氏 「これからの婦人会活動」 会場：沖縄サンコーストホテル

(4) 成人式

新たな門出を迎える新成人の祝福・激励を目的に、宜野湾市青年連合会との連携協力のもと、成人式典を実施いたしました。

- 日程 平成 27 年 1 月 10 日(日)
- 会場 宜野湾市民会館大ホール
- 参加者 約 900 名 (市内新成人 1,150 名)
- アトラクション 5th Elements スペシャルライブ

宜野湾市青年連合会 二十歳へのメッセージ

(5) 社会教育委員

社会教育委員は社会教育に関して教育委員会に助言をするために、都道府県及び市町村に置かれる非常勤特別職であり、社会教育法に規定されております。平成 26 年度は 4 回の会議や教育委員との意見交換をとおして、教育委員会に対し指導助言を行ってまいりました。

- 第 1 回社会教育委員会議
日時:平成 26 年 7 月 24 日(火)
内容:①委嘱状交付
②今年度の事業計画について
- 第 2 回社会教育委員会議
日時:平成 26 年 11 月 12 日(水)
内容:①事業の進捗状況について(放課後子ども教室、学校支援地域本部事業)
②平成 27 年度予算要求について
③意見交換(中頭地区社会教育委員研修会、土曜教育支援事業、他)
- 第 3 回社会教育委員会議
日時:平成 27 年 1 月 16 日(金)
内容:①成人式について
②平成 26 年度中頭地区社会教育委員研修会の振り返り
③第 56 回沖縄県社会教育研究大会について
- 第 4 回社会教育委員会議
日時:平成 27 年 3 月 27 日(金)
内容:①学校支援地域本部事業、放課後子ども教室事業の報告について
②社会教育団体合同研修について
③次年度事業予算について

4. 平成 27 年度社会教育係事業計画

○ 政策事業

事業名称	実施予定日	事業のねらいまたは内容
学校支援地域本部事業	通年	地域の力で学校を支援することにより、地域教育力の向上を図る
放課後子ども教室推進事業	通年	放課後等の子どもの居場所づくり (スポーツ・文化・地域交流等活動)

○ 社会教育団体の育成

事業名称	実施予定日	事業のねらいまたは内容
社会教育団体合同宿泊研修	日程調整中	社会教育団体のリーダー育成。 各団体の役員を対象とする
子どもリーダー及び子ども会育成者研修会	11月	子ども会及び 子ども会育成者リーダー研修

○ 生涯学習・社会教育関連事業

事業名称	実施予定日	事業のねらいまたは内容
社会教育調査	9月～11月	社会教育に関する基礎的事項を明らかにすることを目的とした基幹統計調査
成人式	1月11日	成人式典やアトラクションをとおして、新成人を祝福し激励する
社会教育委員会議	年4回	社会教育や生涯学習の調査研究、提言等
生涯学習情報誌 わくわくまなびっこ	毎月発行	児童生徒を対象とした生涯学習事業の広報

○ 生涯学習諸計画の進行管理

事業名称	実施予定日	事業のねらいまたは内容
生涯学習推進計画の進捗管理	通年	平成 22 年 3 月に策定された宜野湾市生涯学習推進計画の進捗管理
子ども読書活動推進計画の進捗管理	通年	平成 24 年 3 月に策定された宜野湾市子ども読書活動推進計画の進捗管理

社会体育

1. 基本方針

長寿社会の進展に伴い、市民の健康に対する意識の高揚は、余暇時間の増加も相俟って、スポーツ施設の整備やスポーツ・レクリエーションに対する関心は高まってきています。

市民がそれぞれの体力や年齢などに応じて、いつでも、どこでも、いつまでもスポーツ・レクリエーションに親しめるように各種教室の開催や環境整備に努めてまいります。

競技スポーツの普及・向上につきましては、市体育協会や市スポーツ少年団とも連携して、競技スポーツを推進します。

宜野湾市生涯学習推進計画等に基づき、市民・関係団体への理解と協力を求め、生涯スポーツ社会の実現へ努めてまいります。

2. 重点目標

- (1)市民体育スポーツ振興を図るため、社会体育施設の整備と指導体制の充実を図り、市民スポーツの普及を推進します。
- (2)多くの市民が気軽に体育スポーツを楽しむ場として、小学校の運動場、体育館、プール等を学校教育に支障のない範囲において、広く市民に開放するとともに諸条件の整備を図ります。
- (3)市体育協会・市スポーツ少年団を中心とした各種団体の育成強化を図り、スポーツ技術の向上とスポーツ人口の拡大に努めます。

3. 宜野湾市スポーツ推進審議会

宜野湾市スポーツ推進審議会は、旧・スポーツ振興法に基づき、昭和 56 年に設置された宜野湾市の附属機関です。平成 23 年にスポーツ基本法が施行されたことに伴い、宜野湾市スポーツ振興審議会条例の一部が改正され、名称が「宜野湾市スポーツ推進審議会」に改められました。

委員は、スポーツに関する学識経験のある者及び関係行政機関の職員の中から任命され、任期は 2 年であり、その定数は 15 名以内となっています。

宜野湾市スポーツ推進審議会の役割は、宜野湾市のスポーツの推進に関する重要事項について調査審議し建議をします。

4. 宜野湾市スポーツ推進委員

スポーツ推進委員の制度は、これまでは体育指導委員という名称で呼ばれており、昭和 36 年スポーツ振興法の制定と同時に位置づけられていました。それから 50 年あまり経過した平成 23 年にスポーツ振興法がスポーツ基本法として全面改定され、その名称もスポーツ推進委員と改められました。スポーツ基本法の中では、スポーツの実技の指導や助言だけでなく、スポーツの推進のための事業に係る連絡調整としての役割を期待されています。

スポーツ推進委員の役割は、スポーツ基本法第 32 条第 2 項で規定されている通り、本市におけるスポーツの推進のため、事業の実施に係る連絡調整並びに住民に対するスポーツの実技の指導その他スポーツに関する指導及び助言を行う事が主な仕事になります。

このように地域スポーツ振興の推進役であるスポーツ推進委員のコーディネーターとしての役割が一層期待されており、活躍の場は今後さらに広がっていくものと思われます。

5. 学校体育施設開放事業

本市における学校体育施設開放事業は、昭和 54 年 6 月 26 日付文部事務次官から各都道府県教育委員会あて通知のありました「学校体育施設開放事業の推進について」によって、その方針が打ち出され、昭和 54 年 10 月 27 日に「宜野湾市学校体育施設の開放に関する規則」が制定され、開放事業がスタートしました。

本市においては、市民スポーツの振興を図るため年々社会体育施設が整備され、充実してきましたが、生活水準の向上等によって増大する余暇時間をスポーツ活動に活用したいという市民のスポーツ熱に応えるために、学校教育に支障ない範囲で学校体育施設(体育館・運動場・プール)を開放してきました。

本市では、今後も市民の健康・体力づくり、スポーツ、レクリエーションの活動の場として身近で気軽に利用できる学校体育施設の開放事業をさらに推進していきます。

平成 27 年度 宜野湾市立学校体育施設開放事業(各施設一覧)

学校名	体育館	運動場	プール
普天間小学校	月・火・木・金 20 時～22 時	土・日・祝日 14 時～18 時	夏期休業期間(月・水・金) 9 時～12 時
普天間第二小学校			
大山小学校			
大謝名小学校			
嘉数小学校		土・日・祝日 14 時～18 時 月・火・木・金 20 時～22 時	
志真志小学校		土・日・祝日 14 時～18 時	
宜野湾小学校			
長田小学校			
はごろも小学校			
普天間中学校	月・火・木・金 20 時～22 時	月・火・木・金 20 時～22 時	夏期休業期間 (月・水・金) 19 時～21 時
嘉数中学校			
真志喜中学校			
宜野湾中学校			

※各学校の備品・施設の整備状況等により、利用できない競技種目があります。

(夜間運動場での野球、体育館でのフットサル・ハンドボール等)

※団体利用調整会議を毎年開催。(2 月から 3 月ごろ)

6. 平成 27 年度事業計画

No	主催・共催等事業	日 程	日 数	人 数
1	リンパマッサージ及び 初級キネシオテーピング教室	8 月	3 日間	60 名
2	フィットネス教室	9 月	5 日間	100 名
3	子ども水泳教室(着衣泳)	7 月・8 月	2 日間	40 名
4	カヌー体験教室	7 月・8 月	2 日間	40 名
5	生涯スポーツフェスティバル	10 月 9・10・11 日	3 日間	1,000 名
6	体力測定会・レクリエーション等体験	10 月 9 日		20 名
7	キャンプ料理教室	2 月	2 日間	400 名
8	宜野湾市支部対抗陸上競技大会	9 月 26・27 日	2 日間	1,200 名
9	ぎのわん車いすマラソン大会 競技部参画	12 月 13 日	1 日間	300 名

No	学校開放事業	日 程	日 数	人 数
1	小学校体育館・運動場開放	4 月 1 日～3 月 31 日	1 年間	
2	中学校運動場夜間開放	4 月 1 日～3 月 31 日	1 年間	
3	小学校プール昼間開放	7 月 22 日～8 月 24 日 (月・水・金)	15 日間	
4	中学校プール夜間開放	7 月 22 日～8 月 24 日 (月・水・金)	15 日間	

No	備品貸出	日 程	日 数	人 数
1	レクリエーション備品貸出	4 月 1 日～3 月 31 日	1 年間	

No	スポーツ推進委員派遣事業	日 程	日 数	人 数
1	スポーツ推進委員派遣事業	4 月 1 日～3 月 31 日	1 年間	

7. 平成 26 年度事業実績

区分	No	教室名もしくは事業名	日程	日数	参加者 (大人)	参加者 (20歳 未満)	スポ推進 委員派遣 人数	参加者 合計
主催事業	1	リンパマッサージ講座	5.20～	4	64		41	64
	2	初級キネシオテーピング講座	7.18～	4	64		40	64
	3	着衣泳体験教室	8.14～	2		32		32
	4	フィットネス教室	9.26～	5	80			80
	5	キャンプ料理教室	2.1	1	460			460
	小計				16	668	32	81
スポーツ推進委員派遣事業	1	一般高齢者施策 体力測定会	6.1～	23	460		66	460
	2	支部対抗陸上競技大会	9.28	2		900	10	900
	3	中部トリムマラソン大会	11.17	1		3,500	6	3,500
	4	市内小中学校親子レク (学年行事)	6.1～	5	100	550	54	650
	5	第 25 回ぎのわん 車いすマラソン大会	12.8	1	250		18	250
共催事業	1	夏季巡回ラジオ体操会	7.28	1	3,400		15	3,400
	2	野球教室	7.30	2	10	30	0	40
小計				35	8,620	580	169	9,200
合計				51	9,288	612	250	9,900



「夏季巡回ラジオ体操会」



着衣泳教室



リンパマッサージ講座

8. 平成26年度 宜野湾市学校体育施設開放事業(実績)

8 小学校		体育館		運動場		プール		計	
		回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数
1	普天間小学校	294	2,846	77	2,856	14	1,209	385	6,911
2	普天間第二小学校	260	3,201	72	3,501	14	583	346	7,285
3	大山小学校	265	2,215	46	1,570	15	290	326	4,075
4	大謝名小学校	194	1,518	59	2,182	13	639	266	4,339
5	嘉数小学校	170	1,925	83	3,330	12	456	265	5,711
6	志真志小学校	165	1,403	108	2,735	14	556	287	4,694
7	宜野湾小学校	221	2,322	51	1,741	0	0	272	4,063
8	長田小学校	259	2,438	0	0	12	656	271	3,094
小学校 計		1,828	17,868	496	17,915	94	4,389	2,418	40,172
4 中学校		体育館		運動場		プール		計	
		回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数
1	普天間中学校			65	1,738			65	1,738
2	真志喜中学校			162	2,145			162	2,145
3	嘉数中学校			238	2,551	18	397	256	2,948
4	宜野湾中学校			132	1,453			132	1,453
中学校 計		0	0	597	7,887	18	397	615	8,284
12 小中学校		体育館		運動場		プール		計	
		回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数
1	小学校 8校	1,828	17,868	496	17,915	94	4,389	2,418	40,172
2	中学校 4校	0	0	597	7,887	18	397	615	8,284
合計		1,828	17,868	1,093	25,802	112	4,786	3,033	48,456

9. 平成26年度スポーツ少年団県外派遣実績

No	種目	チーム名等	派遣大会名	派遣月	対象人数	開催地
1	卓球	ハッピー卓球クラブ	全日本卓球選手権大会	H26.7.25～	2名	兵庫県
2	柔道	宜野湾警察署スポーツ少年団柔道部	第34回全国少年柔道大会	H26.5.4～	2名	東京都
3	卓球	ハッピー卓球クラブ	第28回全国ホープス南日本ブロック大会	H26.8.30～	7名	長崎県
4	空手	空手道凜道場	第1回全九州少年少女空手道選手権大会	H26.6.21～	2名	宮崎県
5	サッカー	県選抜	第26回九州地域少年サッカートレセンU-12 宮崎県大会	H26.8.22～	2名	宮崎県
6	空手	空手道凜道場	第14回全日本少年少女空手道選手権大会	H26.8.16～	1名	東京都
7	サッカー	県選抜	第1回九州トレセン女子U-12	H26.8.23～	3名	鹿児島県
8	サッカー	中頭選抜(県代表)	第1回なでしこMIYAZAKIカップ	H26.11.29～	8名	宮崎県
9	サッカー	県選抜	第3回九州クラブユースU-15	H26.7.22～	3名	宮崎県
10	ボクシング	個人	第7回U-15ボクシング全国大会	H26.9.6～	1名	東京都
					計	31名

10. 平成 27 年度学校体育施設開放事業団体登録数

団体区分	施設名	種 目	団体登録数	登録人数
一般団体	体育館	バレーボール	21 団体	226 人
		バスケットボール	11 団体	103 人
		バドミントン	11 団体	116 人
		バウンドテニス	3 団体	30 人
		ソフトバレーボール	2 団体	20 人
		インディアカ	1 団体	10 人
		健康体操	1 団体	10 人
		テニポン	2 団体	20 人
		レクリエーション	1 団体	19 人
		小 計	53 団体	554 人
	グラウンド	ソフトボール	9 団体	90 人
		サッカー	17 団体	170 人
		野球	8 団体	89 人
		小 計	34 団体	349 人
団体数小計(a)			87 団体	903 人
スポーツ少年団	グラウンド	少年サッカー	5 団体	118 人
		少年野球	10 団体	234 人
		小 計	15 団体	352 人
	団体数小計(b)			15 団体
合計[(a)+(b)]			102 団体	1,255 人

中央公民館

1. 基本方針

社会の急激な変化に伴い、心の豊かさや生きがいを求めて市民の学習ニーズは増大し、多様化・高度化している。そのような中で市民の要求に適切に応える生涯学習の拠点として、中央公民館の果たす役割は大きくなってきている。

中央公民館は生涯各期に応じた学習の場、憩いの場として、いつでも誰でも気軽に利用できる施設・設備の充実と市民の学習ニーズに応じた各種講座・教室・社会教育学級等を開設する。

また、はごろも学習センターをはじめとする教育施設とも連携を密にするとともに、自治公民館との連携事業を推進し、地域学習支援や広報活動を通して市民の生涯学習に対する意識を高め、自主的な学習活動への参加を促進する。

さらに、急速に進展する少子高齢化に向けて今後は学校と連携をとり、「学社融合」事業を積極的に推進する。

2. 運営方針

中央公民館は、社会教育法第 23 条(公民館の運営方針)の規定を受け、次のとおり公民館の運営方針を定める。

①地域の人々が「集い・学び・憩い・そして創造」の場として、市民の利用も年々増加しており、子どもから高齢者までのあらゆる市民のニーズに応えるべく、各種の講座や研修、展示会等の学習機会を提供し、コミュニティーづくりに努める。

②児童生徒の地域社会との交流の場の提供等、様々な体験学習を通して、逞しく意欲的に「生きる力」を育てていくための青少年健全育成事業を促進する。

③講座や研修会等に提供する資料や図書等を整え、広く市民の活用を図る。

④地域の人々にとって最も身近な施設である市内の自治公民館を、生涯学習関連施設として位置付けることへの条件整備をし、時代に即した幅広い活動を展開する。

3. 最重点施策・重点施策・取り組み事項

最重点施策

- ① 中央公民館講座・教室・学級の充実、強化を図る
- ② 定期利用団体(サークル)の支援

重点施策

- ① 広報活動、情報提供等の充実、強化
- ② 自治公民館及び教育的機能を有する施設との連携事業の強化
- ③ 中央公民館まつり(生涯学習フェスティバル)の充実

取り組み事項

- ① サークルのボランティア講師の受け皿づくり
- ② 青少年支援事業の推進
- ③ 中央公民館の充実を図り、利用者の要求に充分応えられるよう公民館サービスを強化する
- ④ 自治会長会等研修会の実施
- ⑤ 図書室の充実と利用促進

4. 平成 27 年度事業計画

(1) 中央公民館主催講座(成人対象事業)

区分	講座名	開催月	曜日	時間	回数	対象定員	場所	
成人対象事業	パソコン講座	かんたんワード講座	5月	月水金	10～12時	全6回	各20名	第1研修室
		エクセル入門講座	6月		19～21時	全6回		
		かんたんワード講座	9月		14～16時	全6回		
		エクセル入門講座	10月		14～16時	全6回		
		社会人のためのエクセル講座	11月		19～21時	全9回		
		ワードで作る年賀状講座	12月		10～12時	全6回		
	プランターで育てるキッチンハーブ	6月	月水金	10～12時	全3回	20名	館外調理実習室	
	独身～パパのクッキング	6月	土	11～14時	全3回	男性16名	調理実習室	
	老後の為の備え術Ⅱ	8月	月水	15～17時	全4回	30名	集会場	
	ベビーマッサージぶらす	8月	水木金	14～16時	全3回	保護者15名	児童室	
	初めてのハワイアンキルト	9月	木	13～16時	全6回	20名	第2研修室	
	スマホを使いこなそう！(トコモ/au/Yモバ)	9月	月水金	14～16時	各1回	各10名	第2研修室	
	気軽に三線始めましょうⅡ	10月	月水金	19～21時	全6回	20名	視聴覚室	
お家でパン作りⅡ	11月	土	14～17時	全4回	16名	調理実習室		

(2) 中央公民館主催講座(キッズ・ジュニア・親子対象事業)

区分	講座名	開催月	曜日	時間	回数	対象定員	場所
キッズ・ジュニア・親子対象事業	子どもアニメ映写会	5～1月	第3土日	10時～11時30分	全18回	幼・小50名	視聴覚室
	母の日企画『ペーパークラフトのおしゃれマルチBOX』	5月	土	13時～16時	1回	小3～616名	第2研修室
	ミツバチ博士から学ぶ！ミツバチ観察教室	7月	水	10時～12時	1回	小1～6親子20組	西原町
	ネイチャーゲームで自然体験	7月	土	13時～17時	1回	小1～6親子20組	集会場 会館前広場
	ダッチオープンDEハーブチキン作り	7月	日	9時～12時	1回	小1～6親子10組	調理実習室 周辺屋外
	身近な海の中をみてみよう！ダイビング体験教室	7月	月木	9時～12時 13時～16時	各1回	中学生	マリン支援センター近くのポイント
	宿題お助け隊①こども書道教室	7月	水	10時～12時	1回	小4～620名	第2研修室
	宿題お助け隊②こども絵画教室	8月	水	13時～15時	1回	小4～616名	第2研修室
	木の実クラフト教室	8月	金	13時～16時	1回	小4～620名	第2研修室

(3) 企画事業					
区分	講座名	開催日	曜日	対象	場所
企画事業	慰霊の日パネル展	6月15～29日	毎日 (火曜を除く)	市民	市民会館 1階ロビー
	(生涯フェスティバル) 第30回中央公民館まつり	2月6～7日	土日		市民会館 中央公民館

(4) 地域学習支援事業・自治公民館連携事業					
講座種別	対象	定員	実施月	開設自治会	
地域学習支援事業	高齢者学級	おおむね 65歳以上の方	15名以上	6月～12月	喜友名区
	女性学級	対象地域の 女性団体	15名以上	6月～12月	新城区・愛知区・上大謝名
	家庭教育学級	市内小中学校、 幼稚園の園児・ 児童・生徒の保護者	15名以上	6月～12月	普天間1区
	青年学級	対象地域の 青年会	15名以上	6月～12月	野嵩1区・普天間3区 真志喜区・長田区・大山区
自治公民館連携事業	自治公民館講座	地域住民	20人以上	6月～12月	普天間1区・2区・3区 野嵩2区・3区・伊佐区 大山区・大謝名区・長田区

5. 平成26年度事業報告

(1) 公民館主催講座								
成人対象								
No	講座名	実施期間 (曜日)	時間	回数	定員	応募人数	受講者数	実施場所
1	まったく初めてのパソコン講座①	5/12～5/16 (月・水・金)	14:00～16:00	3	20	20	20	第1研修室
2	ワード入門講座①	6/30～7/11 (月・水・金)	10:00～12:00	6	20	20	19	第1研修室
3	まったく初めてのパソコン講座②	8/25～8/29 (月・水・金)	10:00～12:00	3	20	20	18	第1研修室
4	ワード入門講座②	9/1～9/12 (月・水・金)	10:00～12:00	6	20	22	20	第1研修室
5	社会人のためのエクセル講座①	10/20～10/31 (月・水・金)	19:00～21:00	6	20	19	19	第1研修室

成人対象								
No	講座名	実施期間 (曜日)	時間	回数	定員	応募 人数	受講 者数	実施場所
6	まったく初めてのパソコン講座③	11/10～11/14 (月・水・金)	10:00～12:00	3	20	16	16	第1研修室
7	社会人のためのエクセル講座②	11/17～11/28 (月・水・木・金)	19:00～21:00	6	20	12	12	第1研修室
8	ワード入門講座③	12/1～12/12 (月・水・金)	10:00～12:00	6	20	24	20	第1研修室
9	すぐ身に付く 美文字レッスン	5/23～6/13 (毎金曜日)	19:00～21:00	4	16	30	16	第2研修室
10	昔懐かし沖縄料理	6/11～6/25 (毎水曜日)	14:00～17:00	3	20	20	20	調理実習室
11	エコクラフトバック作り	8/18～9/1 (毎月曜日)	13:30～16:30	3	16	25	24	集会場
12	ワインを楽しむⅡ	9/3～9/10 (毎水曜日)	19:00～21:00	2	20	23	21	調理実習室
13	老後の為の備え術	9/12～9/26 (毎金曜日)	14:00～16:00	3	20	35	34	視聴覚室 教育委員会 会議室集会場
14	気軽に・三線・ 始めましょう	9/29～10/20 (毎水曜日)	14:00～16:00	6	10	20	20	視聴覚室
15	健康・美UPⅡ	10/17～10/29 (金・水曜日)	19:00～21:00	3	20	21	18	集会場
16	お家でパン作り	11/5～11/26 (毎水曜日)	14:00～17:00	4	16	52	16	調理実習室
17	陶器で作る ランプシェード	12/3～12/24 (毎水曜日)	14:00～16:00	4	15	18	18	老人 福祉センター



ワード入門講座



お家でパン作り



気軽に三線始めましょう



陶器で作るランプシェード

青少年・親子対象							
No	講座名	実施期間 (曜日)	時間	対象	定員	受講者数	実施場所
1	こどもアニメ映写会	5月～1月 毎月第2土日	10:00～11:30	幼～小学6年生 親子でも可	—	67人	視聴覚室
2	【父の日企画】 親子トールペイント教室	6/8(日)	13:30～16:30	小1～6年生 親子	親子 15組	15組 34人	集会場
3	科学あそび教室	7/23(水)	13:30～16:30	小4～6年生	30人	19人	集会場
4	スケートボード教室	7/25(金)	15:00～18:00	小5～ 中3年生	20人	18人	憩いの 市民パーク
5	親子木工教室	7/27(日)	13:30～16:30	小3～6年生 親子	親子 10組	6組 12人	嘉数小 木工広場
6	親子ミニ四駆作り教室& レース大会	8/3(日)	13:30～16:30	小1～6年生 親子	親子 25組	26組 52人	集会場
7	こどもクッキング教室	12/6(土)	13:30～16:30	小1～6年生	16人	16人	調理 実習室



親子木工教室

子どもクッキング

親子トールペイント教室

スケートボード教室

(2) 企画事業

企画事業								
No	企画名	期間	時間	対象	回数	定員	来場者数	実施場所
1	慰霊の日パネル展	6/16～6/30	9:00～17:00	市民	—	—	27	展示室
2	(生涯学習フェスティバル) 第29回中央公民館まつり	H27・2/7～2/8	9:00～17:00	〃	—	—	3,550	中央公民館 市民会館



受講生による三線演奏

読み聞かせ

子ども将棋サークル体験

もちつき体験

(3) 地域学習支援事業

女性学級								
No	学級名	期間	時間	対象	回数	定員	申込人数	開設自治会
1	身近な薬草・クラフト ブローチ・陶芸	5/18・6/5・12/4	10:00～12:00 18:00～21:00	女性 団体	3	15	17	愛知区
2	防災・ハーブ寄せ植え 史跡巡り ・介護体験・琉舞	9/27～12/19	9:00～11:00 10:00～12:00 19:00～21:00	〃	5	15	18	上大謝名
3	布草履づくり・島ぞうり アート	12/2～1/20	19:00～21:00	〃	4	15	19	中原区
4	ペーパークラフト(ブローチ) シルバーライフ講話 健康体操	12/11～12/18	8:00～10:00	〃	4	15	22	新城区
高齢者学級								
No	学級名	期間	時間	対象	回数	定員	申込人数	開設自治会
1	民舞・手遊び ストレッチ体操	12/5～12/17	10:00～12:00 14:00～16:00	65才 以上	4	15	20	伊佐区
2	クラフトかご作り 民踊講座	H27・1/6～1/27	13:00～17:00	〃	4	15	18	野嵩二区
3	シーサーづくり	H27・1/21～ 1/29	14:30～16:30	〃	5	15	12	喜友名区
家庭教育学級								
No	学級名	期間	時間	対象	回数	定員	申込人数	開設自治会
1	親子ネイル体験 クラフトかご作り アイロンビーズ作り	8/13～8/28	10:00～12:00 15:00～17:00	保護者 又は親子	4	15	42	野嵩一区
2	シーサーづくり 夏休み書道教室	8/15・8/31	13:00～17:00	〃	2	15	16	普天間 一区

※ 平成 26 年度は青年学級開設なし。



高齢者学級(喜友名区自治会)
シーサー作り



女性学級(上大謝名自治会)
介護体験



家庭教育学級(野嵩一区自治会)
アイロンビーズ作り

(4) 自治公民館連携事業

自治公民館講座								
No	講座名	期間	時間	対象	回数	定員	申込人数	開設自治会
1	アクセサリーづくり 一人芝居・カラオケ 動作法・ケーキ作り	6/25～12/26	12:00～14:00 13:00～15:00	地域 住民	5	20	116	普天間 二区
2	エイサー太鼓・子ども会 合宿・研修・クリスマス会	7/13～12/14	15:00～17:00 19:00～21:00	〃	5	20	97	真栄原区
3	ズンバダンス・琉球 ヨガ・おつまみ教室	11/4～11/18	19:00～22:00 20:00～22:00	〃	5	20	69	普天間 三区
4	コースター・マイはし エプロン・ピザづくり	11/6～1/22	16:00～18:00	〃	6	20	85	長田区
5	シーサーづくり・ストレッチ 体操・マイカップ作り	11/9～12/12	14:00～16:00 19:00～21:00	〃	5	20	67	伊佐区
6	レク講習・バッグ ブローチ作り美容講習	12/4～12/27	10:00～12:00	〃	5	20	85	野嵩三区
7	沖縄そば作り 島豆腐作り	12/11～12/20	13:00～15:00 15:00～17:00 17:00～19:00	〃	5	20	65	大謝名区
8	フラワーアレンジメント ケーキ作り・漬物作り	12/16～12/22	13:00～15:00 19:00～21:00	〃	5	20	73	野嵩二区
9	壁かけシーサーづくり 島ぞうりアート	H27・1/29・ 2/8	10:00～12:00 15:00～17:00	〃	2	20	29	普天間 一区



ケーキ作り(普天間二区)



フラワーアレンジメント(野嵩二区)



子ども会合宿(真栄原区)



ストレッチ体操(伊佐区)



エプロン作り(長田区)



豆腐作り(大謝名区)

6. 中央公民館で活動するサークル

平成 26 年 4 月 1 日現在

No.	曜日	サークル名	内容	活動日	活動部屋	No.	曜日	サークル名	内容	活動日	活動部屋	
1	月曜日	自彊術体操サークル	自彊術体操	10:00～12:00	集会場	37	木曜日	ベビマ！ギノワン	親子 「ベビーマッサージ」	第1・3木曜日 13:00～15:00	児童室	
2		手話サークル 虹	手話	10:00～12:00	児童室	38		宜野湾市太極拳協会	太極拳	19:00～21:00	集会場	
3		普天間川柳の会	川柳	第1月曜日 10:00～12:00	第1研修室	39		曜	羽衣吟友会	詩吟	19:00～21:00	視聴覚室
4		レザークラフトハンズ	レザークラフト	第2・4月曜日 10:00～12:00	第2研修室	40		日	オカリナサークル ふれんず	オカリナ	19:00～21:00	児童室
5		琉舞ハニンスサークル	琉舞	13:00～15:00	集会場	41		ズンバフィットネス	ズンバ	19:00～21:00	はごろも	
6		ぎのわん吟友会	詩吟	13:00～15:00	視聴覚室	42		沖ヨガサークル	ヨガ	10:00～12:00	集会場	
7		詩舞「春の会」	詩舞	13:00～15:00	児童室	43		つくし花会	華道家元池坊	10:00～12:00	第2研修室	
8		宜野湾民謡サークル月踊会	沖縄民謡	15:00～17:00	集会場	44		詩吟サークルわかば	詩吟	10:00～12:00	視聴覚室	
9		カトレアフォークダンスサークル	フォークダンス	19:00～21:00	集会場	45		トールフレンド	トールペイント	10:00～12:00	児童室	
10		ぎのわんThe Blenders Orchestra	ジャズバンド	19:00～21:00	視聴覚室	46		ラキ・フラサークル	フラダンス	13:00～15:00	集会場	
11		真美体操ぎのわん	健康体操	19:00～21:00	児童室	47		琉球かえん仁和の会	琉球かえん	13:00～15:00	第2研修室	
12		パソコンサークルさんだん花	パソコン	19:00～21:00	第1研修室	48		金	あいち吟声会	詩吟	13:00～15:00	視聴覚室
13		フラサークル ホアロハ	フラダンス	19:00～21:00	はごろも	49		曜	混元太極太和会	太極拳	15:00～17:00	集会場
14	水曜日	ぎのわんレディスFDC	フォークダンス	第1・3水曜日 10:00～12:00	集会場	50	日	手話ダンスひなざく	手話ダンス	15:00～17:00	視聴覚室	
15		ヨーガサークル	ヨーガ	第2・4水曜日 10:00～12:00	集会場	51	ラニカイフラサークル	ハワイアンフラ	19:00～21:00	集会場		
16		書道サークル みやらび	毛筆	10:00～12:00	第2研修室	52	新日本舞踊サークル舞衣	新日本舞踊	19:00～21:00	展示室		
17		サークルこぼと	コーラス	第2～4水曜日 10:00～12:00	視聴覚室	53	IT羽衣	パソコン	19:00～21:00	第1研修室		
18		着付けサークル あやめ会	着付け	10:00～12:00	児童室	54	琉球古典音楽 金曜サンシン会	琉球古典三線	19:00～21:00	視聴覚室		
19		レイモキハナ	フラダンス	13:00～15:00	集会場	55	ギターサークル 六弦大	クラシックギター	19:00～21:00	児童室		
20		水彩画サークル「ほおずき」	水彩画	13:00～15:00	第2研修室	56	中国武術サークル	中国武術	19:00～21:00	はごろも		
21		ぎのわん歌謡愛好会	カラオケ	13:00～15:00	視聴覚室	57	土曜日	紅型サークル 「彩」	紅型染め	第1・3土曜日 10:00～12:00	第2研修室	
22		華道 泉の会	生け花一葉式	13:00～15:00	児童室	58		大正琴 琴静会	大正琴	第2・4土曜日 10:00～12:00	第2研修室	
23		詩吟サークル 野嵩	詩吟	15:00～17:00	視聴覚室	59		羽衣ウクレレサークル	ウクレレ	10:00～12:00	児童室	
24		社交ダンスサークル むつみ	社交ダンス	19:00～21:00	集会場	60		北斗星「ニヌファブシ」	琉球の歴史等	第2土曜日 13:00～15:00	第2研修室	
25		パソコンサークル はばたけ	パソコン	19:00～21:00	第1研修室	61		宜野湾市うちなあくち会	うちなあくち	第4土曜日 13:00～15:00	第2研修室	
26		琉中好好サークル	中国語	19:00～21:00	第2研修室	62		民謡サークル「ひやみかち」	琉球民謡三線	13:00～15:00	視聴覚室	
27	女声コーラス エコー森の川	女声コーラス	第1～3水曜日 19:00～21:00	視聴覚室	63	宜野湾子供将棋サークル		子ども将棋	14:00～17:00	はごろも		
28	童謡サークル ゆりかごの会	童謡	第4・5水曜日 19:00～21:00	視聴覚室	64	ソフィア ダンススポーツ		社交ダンス	19:00～21:00	集会場		
29	ヨーガサークル『チツク』	ヨーガ	19:00～21:00	児童室	65	今心会(こんしんかい)		ヒーリング音楽	19:00～21:00	視聴覚室		
30	はごろも TAI-CHI	太極拳	19:00～21:00	展示室	66	ダンスサークルチェリー		社交ダンス	19:00～21:00	はごろも		
31	木曜日	実年友の会(フォークダンス)	フォークダンス	10:00～12:00	集会場	67		日曜日	沖繩チアリーディングチーム GEMMYZ	チアリーディング	9:00～12:00	集会場
32		和裁サークル	和裁・袋物	10:00～12:00	第2研修室	68			子ども英語サークルWe can	英会話	10:00～12:00	児童室
33		ネクタイサークル	ネクタイ作り	10:00～12:00	第2研修室	69			宜野湾フォーカス	写真	第1日曜日 13:00～15:00	第2研修室
34		親子英語リミック Hop Rabbit	英語リミック	10:00～12:00	児童室	70	三線練習会		三線	17:00～19:00	第2研修室	
35		ムンジュルの会	琉舞	13:00～15:00	集会場	71	ダンススポーツアポロン		社交ダンス	19:00～21:00	はごろも	
36		歌うハビネス	カラオケ	13:00～15:00	視聴覚室							

7. 平成 26 年度中央公民館図書室利用状況

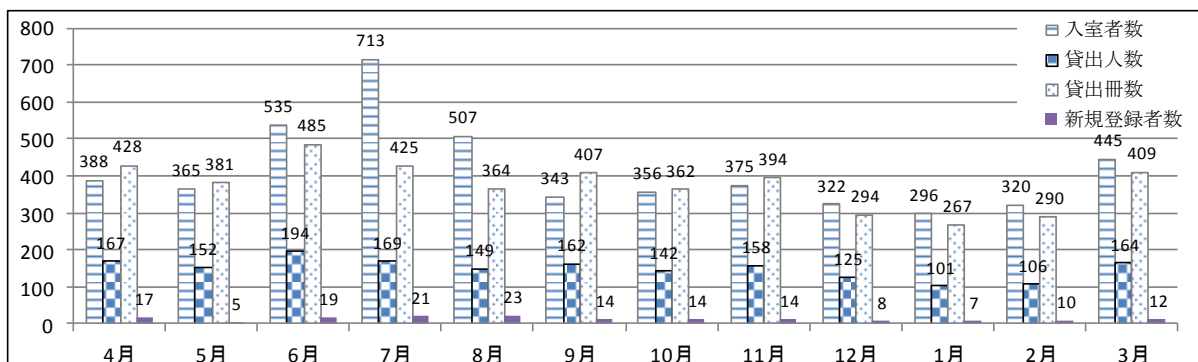
(1) 公民館図書室

公民館図書室は、生涯学習の場として約 40 名収容可能な学習室を設け、図書の貸出しを行っています。現蔵書数は約 14,500 冊あり、一般図書や絵本、紙芝居、雑誌のほか、県内新聞 2 紙も取り扱い一年間保存しております。また、行事の案内や新着図書案内などを掲載した『図書だより』も毎月発行し、市内学習施設や保育園等に配布しております。

(2) 平成 26 年度中央公民館図書室利用状況

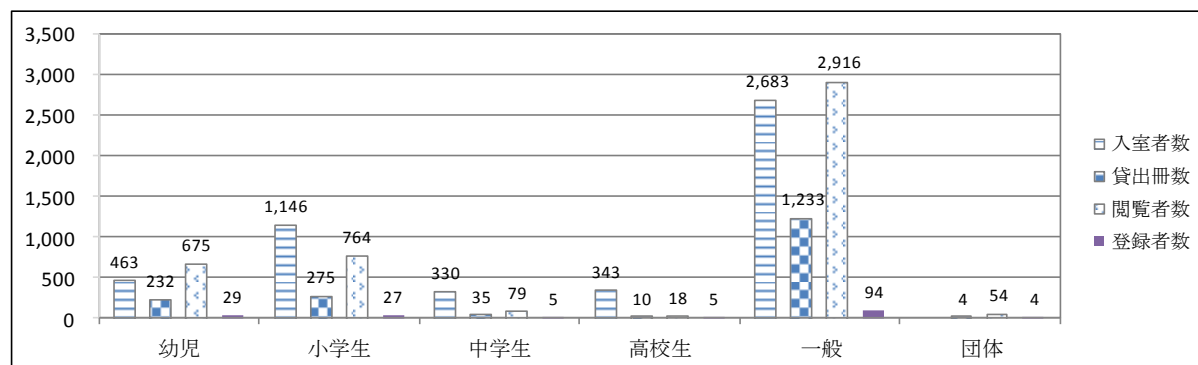
【月別利用状況】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
入室者数	388	365	535	713	507	343	356	375	322	296	320	445	4,965
貸出人数	167	152	194	169	149	162	142	158	125	101	106	164	1,789
貸出冊数	428	381	485	425	364	407	362	394	294	267	290	409	4,506
新規登録者数	17	5	19	21	23	14	14	14	8	7	10	12	164



【対象者別利用状況】

	幼児	小学生	中学生	高校生	一般	団体	合計
入室者数	463	1,146	330	343	2,683	—	4,965
貸出冊数	232	275	35	10	1,233	4	1,789
閲覧者数	675	764	79	18	2,916	54	4,506
登録者数	29	27	5	5	94	4	164



(3) 図書の館外貸出し

対象	冊数	期間
個人	3冊まで	14日以内
団体	50冊以内	30日以内

(4) 図書室の開室時間等

開室曜日	月・水・木・金・土・日
開室時間	9:00～17:00
休室日	火曜日・公休日・慰霊の日・年末年始 第3金曜日(図書整理日)

8. 平成26年度中央公民館利用状況

(1) 施設別利用状況

	集会場		第1研修室		第2研修室		調理実習室		児童室		視聴覚室		展示室		はごろも 学習センター		合計	
	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数
4月	50	1,453	8	147	49	542	7	142	51	563	45	440	54	17	20	194	284	3,498
5月	46	1,760	14	197	57	513	7	142	36	259	35	398	37	14	14	141	246	3,424
6月	49	1,819	23	238	46	457	5	66	37	363	46	503	49	15	10	182	265	3,643
7月	37	2,596	10	130	39	337	4	66	34	285	34	414	41	14	18	167	217	4,009
8月	35	904	14	200	53	666	4	120	35	330	39	424	24	4	18	195	222	2,843
9月	48	1,810	17	254	51	459	4	72	38	360	46	563	21	4	20	220	245	3,742
10月	58	1,093	13	248	50	554	6	78	32	328	64	399	45	5	20	94	288	2,799
11月	47	2,260	19	225	38	297	7	119	25	639	47	457	37	3	15	80	235	4,080
12月	51	2,002	17	248	35	276	7	106	23	309	53	566	29	3	17	184	232	3,694
1月	51	2,248	13	150	37	481	2	86	34	310	57	483	38	4	12	20	244	3,782
2月	45	1,366	10	146	42	342	2	60	30	284	49	446	30	3	10	55	218	2,702
3月	52	603	8	118	31	304	2	14	32	268	53	511	21	3	15	65	214	1,886
合計	569	19,914	166	2,301	528	5,228	57	1,071	407	4,298	568	5,604	426	89	189	1,597	2,910	40,102

(2) 目的別利用状況

	学級・講座		社会教育団体		市主催事業		サークル		一般有料貸出		合計	
	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数
4月	0	0	4	190	16	643	239	2,012	25	653	284	3,498
5月	9	123	4	290	13	681	200	1,640	20	690	246	3,424
6月	12	186	2	300	13	694	220	1,761	18	702	265	3,643
7月	3	26	6	670	11	958	179	1,397	18	958	217	4,009
8月	9	165	1	100	12	423	188	1,732	12	423	222	2,843
9月	12	240	2	200	15	740	201	1,822	15	740	245	3,742
10月	18	156	1	200	10	268	249	1,907	10	268	288	2,799
11月	15	185	3	480	15	878	188	1,659	14	878	235	4,080
12月	13	205	2	600	8	535	201	1,819	8	535	232	3,694
1月	2	8	0	0	12	1,033	217	1,708	13	1,033	244	3,782
2月	0	0	1	200	8	515	201	1,472	8	515	218	2,702
3月	0	0	0	0	5	66	204	1,742	5	78	214	1,886
合計	93	1,294	26	3,230	138	7,434	2,487	20,671	166	7,473	2,910	40,102

※学級講座の館外実施分の人数(183人)は含んでおりません。

市民図書館

1. 基本方針

市民図書館は、知識基盤社会における知識・情報の重要性を踏まえ、市民ニーズや急速な情報化社会へ対応するため各種図書及び資料を収集・整理・保存し、利用者の多様な要求に応じ、読書活動の振興を担う機関として、また、地域の情報拠点の場として寄与することを目的とします。

「知の拠点」としての市民図書館の果たすべき役割は

- (1) 市民に開かれた図書館
- (2) サービスの行き届いた図書館
- (3) やすらぎと花と緑のある図書館
- (4) 市民の文化振興の場としての図書館
- (5) ふれあいのある図書館

を基本方針として、市民が「いつでも・どこでも・だれでも」が平等に読書に親しみ、読書を楽しみ、読書を活かすことができる条件整備を図り、その期待に応えるよう努めてまいります。

2. 目標

- (1) 図書資料の収集、提供等の充実
- (2) レファレンスサービス等の充実
- (3) 利用者に応じた図書館サービスの充実
- (4) 多様な学習機会の提供と充実
- (5) 広報及び情報公開の充実

3. 重点目標

- (1) 図書館開館時間の延長
- (2) 移動図書館の活用と充実
- (3) 学校図書館や他公共機関図書室との連携強化
- (4) 他機関(NPO・他団体等)との連携による講座・講演会の開催
- (5) ボランティアの育成・充実・発展
- (6) 長期滞納者への催促の強化
- (7) 破損本の修復、閉架書庫の資料整理
- (8) 施設内危険個所の除去、老朽化の改善及び敷地内緑化と美化の推進

4. 実施計画

(1) 図書館資料の整備充実

単位:冊(点)

事 項	平成26年度末 蔵書冊数	平成 27 年度 購入予定冊数	総蔵書冊数(予定)※
図書資料(計)	313,629	4,549	318,178
一般図書	191,427	1,972	193,399
児童図書	90,096	2,171	92,267
郷土図書	31,389	406	31,795
絵画	717	0	717
視聴覚資料(計)	15,345	400	15,745
ビデオ	3,007	0	3,007
C D	9,482	160	9,642
カセット	151	0	151
L D	250	0	250
D V D	1,743	230	1,973
録音図書	712	10	722
雑誌	7,304	1,702	9,006
合計	336,278	6,651	342,929

- ※ 保存期間切れ・汚損・破損等による除籍は含まれない。
- ※ 平成 27 年度末人口 96,453 人〔市民課統計を参照〕
- ※ 平成 27 年度末予測人口 97,418 人(前年度末人口の 1%増を想定)

市民一人当たりの蔵書数は、平成 26 年度末で 3.4 冊、総蔵書冊数は 3.5 冊
 ※(蔵書冊数÷人口)

(2) 登録者数と貸出冊数の実績と目標

事 項		平成26年度 実 績	平成27年度 目 標	備 考
登録者数	市 内 (登録率)	24,790 人 25.7 %	28,488 人	目標値は生涯学習推進計画による (年2千人増) 平成26年度末人口 96,453 人
	市 外	1,250 人		
	団 体	58 団体		
	広域利用者	239 人		
	その他	151 人		
	合 計	26,488 人		
貸出冊数	市 内 うち(BM)	294,281 冊 (35,198 冊)	332,696 冊	目標値は教育振興基本計画による 3%増を目標とする その他・・・相互貸借、館内視聴など
	市 外 うち(BM)	9,996 冊 (259 冊)		
	団 体 うち(BM)	4,838 冊 (173 冊)		
	広域利用 うち(BM)	7,650 冊 (0 冊)		
	その他 うち(BM)	6,241 冊 (0 冊)		
	合 計	323,006 冊		
	うち(BM)	(35,630 冊)		
開館日数	本 館 (BM)	269 日 (236 日)	273 日 (238 日)	※ ()は移動図書館の稼働日
一日当 たりの貸出 冊 数	本館 BM	1,068 冊 151	1,219 冊 154	※ 一日あたりの貸出冊数 = 貸出冊数÷開館日数

※ BMは移動図書館の略称

(3) 平成 27 年度行事計画

	一般	一般	児童	児童	郷土	AV
	読書案内	展示	読書案内	展示・行事	企画・行事	CD特集
4月	新生活応援特集	写真カメラの 使い方 本屋大賞特集 船戸与一特集	しきたり マナー	こどもの日 母の日 子ども読書週間	新生活支援特集	出会いと別れの 歌特集
5月		旅行・アウトドア 特集 宜野湾市小学校 採用教科書展		父の日 教科書展 ディズニー作品展		
6月	食育特集	夏のスポーツ特集 虫歯・喫煙・禁煙 に関する展示	水辺の生き物たち	七夕 慰霊の日特集	うちなー観光ガイド 沖縄の祭り 伝承話 沖国米軍機墜落・宮 森小に関連する資 料を特集・展示	スポーツを盛り 上げる音楽 旅行・冒険
7月		芥川賞・直木賞 自由研究特集		課題指定図書		
8月	災害・防災 特集	世界のお祭り	おばけ大集合	夏休み 7月下旬から 8/31まで 自由研究 工作の本	うちなーぐちの 特集 歴史ロマン (遺跡・人物)	スポーツを盛り 上げる音楽 旅行・冒険
9月				貸出0回の本特集		
10月	就活応援 特集	ノーベル賞特集 感染症予防特集 おとなの絵本特集	工作特集	ハロウィン おもしろ絵本展	スポーツ&健康 特集	歴史 クリスマス
11月				勤労感謝の日		
12月	ハンディー キャップを のりこえて 障がい? とは(障が い者特集)	クリスマス・ 新年特集	こころの本特集	クリスマス	スポーツ&健康 特集	歴史 クリスマス
1月		芥川賞・直木賞		お正月・日本の 行事 節分 かわいい絵本 特集		
2月	異国に 触れよう! 世界で 活躍する 女性たち	バレンタイン・ お菓子特集	おくりもの特集	ひなまつり 防災の日	記念日特集	
3月		ガーデニング特集				

5. 平成 26 年度宜野湾市子育て支援ブックスタート事業

(1) 事業概要

事業名:宜野湾市子育て支援ブックスタート事業

事業目的:絵本を介して、親子のコミュニケーションや絆を深めることを目的とします。

- ① 保護者がゆとりを持ち、安心して子育てのできる環境づくりと、赤ちゃんが健やかに育つことを支援します。
- ② 絵本を手渡すことによって読書への動機づけを図り、赤ちゃんと保護者が生涯学習の素地を創出する機会とします。
- ③ 親子の健やかな成長を願い、市保健相談センター、子育て支援センター、市民団体などの協力を得て、子育て支援に関する様々な情報と機会を提供します。

(2) 平成 26 年度実施状況

回目	実施日	対象者数	受診者数	ブックスタート参加者数	ブックスタートスタッフ数
67	4月6日	124人	107人	103人	10人
68	5月11日	63人	71人	70人	8人
69	6月15日	118人	110人	107人	9人
70	7月13日	128人	112人	111人	9人
71	8月17日	114人	88人	88人	9人
72	9月21日	79人	79人	78人	7人
73	10月12日	121人	95人	92人	9人
74	11月16日	80人	115人	113人	9人
75	12月7日	80人	62人	62人	8人
76	1月18日	123人	104人	101人	8人
77	2月15日	95人	90人	88人	6人
78	3月8日	80人	86人	86人	9人
合計		1,205人	1,119人	1,099人	

- ・ボランティア登録人数 22 人
- ・ブックスタート参加率 約 98.2%
(ブックスタート参加者／受診人数)

(3) ブックスタートスタッフ研修会

日時:平成 26 年 10 月 5 日(日)

場所:市民図書館 カルチャーホール

講師:平田恵美子(沖縄県子どもの本研究会顧問)

内容:「読み聞かせ講習と小物作り」



6.ちゅらゆめ号ステーション案内

(1) 平成 27 年度ちゅらゆめ号スケジュール

移動図書館

ちゅらゆめ号が
くる日です!

- ◆ 台風や津波などの災害や大雨など悪天候の日、また車両に故障が生じた場合などはお休みすることがあります
- ◆ 9月17日(木)～10月1日(木)は蔵書点検のため休館ですがちゅらゆめ号は蔵書点検最終日10月1日(木)は巡回です

2015年4月～2016年3月

★のステーションは今年度から変更がありますのでご注意ください。

コース	曜日	ステーション	時間	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
A	水	★宜野湾小学校	13:15～14:00	8 ※22	20	3 17	1 15 ◇29	夏休み 巡回なし	※9	7 21	4 18	2 ※16	13 27	10 24	9 23
		★愛知県公民館(旧:十九区公民館)	14:20～15:00					12 26							
		★長田公民館	15:40～16:20												
B	木	普天間第二小学校	13:30～14:20	2 16 30	14 28	11 25	9 ◇23	夏休み 巡回なし	※3	1 15 29	12 26	10 24	7 21	4 18	3 17 31
		★福寿園	14:50～15:30					6 20							
C	金	黄金宮(クガニナー)	10:30～11:10	3 17	1 15 29	12 26	10 ◇24	7 21	※4	2 16 30	13 27	11 25	8 22	5 19	4 18
		大謝名小学校	13:30～14:10					夏休み 巡回なし							
D	土	大山小学校(土)	10:00～10:40	11 25	9 23	6 20	4 18	1 15 29	※12	10 24	7 21	5 ※19	16 30	13 27	12 26
		海邦銀行普天間支店	14:00～14:40												
		★普天間第二学校給食センター	15:10～15:50												
E	日	野嵩霊園駐車場	10:00～11:00	5 ※19	17 31	14 28	12 26	9 23	※6	4 18	1 15 29	13 27	10 24	7 21	※6
		サンフティーマ(普天間りょうぼう)	14:00～14:40												
		新城公民館	15:10～15:50												
F	水	真志喜公民館	14:00～14:40	1 ※15	13 27	※10	8 22	5 19	2 ※16	14 28	11 25	9 23	6 20	3 17	2 16 30
		宜野湾市立グラウンド	15:10～15:50												
G	木	大山小学校(木)	13:20～14:00	9 23	7 21	4 18	2 16	夏休み 巡回なし	10	8 22	5 19	3 17	14 28	25	10 24
H	金	★はごろも小学校	13:30～14:10	10 24	8 22	5 19	3 17 ◇31	夏休み 巡回なし	※11	9 23	6 20	4 ※18	15 29	12 26	11 25
		宜野湾公民館	15:50～16:30					14 28							
I	土	大山公民館	10:00～10:40	4 18	2 16 30	13 27	11 25	8 22	※5	3 17 31	14 28	12 26	9 23	6 20	5 19
		ユニオン宇地泊店	14:00～14:40												
		嘉数公民館	15:10～15:50												
J	日	駐留軍健康福祉センター(伊佐)	14:00～14:40	12 26	10 24	7 21	5 19	2 16 30	※13	11 25	8 22	6 ※20	17 31	14 28	13 27
		普天間カトリック教会	15:20～16:00												

※の日は次の巡回日まで日が開くため貸出冊数を増(本5→10冊)にして対応します。

◇夏休み期間中、平日の小学校は巡回はありません。

◇宜野湾公民館は8月から巡回はありません。

(2) 平成 27 年度 ちゅらゆめ号ステーションマップ



- 1 長田区公民館
- 2 宜野湾区公民館
- 3 宜野湾小学校
- 4 愛知区公民館
- 5 福寿園
- 6 海邦銀行普天間支店
- 7 野嵩霊園駐車場
- 8 普天間カトリック教会
- 9 サンフティーマ(普天間うらぼう)
- 10 普天間第二小学校
- 11 新城区公民館
- 12 普天間第二学校給食センター
- 13 駐留軍健康福祉センター
- 14 大山小学校
- 15 大山区公民館
- 16 真志喜区公民館
- 17 宜野湾市立グラウンド
- 18 ユニオン宇地泊店
- 19 大謝名小学校
- 20 黄金宮(クガニナー)
- 21 嘉数区公民館
- 22 はごろも小学校

(3) 平成 26 年度 ちゅらゆめ号利用状況

単位:回・人・点

ステーション名	巡回回数	利用者数	貸出冊数			
			図書	雑誌	視聴覚	計
1 宜野湾小学校	22	939	3,233	11	0	3,244
2 愛知区公民館	22	246	905	41	41	987
3 長田区公民館	22	254	854	126	46	1,026
4 普天間第二小学校	25	893	3,261	12	1	3,274
5 上大謝名区公民館	25	135	443	142	56	641
6 大謝名小学校	25	456	1,424	46	12	1,482
7 大山小学校(土)	24	422	1,483	323	63	1,869
8 海邦銀行普天間支店	24	301	1,030	110	62	1,202
9 普天間第二学校給食センター	24	240	951	141	54	1,146
10 野嵩霊園駐車場	24	625	2,157	414	216	2,787
11 サンフティーマ(普天間うらぼう)	24	211	669	90	63	822
12 新城区公民館	24	248	954	149	71	1,174
13 真志喜区公民館	22	230	720	201	49	970
14 宜野湾市立グラウンド	22	399	1,294	274	74	1,642
15 大山小学校(木)	25	586	2,053	23	1	2,077
16 福寿園	23	190	338	76	327	741
17 宜野湾区公民館	23	117	415	77	13	505
18 大山区公民館	23	516	1,679	221	78	1,978
19 ユニオン宇地泊店	23	531	1,814	224	145	2,183
20 嘉数区公民館	23	184	712	101	39	852
21 沖縄県産業廃棄物協会	23	65	253	34	19	306
22 駐留軍健康福祉センター(伊佐)	23	522	1,889	268	122	2,279
23 普天間カトリック教会	23	134	536	28	62	626
はごろも小学校	10	469	1,600	20	4	1,624
その他(BMカウンター)	0	99	167	7	19	193
総合計	548	9,012	30,834	3,159	1,637	35,630

※数字は、移動統計年報より出力。

※その他(BMカウンター)は、利用統計年報⇒館合計⇒館内の数字をとる

※巡回回数は実稼働日を数えています。システムからの出力の数字ではありません。

文化事業

1. 基本方針

(1) 文化財の保護・活用

本市には豊かな自然と歴史に育まれた数多くの有形無形の文化財があります。それらの文化財は永く私たち市民の祖先が生成発展させてきた薫り高い市民環境の一つであり、地域の歴史と文化を知る大切な市民共有の財産でもあります。

去る沖縄戦において、多くの人命とともに数多くの自然・歴史・文化的財産を失った私達にとってその価値はより高いものといえますし、児童・生徒にとっては“人としての知恵と工夫”を教える生きた教材でもあります。しかし、沖縄戦と戦後の基地造成および都市化の影響で旧村落に関わる文化財は減少する一方であり、宜野湾特有の伝統的知識と技術を記憶に残す古老の方々も確実に数が少なくなっており、それらの記録保存と継承・活用が危ぶまれています。

そこで、『文化財の保護・活用』については、市民の参画と協働によって、地域の歴史と文化を明らかにするとともに、市内各地域はもとより基地返還予定地の“まちづくり”に活かされることを基本方針として下記の施策に基づいた事業を推進します。

- ① 市民の参画と協働による文化財の保護・活用の推進
- ② 地域の歴史と文化を明らかにする埋蔵文化財の保護・活用の推進
- ③ 基地返還予定地の“まちづくり”に活かされる文化財の保護・活用の推進

(2) 市史の編集

琉球王国時代の 1671 年、本市の母体となる宜野湾間切が誕生しました(間切りとは、現在の市町村の行政区画に相当)。当時の宜野湾村は田園風景が続く純農村地帯で、宜野湾街道と呼ばれる松並木が普天満宮から浦添まで続いていました。琉球王国が滅び、琉球藩を経て沖縄県となった 1879 年(明治 12 年)以降には、沖縄県庁の支庁や教育事務所などの官公署が置かれ、本島中部の政治・経済・教育の中心地として賑わっていました。

しかし去る沖縄戦において本市域も壊滅的な戦災を被り、当時の人口の約 27%にあたる 3,700 人余の犠牲者を出し、多くの歴史的・文化的・社会的財産を失いました。終戦後に人々が県内各地の収容所から帰ってみると、ふるさとの地のほとんどは米軍基地に接収されており、戦争前の家と村に帰ることを願いつつも基地の周りに住まざるをえませんでした。1972 年(昭和 47)に沖縄が日本に復帰する 10 年前の 1962 年(昭和 37)には市制が施行され、新生「宜野湾市」が誕生しました。

『市史の編集』については、このような市民の歩みを「市史」として編集・刊行するとともに、市の行政文書や自然・歴史・文化関係資料の収集と保存を進め、それらの資料の市民活用に向けて下記の施策に基づいた事業を推進します。

- ① 宜野湾市の自然・歴史・文化を学ぶ「市史」の編集[市史編集事業]
- ② 宜野湾市の最新情報を知る「宜野湾関係資料」の収集と保存
- ③ 市民の自発的な地域学習を支える「市史」の普及・活用

2. 文化財の保護・活用

(1) 平成 27 年度事業計画

① 市民の参画と協働による文化財の保護・活用の推進

○ 文化財詳細分布調査の推進

「戦前来の旧村落に関わる文化財(民家、湧泉、拝所等)」の詳細分布調査や、「宜野湾特有の伝統的知識と技術(生業、年中行事、地名等)」を記憶に残す古老の聴き取り調査などを推進し、その記録保存と保護・活用に努めます。

○ 市指定および登録文化財の新規指定・登録の推進

市にとって重要な文化財について、その保護・活用のために必要な措置を講じ、もって市民の文化的向上に資するとともに、市の文化の進歩に貢献するために、市内に所在する文化財を市指定および登録文化財に新規指定・登録を行います。

○ 文化財説明板・標識設置事業

市内に所在する市指定・登録文化財について、当該指定文化財が所在する地域でその保護・活用を図るために、市民や児童・生徒に分かりやすい「文化財標識と説明板」を設置します。

○ 国指定文化財管理事業

国指定重要文化財の建造物である「喜友名泉」の適正な環境を維持するために、喜友名区自治会と協力して、指定地内の草木の伐採などを実施します。

○ 文化財保存整備事業

市内に所在する指定文化財の建造物は、石積みの崩落や緩みが確認されており、今後の市民活用が懸念されています。そこで、本年度は石積が崩落した市指定史跡「大謝名メヌカー」の保存整備の実施設計等を作成します。

○ 無形文化財育成事業

市内の代表的な伝統文化である無形民俗文化財の保存継承に向けて我如古スンサーミー・大山の綱引き・真志喜の綱引き・野嵩ちなひちもうい・大謝名の獅子舞・普天間の獅子舞の6保持団体に育成補助金を交付する予定です。

○ 文化財愛護活動推進事業

市民共有の財産である文化財の保護・活用に向けて、市民の参画と協働による広域的なネットワークづくりを進めるために、第2回イガルー・シマ文化財ガイド養成講座を開催して、市認定の文化財ガイドを育成し、市民の文化財保護活動を支援します。

② 地域の歴史と文化を明らかにする埋蔵文化財の保護・活用の推進

○ 埋蔵文化財の保護調整と試掘・確認調査および緊急発掘調査の実施

【埋蔵文化財の保護調整】

市内外の個人や民間機関等が計画する個人住宅建設、共同住宅建設、不動産鑑定評価等に際して提出される「埋蔵文化財の有無」の照会は、速やかに関係者と調整します。また各種公共機関や在沖米軍が計画する開発工事も、同様な取り扱いをします。

【基地内遺跡ほか発掘調査事業(市内遺跡発掘調査)】

市内に所在する埋蔵文化財の詳細な分布状況を把握するとともに、埋蔵文化財に係る個人住宅建設や各種の公共および在沖米軍等の開発工事に際しては、事前に埋蔵文化財の試掘・確認調査と緊急発掘調査を実施します。

【埋蔵文化財緊急発掘調査事業】

沖縄防衛局が計画するキャンプ瑞慶覧内の海軍病院建設工事に伴い、当該地域に所在する埋蔵文化財の緊急発掘調査と出土品等の資料整理を工事原因者の経費負担により行います。沖縄防衛局が計画する普天間飛行場内の巡回道路移設工事に伴い、当該地域に所在する埋蔵文化財の緊急発掘調査を、工事原因者の経費負担により行います。

③ 基地返還予定地の“まちづくり”に活かされる文化財の保護・活用の推進

○ 基地内遺跡ほか発掘調査事業(基地内遺跡発掘事前総合調査)

大規模な開発工事が予定される普天間飛行場基地内および西普天間住宅地区(キャンプ瑞慶覧)の埋蔵文化財の保護・活用に向けて、詳細分布調査と遺跡の所在や範囲および性格を明らかにするための試掘・確認調査を実施します。

(2)平成 26 年度事業実績

① 市民の参画と協働による文化財の保護・活用の推進

○ 文化財詳細分布調査の推進

「戦前来の旧村落に関わる文化財」の分布調査や「宜野湾特有の伝統的知識と技術」を記憶に残す古老の聴き取り調査を推進し、その記録保存と保護・活用に努めました。

○ 市指定および登録文化財の新規指定・登録の推進

市内に所在する重要な文化財の保護・活用と市民による文化財を活かした地域づくりを推進するために市指定・登録文化財を推進しました。平成 26 年度は「字宜野湾の年中祭祀」を市登録無形民俗文化財に登録しました。

○ 文化財説明板・標識設置事業

「神山・愛知ヌールガー」の文化財説明板と「小禄墓」への文化財案内標識、嘉数区自治会に「地域文化財説明版(ふるさと案内板)」を設置しました。

○ 国指定文化財管理事業

国指定有形文化財の建造物である「喜友名泉」の適正な環境を維持するために、喜友名区自治会に業務委託を行い、指定地内の草木の伐採などを実施しました。

○ 文化財保存整備事業

保存整備に向けて市指定史跡「野嵩クシヌカー」基本計画と「本部御殿墓」の測量を実施しました。

○ 無形文化財育成事業

我如古スンサーミー・大山の綱引き・真志喜の綱引き・野嵩ちなひちもうい・大謝名の獅子舞・普天間の獅子舞・野嵩村あしびの7保持団体に育成補助金を交付し、市内の代表的な伝統文化である無形民俗文化財の保存継承に努めました。

○ 文化財愛護活動推進事業

嘉数区自治会において第 15 回イガルー・シマ文化財教室を 7 月～2 月の間は計 8 回開催し、受講者が延べ 309 名、修了者が 39 名、皆出席者が 9 名で好評のうちに終了しました。また、第

20回市民文化財巡り「沖縄の自然とヒト」では、参加者23名が市内外にて様々な自然とそれに関わってきた文化や産業などを見学し、第7回察度の日文化財巡りでは、参加者34名が市内の察度王ゆかりの地を見学することで参加者の文化財に対する興味・関心を深めました。

② 地域の歴史と文化を明らかにする埋蔵文化財の保護・活用の推進

○ 埋蔵文化財の保護調整と試掘・確認調査および緊急発掘調査の実施

【埋蔵文化財の保護調整】

市内外の個人や民間機関等が計画する個人住宅建設、共同住宅建設、店舗建設、宅地分譲、不動産鑑定評価等に際して提出された「埋蔵文化財の有無」の照会は、211件でした。その内訳は、個人住宅建設が87件、共同住宅建設が49件、個人兼共同住宅・店舗建設等が31件、宅地分譲2件、不動産鑑定評価が19件、その他が23件などでした。

【基地内遺跡ほか発掘調査事業(市内遺跡発掘調査)】

個人住宅及び共同住宅建設に係る6件の試掘・範囲確認調査を実施し、そのうち大山前門原第三遺跡(オオヤマメーゾウバルダイサンイセキ)の範囲確認調査ではグスク時代～近世相当の柱跡や溝、土坑などの遺構が検出され、同遺跡の包蔵地の範囲が南側へ広がることを確認しました。

【埋蔵文化財緊急発掘調査事業】

沖縄防衛局が計画するキャンプ瑞慶覧基地内の海軍病院建設工事に伴う普天間後原第二遺跡・普天間古集落の緊急発掘調査を工事原因者の経費負担により実施しました。
普天間飛行場基地内において、沖縄防衛局が計画する巡回道路移設工事に先立って、移設予定地での試掘調査を実施し、埋蔵文化財が確認された宜野湾古集落などにおいては一部で緊急発掘調査を工事原因者の費用負担により実施しました。

○ 文化財市民活用事業

市立博物館や市民図書館にて企画展「キャンプ瑞慶覧の遺跡発掘調査」を開催し、発掘調査成果や模型や3D映像などの展示会を開催し、延べ1038名が見学に訪れました。

③ 基地返還予定地の“まちづくり”に活かされる文化財の保護・活用の推進

○ 基地内遺跡ほか発掘調査事業(基地内遺跡発掘事前総合調査)

西普天間住宅地区(キャンプ瑞慶覧)での試掘及び分布調査では、ハウジングエリアで63箇所、斜面緑地(喜友名区)で7箇所の試掘調査を実施し、9か所の地点でグスク時代から近代頃に相当する埋蔵文化財を確認しました。

また、同地区の詳細分布調査によって、安仁屋イシジャーに分布している古墓を約70基確認しました。斜面緑地(新城区)の分布調査では旧屋敷跡と思われる石垣や石切場跡等を確認し、新城郷友会とともに現地視察を行いました。

○ 埋蔵文化財発掘調査支援検討調査事業

普天間飛行場基地の跡地利用計画の促進及び円滑化等に向けて、埋蔵文化財の試掘・確認調査等の成果を踏まえ、普天間飛行場に所在する『遺跡(埋蔵文化財)以外の文化財』も統一的に見据えた「重要遺跡保存整備基本構想」を作成しました。

○ キャンプ瑞慶覧文化財保護マスタープラン策定調査事業

平成27年3月31日付けで返還されたキャンプ瑞慶覧住宅地区(西普天間住宅地区)の跡地利用の促進及び円滑化等に向けて、歴史・文化遺産の詳細な分布状況と内容を把握し、重要文化財の評価・選別を行い、跡地利用に係る基本計画と整合性を図り、重要文化財の保存整備マスタープランを作成することにより文化財の保存・活用を図りました。

(3) 国・県・市指定文化財と埋蔵文化財

国・県・市では文化財保護法や条例・規則などを定めて、地域に残された文化財のうち国・県・市にとって重要な文化財を所有者等の同意と学識経験者の検討を踏まえて指定・登録し、その保護・活用に努めています。市内で指定・登録された文化財は、国指定文化財が2件、県指定文化財が3件、市指定文化財が20件、市登録文化財が2件を数えます。

埋蔵文化財は土地に埋蔵されている有形の文化財のことをさし、埋蔵文化財を包蔵する土地が埋蔵文化財包蔵地(遺跡)です。埋蔵文化財はほかの種別の文化財と異なり、その性格・内容などが不明なために、すべての埋蔵文化財包蔵地が文化財保護法の対象となります。現在市内には331箇所の埋蔵文化財包蔵地が確認されています。

従って、国・県・市の関係法令などにより、市域の文化財に保護・活用の規制が加えられたものは、上記の指定・登録文化財27件と埋蔵文化財包蔵地331箇所を加えた358件が相当します。

国指定文化財

指 定 名 称	所 在 等	内 容
ちゅんなーがー ①喜友名泉 (有形文化財[建造物]) 平成4年8月10日指定	喜友名:県道81号線沿いの喜友名バス停の北側斜面にある喜友名区の村泉(ムラガー)。	・沖縄県を代表する石造井泉である。イナグ(女)ガーとも呼ぶカーグラーは明治22年(西暦1889)建造と推定され、イキガ(男)ガーのウフガーは巨石造りである。
おおやまかいづか ②大山貝塚 (史跡) 昭和47年5月15日指定	大 山:国道58号線沿いのジミーベーカー裏手の美底森と呼ぶ山林にある遺跡。	・昭和33年(西暦1958)に賀川光夫氏と多和田真淳氏により、沖縄県で初めて考古学的手法で発掘調査された縄文時代相当の遺跡である。

県指定文化財

指 定 名 称	所 在 等	内 容
おろくばか ③小祿墓 (有形文化財[建造物]) 昭和33年1月17日指定	嘉 数:戦跡として知られる嘉数高台の北側、比屋良川沿いの断崖にある古墓。	・断崖の中腹を掘り込んで、正面を石積みでふさいだ古式の墓である。葬儀の際には、正面中央の石積みを取り外し、棺おけを入れた御輿(みこし)ごと入れる。
おろくばか ないいしずし ④小祿墓内石厨子 (有形文化財[彫刻]) 昭和33年1月17日指定	嘉 数:小祿墓内に納められている中国産の石材(閃緑岩)の大型蔵骨器。火炎宝珠の竜棟、童子などを彫刻。	・蔵骨器の正面中央には、『弘治七年おろく大やくもい六月吉日』の銘文がある。中国年の弘治七年(西暦1494)と記する沖縄最古級の平仮名文字である。
もりのかわ ⑤森の川 (名勝) 昭和42年4月11日指定 平成12年5月19日追加指定	真志喜:森川公園内に所在する真志喜区の村泉(ムラガー)。村の聖地であるウガンヌカタ拝所も指定地内に所在。	・中国年の雍正3年(西暦1725)に建造された琉球王国時代の石造井泉である。琉球王国の繁栄の基礎を築いた察度王の生誕にまつわる羽衣伝説で知られる。

市指定文化財

指 定 名 称	所 在 等	内 容
おろくばか せきちょう こうろ ⑥小禄墓石彫香炉 (有形文化財[彫刻]) 平成3年8月1日指定	嘉 数:小禄墓の墓庭にある 中国産の石材(閃緑岩)で造ら れた香炉。	・香炉の四面に火炎宝珠(又 は太陽)や麒麟・花生け、四隅 に獅子が浮き彫りされている。 中国年の嘉慶11年(西暦 1806)に馮姓の士族が寄進す る。
おろくばか せきちょう じし ⑦小禄墓石彫獅子 (有形文化財[彫刻]) 平成3年8月1日指定	嘉 数:小禄墓の墓庭にある 一対の凝灰岩製の石彫獅子。	・未指定の凝灰岩製の香炉の 両脇に置かれた墓守りの石彫 獅子である。獅子は、立ち上 がった形であるが、磨滅が著し く、元の姿が分かりづらい。
ましき さきまけ もんじょ ⑧真志喜佐喜真家文書 (有形文化財[古文書]) 平成3年8月1日指定	真志喜:琉球王国時代の「真 志喜のろ(謝名のろ)」の生家 である奥間家(屋号)に伝わる 古文書。	・琉球王国時代に、宜野湾西 海岸一帯の村々の祭祀を司つ た地方女神官である「真志喜 のろ(謝名のろ)」の跡継ぎ文 書で、当時の村人の祖霊観や 一門などを記する。
めいじ とちだいちょう ふぞくちず ⑨明治土地台帳附属地図 (有形文化財[歴史資料]) 平成3年8月1日指定	野 嵩:市役所保管の村図(大 字図)10葉と宇地泊区自治会 保管の字図(小字図)3葉。	・明治政府による土地改正に 伴う土地台帳の附属地図とし て明治30年代に作成され た。当時の土地利用や区画の 様子が詳しくわかる歴史資料 である。
がねこ ひーじゃーがー ⑩我如古ヒージャーガー (有形民俗文化財) 昭和51年4月2日指定	我如古:我如古区公民館の後 方を流れる志真志川沿いの崖 下にある区の村泉(ムラガ ー)。	・我如古区の重要な聖地で、 岩盤を削って平石をはめ込ん だ15段の石段、泉を取り囲む 積み石など、明治25年(西暦 1892)頃の石造建築が壮観で ある。
きゅうな の いしじし ぐん ⑪喜友名の石獅子群 (有形民俗文化財) 平成元年3月31日指定 同25年3月27日追加指定	喜友名:喜友名区の旧集落の まわりを取り囲む石獅子群。指 定された石獅子は七体。	・村獅子としては沖縄最多の 七体の石獅子で、他にヒージ ャーグーファーやウフブターと 呼ぶ石体があり、石獅子とあわ せて邪悪なものから村を守る。
ふてんま の ししまい ⑫普天間の獅子舞 (無形民俗文化財) 平成元年3月31日指定	普天間:旧暦の7月13・15日 と8月15日に開催。	・獅子舞の所作は、頭を左右 後方の順に曲げ、尻を掻き、 ハエ取りのまねやマリとたわむ れるなど、細かい芸や演劇的 な動作により構成される。
おおじゃな の ししまい ⑬大謝名の獅子舞 (無形民俗文化財) 平成元年3月31日指定	大謝名:戦前は旧暦7月15 日と8月15・16日の三回開 催され、現在は8月15日の みに開催。	・獅子舞の所作は、四方に二 回、中央で三回かみつく動作 でもって吠える素朴で勇壮な 踊りが特徴である。昭和51年 (西暦1976)に33年ぶりに復 活した。

市指定文化財

指 定 名 称	所 在 等	内 容
がねこすんサーミー ⑭我如古スンサーミー (無形民俗文化財) 平成7年12月27日指定	我如古:戦前は我如古平松の下で旧暦3月3日に行われていたが、現在は我如古区公民館でその後日に開催。	・女性が演じるスンサーミー、スーラキ節、今帰仁節の三曲の唄と、それに対応する踊りが指定されている。スンサーミーだけは、四つ竹を打ちながら踊る。
のだけいしだたみみち ⑮野嵩石畳道 (史 跡) 平成元年3月31日指定	野 嵩:普天間二区から中城村登又区に抜ける県道29号線の左手斜面の石畳道。	・琉球王国時代の旧中城間切と旧勝連・具志川間切に至る公道(宿道)である。護佐丸・阿麻和利の乱に由来してスティバナビラ(袖離坂)と呼ばれる。
のだけくしぬかー ⑯野嵩クシヌカー (史 跡) 平成元年3月31日指定	野 嵩:沖縄銀行普天間支店前の十字路を中城村向けに約300m進み、野嵩一丁目のバス停近くに所在。	・野嵩区の村泉(ムラガー)で、市内でも高い所(標高81m)にある泉の一つである。泉の壁面を布積みとあいかた積みで階段状に仕上げる。
いさたけとうばるめいのしるべどて ⑰伊佐「たけたう原」銘の印部土手 (史 跡) 平成3年8月1日指定	喜友名:伊佐交差点の山手側、普天間飛行場基地近くの佐渡山音楽教室の裏手に所在。	・琉球王国が独自で実施した元文検地(約250年前)の土地測量の際に設置された図根点である。直径約1m程の土手に原名と記号が彫られた標石が建つ。
いさはましんぞうさあてんばしひ ⑱伊佐浜「新造佐阿天橋碑」 (史 跡) 平成元年3月31日指定	伊 佐:伊佐市営住宅の東側に延びる旧護岸のそばに立つ「伊佐浜の碑」と呼ばれる石碑。	・琉球王国時代の「中頭方西海道」の公道整備の時に、北谷町北前区にあった佐阿天橋の新造を記念して嘉慶25年(西暦1820)に建立された。
おおやまうたきひ ⑲大山御嶽碑 (史 跡) 平成元年3月31日指定	大 山:国道58号線沿いのジミーベーカー後方の伊波家(屋号)の聖地であるウガングワに立つ石碑。	・大山区の旧家の一つ伊波一門の由来と祭祀について記され、中国年の乾隆26年(西暦1761)に当時の宜野湾間切の上級役人層等によって建立された。
にしもりひき ⑳西森碑記 (史 跡) 平成3年8月1日指定	真志喜:県指定「森の川」のウガンヌカタにある石門の裏手に立つ石碑。	・琉球王国時代の尚清王ゆかりの伊江家が、先祖の徳をしのび、石門と泉の石積み工事の完成を記念して、雍正3年(西暦1725)に建立された。
おおじゃなめーぬかー ㉑大謝名メーヌカー (史 跡) 平成3年8月1日指定	大謝名:大謝名区の村泉(ムラガー)で、港田(ナトゥダ)と呼ぶかつての入江で、大謝名小学校の裏門側に所在。	・地下水の湧き出る洞穴に三本の樋(水口)を架け、布積みとあいかた積みの切石でふさいだ泉である。泉に降りる25段の石畳道も指定されている。

市指定文化財

指 定 名 称	所 在 等	内 容
<p>おおやまやーがまどうけつ いせき ② 大山マヤーガマ洞穴遺跡 (史 跡) 平成 11 年 2 月 23 日指定</p>	<p>大 山: 普天間飛行場基地の 大山ゲートの近く、大山区の 醴泉之塔の北隣に所在。</p>	<p>・洞穴内には、縄文・平安・江 戸時代に相当する生活用具 や遺骨・蔵骨器が出土する。 市域の墓造りの移り変わりや葬 り方を知る重要な遺跡である。</p>
<p>ふてんまぐう どうけつ ③ 普天満宮洞穴 (名 勝) 平成 3 年 8 月 1 日指定</p>	<p>普天間: 旧琉球八社の一つ、 普天満宮の境内にある洞穴 で、洞内には拝所の奥宮が所 在。</p>	<p>・全長 280mを測る洞穴で、つ らら石や石柱などの鍾乳石が 発達している。入口付近には 数万年前のシカの化石や縄文 時代相当の遺物などが出土す る。</p>
<p>おおじゃなめーぬかーたんす いこうそう ④ 大謝名メーヌカー淡水紅藻 (天然記念物) 平成 3 年 8 月 1 日指定</p>	<p>大謝名: 上記する大謝名メー ヌカーの樋(水口)と湧き水の 落ちる底石に生育。</p>	<p>・海場の海藻と考えられるタニ コケモドキ、小川や川口に生 えるオオイシソウが生息する。 沖縄の地勢の成り立ちを知る 生きた化石である。</p>
<p>⑤ ウデナガサワダムシ (天然記念物) 昭和 51 年 5 月 29 日指定</p>	<p>市全域: 上記する「森の川」後 方のマヤーアブと野嵩一区に あったターバルガマと呼ばれ る洞穴に生息。</p>	<p>・洞穴の環境にうまく適応した 体長 5～6 mm程の小さな虫 で、クモやサソリの仲間であ る。沖縄の島々の生い立ちを 知るうえで重要である。</p>

市登録文化財

登 録 名 称	所 在 等	内 容
<p>⑥ 神山・愛知ヌールガー (有形民俗文化財) 平成 25 年 3 月 28 日登録</p>	<p>愛 知: 普天間飛行場基地の 近く、あいのもり保育園の裏手 側斜面に所在。</p>	<p>・ノロに関する湧泉であると伝 えられ、戦前まで、神山集落の 旧家が崇拝していたが、戦後 より字神山郷友会が崇拝し、 字愛知では、産井として崇拝 されている。</p>
<p>⑦ 字宜野湾の年中祭祀 (無形民俗文化財) 平成 26 年 8 月 15 日登録</p>	<p>宜野湾: 旧暦 2 月 2 日に土帝 君例祭、旧暦 6 月 25 日にカ ーサレー拝み、旧暦 8 月 10 日にシマクサランが行われる。</p>	<p>・戦前来、字宜野湾が行って いた祭祀の一部(土帝君の例 祭・カーサレー拝み・シマクサ ラン)で、集落が普天間飛行 場に接収されたのちも、現在 住んでいる地で行っている祭 祀である。</p>

3. 市史の編集

(1) 市史編集の基本的な考え方

市史の編集は、1979年(昭和54)に市史編集委員会が再スタートして以来、市史16冊、市報(村)縮刷版4冊、報告書7冊、CD・DVD各1枚の計27冊2枚を刊行してきました。これらの刊行にあたっては、次の市史編集の考え方と方法に基づいています。

① 編集の考え方

- みなさんの市史
- 市民が作る市史
- 広い視野に立つ市史
- 資料の収集の上に立つ市史
- 市民生活を記録する市史
- 近現代を重視した市史

② 編集の方法

市史は、大別して本編と解説編(普及版)および別冊により構成され、さらに本編は通史編・資料編・追録編に分かれます。編集に際しては、学識経験者と学校教育および社会教育の関係者等から構成される「市史編集委員会」による調査・審議を行います。

- 本編は、市の自然・歴史・文化等を、市民の「市史」という観点から編集しています。
- ・通史編は、刊行された資料編の成果に基づき、平易な記述によってまとめています。
- ・資料編は、市の歴史・文化・社会を詳しく知るための多様な資料を網羅しています。
- ・追録編は、当該資料編の刊行後に、新しい資料や知見があった際に刊行しています。
- ・別冊は、本編に付随する刊行物で、本編を補完するためにまとめています。
- 解説編は、刊行された通史編と資料編の「市民への普及・活用」を目的として、写真や地図またはイラスト等を多用して、読みやすくまとめています。

(2) 平成27年度事業計画

*27年度の機構改革により、文化課市史編集係は、市立博物館学芸係と統合し、学芸係内で事業を実施します。

①	宜野湾市の自然・歴史・文化を学ぶ「市史」の編集
①-1	市史編集事業
1	『宜野湾市史』第8巻戦後資料編Ⅱ「伊佐浜の土地闘争」(資料編)の28年度刊行に向けて、戦後資料編専門委員会を開催し、編集作業を進めます。
②	宜野湾市の最新情報を知る「宜野湾関係資料」の収集と保存
②-1	市行政文書の収集と保存
1	歴史公文書等整理活用事業において、戦後初期行政文書を中心とした整理を行います。
2	保存年限を経過して廃棄を決定された市行政文書は、歴史資料として保存する必要がある文書は引き取り、その整理・登録・保存を行います。
②-2	市内民俗調査の記録・調査
1	サングワチャー(三月遊び)の記録として、市内各字の確認調査を行い、28年度の報告書刊行にむけた本文構成案の作成を行います。
②-3	その他の宜野湾関係資料の収集と保存
1	宜野湾関係の写真・古地図・古文書等を収集します。

③	市民の自発的な地域学習を支える「市史」の普及・活用
1	博物館広報誌「はくぶつかんネット」内において、市史だより「がちまやあ」で市史の普及を図ります(年3回)。
2	市報ぎのわん「茶ぐわーゆんたく」の連載(年12回)を行います。

(3) 平成26年度事業実績

①	宜野湾市の自然・歴史・文化を学ぶ「市史」の編集
①-1	市史編集事業
1	『宜野湾市史』第8巻戦後資料編Ⅱ「伊佐浜の土地闘争」(資料編)の刊行に向けて、戦後資料編専門委員会を開催し、執筆した原稿を検討・修正しました。
②	宜野湾市の最新情報を知る「宜野湾関係資料」の収集と保存
②-1	市行政文書の収集と保存
1	歴史公文書等整理活用事業において、戦後初期行政文書の整理を行いました。
2	保存年限を経過して廃棄を決定された市行政文書のうち、歴史資料として保存する必要がある文書は引き取り、その整理・登録・保存を行いました。
②-2	市内民俗調査の記録・調査
1	サングワチャー(三月遊び)の記録として、宜野湾と我如古の動画記録調査を行いました。
②-3	その他の宜野湾関係資料の収集と保存
1	宜野湾関係の新聞記事の選択・整理・保管を行いました。
③	市民の自発的な地域学習を支える「市史」の普及・活用
1	市史だより「がちまやあ」の編集・刊行・配布(年2回)。
2	市報ぎのわん「茶ぐわーゆんたく」の連載(年12回)。

(4) 刊行本一覧[平成27年3月31日現在]

① 『宜野湾市史』巻別・編別一覧

[平成27年3月31日現在]

巻別	編別 題目	収録内容	価格:円	備考
第1巻	通史編	宜野湾の歴史・文化・自然などを知る格好の入門書。(H6.3刊行)	2,000	
第2巻	資料編1 新聞集成I	明治31年から大正7年までに発刊された新聞から主要記事を選択して収録。(S55.11刊行)	3,150	
第3巻	資料編2 市民の戦争 体験記録	戦争を体験した宜野湾市民は、戦争をどうみつめ、どう考えたかを綴った生の証言集。(S57.11刊行)	3,150	
第4巻	資料編3 宜野湾関係資料	多くの古文書の中から宜野湾市に関する主要内容を選択して収録。(S60.3刊行)	2,100	

巻 別	編 別 題 目	収 録 内 容	価 格 : 円	備 考
第 5 巻	資 料 編 4 民 俗	近代ジノーンチュの生活様式を分野別に分けて、描き出した生活記録。(S60.3 刊行)	2,100	
第 6 巻	資 料 編 5 新聞集成Ⅱ	大正 8 年から昭和 20 年 10 月までに発刊された新聞から主要記事を選択して収録。(S62.2 刊行)	2,100	
第 7 巻 上	資 料 編 6 新聞集成Ⅲ上	昭和 20 年 7 月から昭和 33 年までに発刊された新聞から主要記事を選択して収録。(S63.3 刊行)	2,100	
第 7 巻 下	資 料 編 6 新聞集成Ⅲ下	昭和 34 年から日本復帰の昭和 47 年までに発刊された新聞から主要記事を選択して収録。(S63.12 刊行)	2,100	
第 8 巻	資 料 編 7 戦後資料編戦後 初期の宜野湾 (資 料 編)	宜野湾の戦後初期について、行政文書と市民の体験記でまとめた。(H20.3 刊行)	2,000	
第 9 巻	資 料 編 8 自 然	民間地はもとより基地内も含む地質・地形・動植物等の自然総合調査資料。(H12.3 刊行)	2,000	
第 9 巻 追録編	自然とヒト (資 料 編 8 自然・追録編)	自然とヒトとのつながりをテーマに、動植物の方言、宜野湾並松、農事試験場についてまとめた。(H15.3 刊行)	1,000	
第 8 巻 解説編	宜野湾戦後のはじ まり(資料編 7 戦後 資料編Ⅰ・解説編)	本市の戦後の様子をわかりやすくまとめた、歴史と現在が学べるビジュアル本。(H21.3 刊行)	700	在庫 切れ
第 9 巻 解説編	ぎのわん 自然ガイド (資 料 編 8 自然・解説編)	本市の自然とふれあい、観察できるように、わかりやすくまとめた自然ガイドブック。 初版(H13.3 刊行)・第 2 版(H15.6 刊行)	1,000	在庫 切れ
別 冊	写真集 「ぎのわん」	戦前・戦後の写真を収録した目で見える宜野湾の歴史。(H3.10 刊行)	1,500	
別 冊	戦後初期の宜野湾 — 桃原亀郎日記 —	戦後 2 代目の村長、桃原亀郎が記した日記。戦後初期の宜野湾を窺うことができる資料。 (H9.3 刊行)	1,000	
別 冊	ぎのわん市の 戦 跡	平和学習の教材として、各字の戦災状況の概要・慰霊塔・戦没者数・避難壕等をまとめた小冊子。 初版(H10.3 刊行)・第 2 版(H15.6 刊行)	500	

② 宜野湾市(村)報縮刷版

題 目	収 録 内 容	価 格 : 円	備 考
第 1 集	1957 年 8 月～1967 年 12 月(創刊号～第 95 号)(S58.1 刊行)	1,365	
第 2 集	1968 年 1 月～1978 年 3 月(第 96 号～第 197 号)(S58.1 刊行)	1,365	
第 3 集	1978 年 6 月～1983 年 4 月(第 198 号～第 253 号)	1,500 (セット)	
第 4 集	1983 年 5 月～1988 年 12 月(第 254 号～第 321 号)(H4.9 刊行)		

③ 市内民俗芸能調査報告書とCD・DVD

題 目	収 録 内 容	価 格 : 円	備 考
ぎのわんの針突	1981 年度と 1993 年度に調査した市内のハジチ習俗について記録。(H7.3 刊行)	非売品	
ぎのわんの西海岸 —土地利用・地名・海(イノー)・自然—	宜野湾の西海岸に隣接する地区の地名を中心に土地利用の変遷や現在の自然状況をまとめた。(H8.3 刊行)	非売品	
野嵩マールアシビ 組踊 宜野湾敵討	野嵩の村遊びや大正 13 年頃まで演じられていたとされる組踊「宜野湾敵討」を記録。(H8.3 刊行)	非売品	
村芝居 —ぎのわんのムラアシビ—	普天間・新城・野嵩を主に市内各字の村遊びについてまとめた。伝統文化の継承を図るために上演台本も収録。(H13.3 刊行)	1,000	
読んで知る* ぎのわんの綱引き	市内の綱引き行事について戦前・現代の綱引きと綱引き歌、その総括と解説をまとめた。(H17.12 刊行)	1,500	
音にきく*映像に見る ぎのわんの綱引き	市内の綱引き行事で歌われた綱引き歌のCDと現在の綱引き行事をDVDに納めた。(H17.2 制作)	2,000	
ぎのわんの地名 —内陸部編—	宜野湾村(市)の内陸部 17 カ字の戦前の集落や暮らしの様子など人々の生活に根ざした地名を記録。(H24.3 刊行)	3,000	在庫切れ

編 別 内 容	収 録 内 容	価 格 : 円	備 考
佐喜真興英 —生誕百年記念事業 報告書—	郷土の偉人佐喜真興英の生誕百年を記念して実施した事業を報告書としてまとめた。(H6.3 刊行)	非売品	

※ 販売価格は、全て消費税込みです。

※ 平成 26 年度の販売冊数の合計は、64 冊(枚)です。

※ 上記に紹介した「市史」は、文化課と市立博物館において販売しています。

4. 文化振興

(1) 重点目標

平成 27 年度は、下記の事業を重点目標に実施いたします。

○ 自主事業

- ① ミュージックフェスティバル開催事業(平成 27 年 10 月 10 日:宜野湾海浜公園屋外劇場)
- ② U-18 フェスティバル開催事業(平成 28 年 2 月 6 日～7 日:宜野湾市民会館)
- ③ 創作市民劇公演事業(公演年度) 嘉数区 (平成 28 年 2 月 28 日:宜野湾市民会館)
- ④ 出前公演開催事業(赤道児童センター、大山児童センター等市内施設にて開催)

○ 共催事業

- ① 宜野湾市文化祭 平成 28 年 3 月 10 日～13 日 19 日～20 日

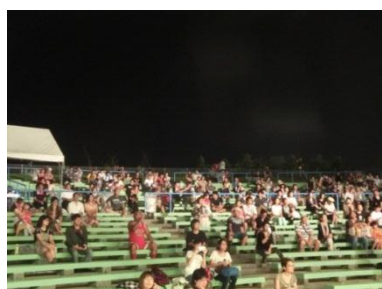
(舞台部門 3 月 19 日～20 日:宜野湾市民会館/展示部門 3 月 10 日～13 日:宜野湾市立中央公民館)

(2) 平成 26 年度文化事業の実績

ミュージックフェスティバル開催事業
(自主事業)
<8 月 2 日はごろう祭りと同
同時開催>

○ ミュージシャンに発表の場を提供し、音楽文化を発信するとともに、若者の創造性豊かなエネルギーを街づくりの一助とすることを目的とする。

実施年度	平成 26 年度
実施回数	20 回
出演バンド数	11 組
応募バンド数	48 組
入場者数	2,750 名



U-18 フェスティバル開催事業 (社会福祉協議会と共催) 平成 26 年 7 月 12 日		<ul style="list-style-type: none"> ○ 次代を担う子ども達に舞台発表の機会を提供し、自己表現力並びに情操性の涵養を通して芸術文化活性化への一助とする。 ○ 市内の各種クラブ・教室・研究所の 18 歳以下を対象とする。
実施年度	平成 26 年度	   
実施回数	第 24 回	
出演団体	市内の児童センター、市立保育園、エイサーサークルぐるくん 他	
内 容	琉球舞踊、三線、演舞、しめ太鼓、空手、ダンス 他	
出演者数	164 組	
入場者数	800 名	
宜野湾市民福祉まつりにおいて		

創作市民劇公演事業 (自主事業) 2 年おきに上演		<ul style="list-style-type: none"> ○ 地域の貴重な歴史や伝承、伝統文化や文化財等を題材に戯曲化し、地域の特色を活かした創作市民劇を上演する。公演をとおして自ら住んでいる地域に関心と誇りを持ち、芸術文化の創造及び地域興し及び人材育成につなげることを目的とする。 ○ 毎回、沖縄芝居の重鎮1人と地元区民 100 人程度出演。
実施年度	平成 26 年度	平成 26 年度は脚本の完成。平成 27 年度は演劇の上演。
実施回数	13 回	
タイトル	嘉数上ヌ山	
行政区名	嘉数区	
脚 本	仲村 元惟	
   		
市民劇「カミアチネーの知恵」 平成 25 年度公演。		

出前公演開催事業 (自主事業) 音楽食堂ライブ	<ul style="list-style-type: none"> ○ 地域の子供達やホールに足を運べない方たちのもとへ、音楽家が出かけていき、身近に生の音楽をお届けする。 ○ 市役所ロビー・市内施設等で出前コンサートを開催する。 		
開催期日	平成 27 年 2 月 20 日	平成 27 年 3 月 16 日	平成 27 年 3 月 20 日
開催場所	愛 誠 園	大謝名児童センター	新城児童センター
出演者	東 由希恵	東 由希恵 ピエロのファンキー	Lusy ピエロのファンキー
テーマ	古典音楽への誘い	古典音楽への誘い	進学・入学祝
主な鑑賞者	一般市民 入所者 児童 生徒		
入場者数	80名		



宜野湾市文化祭 (市文化協会との共催) 平成 25 年 11 月 2・3 日 7～9 日		○ 市文化協会会員の文化活動の成果を広く市民に公開し、芸術文化の鑑賞の機運を醸成し、豊かで潤いのある文化生活と市民文化の高揚を図ることを目的に開催する。	
実施年度	平成 26 年度		
実施回数	第 35 回(11 月)		
内 容	<舞台> 古典芸能、合唱、詩吟、日舞、民謡 等		
	<展示> 美術工芸、写真、書道、花道、茶道 等		
舞台出演者数	792 名		
展示出点数	230 点		
入場者数	展示部門:792 名		
	舞台部門:1,200 名		
			
			

(3) 平成 26 年度文化事業共催・後援等

実施期間	行 事 名	共催・後援者	区分
平成 26 年 5 月 28 日	第 54 回沖縄県吹奏楽コンクール	沖縄県吹奏楽連盟	後援
平成 26 年 11 月 23 日	第 37 回高等学校総合文化祭	沖縄県高等学校文化連盟	後援
平成 26 年 12 月 4 日	東日本大震災支援コンサート 国際親善交流特別演奏会	日本音楽文化交流協会	後援
平成 27 年 2 月 4 日	京都大学交響楽団 弦楽アンサンブル演奏会	京都大学音楽部交響楽団	共同主催
平成 27 年 2 月 7 日	生涯学習フェスティバル 市民会館舞台部門 「異文化フェスタ」	異文化フェスタ実行委員会	共同主催

他 8 件(玉稿依頼含む)

(4) 平成 26 年度 宜野湾市民会館管理運営状況

市民会館は市民文化の殿堂として位置づけ、文化発信の拠点づくりを目指すとともに、市民が利用しやすい管理、運営を図っていきます。

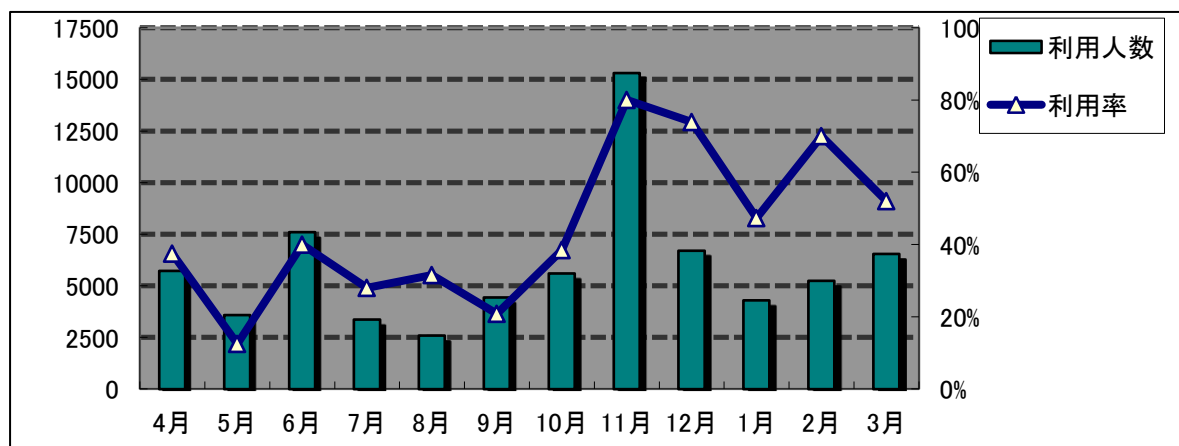
①大ホール内容別利用状況

内容		月												合計
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
音楽会	洋楽	2		2	3			1	1	3	1		4	17
	邦楽	1							7	1	1	1	1	12
演劇								1		1		1		3
舞踊	洋舞	1												1
	邦舞				1		1	1	1			2		6
演芸			1	1	1	1		1	4	3		3		15
映画				1		1							1	3
式典			1				1				1		2	5
講演会				1		1	2		2				1	7
各種大会			2	1	1			1	2	1				8
その他				2	1		2	2	1		1		2	11
件数計		4	4	8	7	4	5	7	18	9	4	7	11	88
開館日数		24	24	25	25	19	24	26	25	23	19	20	25	279
利用日数		9	3	10	7	6	5	10	20	17	9	14	13	123
利用率(%)		37.50%	12.50%	40.00%	28.00%	31.58%	20.83%	38.46%	80.00%	73.91%	47.37%	70.00%	52.00%	44.09%
利用人数		5,735	3,585	7,600	3,370	2,600	4,450	5,600	15,320	6,710	4,300	5,250	6,550	71,070

※ 開館日数＝総日数－休館日－保守点検日数＋休館日に貸出した日数。

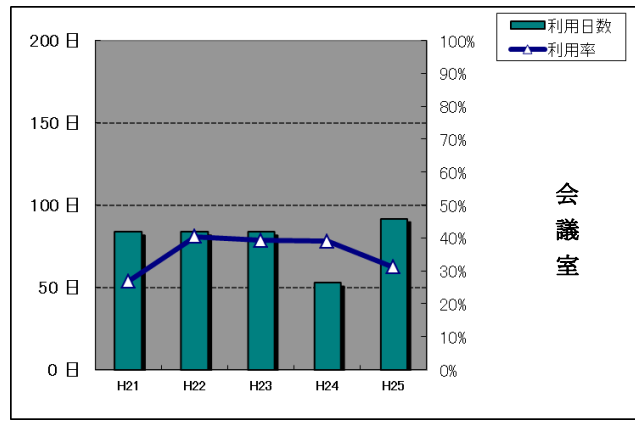
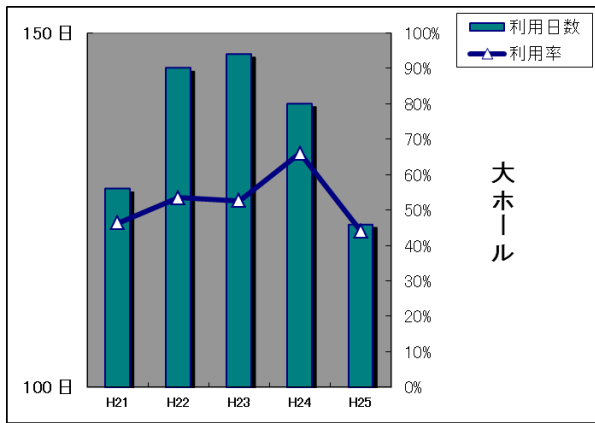
※ 開館日数の()内数字は、休館日貸出をした日数。

※ 利用日数には、準備、リハーサルを含む。



②年度別利用状況

大ホール	年度	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平均
	内容						
開館日数		276 (0)	271 (0)	279 (0)	212 (0)	279 (0)	263
利用日数		128	145	147	140	123	137
利用率		46.38%	53.51%	52.69%	66.04%	44.09%	52.09%
利用人数		71,960	76,050	62,470	54,550	71,070	67,220 人



年度 内容	平成 22年度	平成 23年度	平成 24年度	平成 25年度	平成 26年度	平均
	開館日数	276 (0)	271 (0)	279 (0)	212 (0)	295 (0)
利用日数	84	84	84	53	92	79.40
利用率	30.43%	31.00%	30.11%	25.00%	31.19%	29.78%

※平均利用率＝平均利用日数÷開館日数×100

※ 大ホールの開館日数＝総日数－休館日－保守点検日数＋休館日に貸出した日数。

※ 会議室の開館日数＝総日数－休館日＋休館日に貸出した日数。

※ 開館日数の()内数字は、休館日貸出をした日数。

※ 利用日数には、準備、リハーサルを含む。

③年度別市民会館使用料収入額(単位:円)

使用料	平成 22年度	平成 23年度	平成 24年度	平成 25年度	平成 26年度	平均
基本 使用料	5,759,290	6,639,510	6,451,360	5,301,270	6,189,310	6,068,148
附属設備 使用料	6,290,460	6,790,040	6,834,360	6,070,150	5,836,370	6,364,276
冷房 使用料	1,186,500	1,321,110	1,217,160	1,468,320	1,104,600	1,259,538
計	13,236,250	14,750,660	14,502,880	12,839,740	13,130,280	13,691,962

④平成 26 年度市民会館大ホールの使用料減免状況

減免団体 区分	宜野湾市	学校教育 法に規定 する学校	国、地方 共催団体	社会福祉 団体	社会教育 団体	本市が共 催した行事	その他
減免件数	9	19 (8)	0	7	2	6	2

※ 「学校教育法で規定する学校」で、()内の数値は宜野湾市立の学校が使用した件数です。

※ 減免割合は、次のとおりです。

1. 宜野湾市が主催した行事に使用した場合、全額免除です。
2. 宜野湾市立の学校が主催する行事に使用した場合、基本使用料のみ7割減額です。
3. 教育長が特別の理由があると認めた場合、基本使用料のみ5割減又は全額免除です。
4. 上記以外について減額する場合、基本使用料のみ5割減額です。

市立博物館

1. 基本方針

博物館法の趣旨に基づき、「地域に根ざし、地域に学び、地域に奉仕する」ことを理念に社会教育機関としての使命を果たすため、歴史、民俗、考古、自然に関する資料を収集・保管し、教育的配慮のもとに市民の利用を積極的に推進します。

博物館事業については、市民のみな様からの貴重な資料の寄贈があり、引き続き市民への公開事業として各種の「企画展」や「講演会・野外見学会」などを開催します。また、学校との連携を推進して児童生徒の地域学習の場を提供し、博物館を起点に地域と学校とを結ぶ架け橋となる博物館運営を進めます。

2. 重点目標

博物館では、本市の歴史・文化・自然的な特色を活かした企画展を開催いたします。また、生涯学習時代に対応するために地域と連携し、教育的需用に応える地域学習の場として博物館市民講座を開講。あわせて学校との連携を推進し、児童・生徒の地域学習の場として、博物館での体験学習や展示資料を利用した授業の実施などの充実を図り、地域に愛着と誇りを持つ児童・生徒の育成に努めます。

そして「地域に根ざし、地域に学び、地域に奉仕する」ことを目的として時代のニーズに合った常設展示室整備の実施設計を進め、「学校現場と地域団体の文化活動の拠点」となる市民参加型の博物館を目指します。

3. 設置目的と常設展示室の案内

本市立博物館は、文化遺産の適切な保存とその活用を通して、市民の郷土学習に供することを目的として、平成 11 年 6 月に開館し、26 年度は開館 15 周年を迎えました。

日本本土から遠く離れていたために独自の歴史を歩み、特色ある文化を形成してきた沖縄の歴史を大きく五つの時代に区分し、すなわち貝塚時代、群雄割拠するグスク時代、薩摩侵攻後の琉球王国時代(近世)明治国家へ統合された近代、そして戦中・戦後を時系列に宜野湾地域の情報を中心に展示しています。

○エントランス

人類の進化や、時代による人の顔の変化、現代宜野湾人の顔写真を展示しています。主な展示物には、安座間原人(貝塚時代の人)や奥間人(近世の人)という市内出土の人骨の復顔像や、市民の顔写真を展示した「宜野湾人の顔」のコーナーなどがあります。

○旧石器時代

琉球列島の成り立ちや、動物と祖先の来た道(陸橋)を展示しています。主な展示物には、陸橋のパネル解説や、更新世(1~200 万年前ほど前)のものと推定される大山洞人の人骨(複製品)などがあります。

○貝塚時代のムラとくらし

市内の遺跡から出土した遺物を展示し、貝塚時代中期頃(約 2,500 年前)の人々の暮らしや一生が分かる内容となっています。主な展示物には、琉球犬の頭骨や土器などの遺物の他に、土器のパズルや当時の人と身長を比較するなどの体験コーナーがあります。

○グスク時代のムラとくらし

グスク時代の有力者の居宅である真志喜森川原遺跡出土の遺物(約 600 年前)でほぼ展示が構成されており、当時の暮らしや社会状況が分かる内容となっています。主な展示物には、穀物や家畜の骨、鍛冶関係の遺物などがあります。

○海を渡る

交流や交易に関する四つのテーマで構成されており、映像や地図、実物資料の連結で選択したテーマについて、より深い理解を促すような内容になっています。主な展示物には、中国の古銭である開元通寶、腕輪の材料であるゴホウラ・イモガイなどがあります。

○近世の宜野湾

琉球が薩摩に侵略を受けてからの琉球や宜野湾の社会や文化を展示しています。主な展示物には、現在の普天間飛行場内にある宜野湾クシヌウタキの模型や、琉球松の模型の他に普天満宮にまつわる話、アニメーション映像による解説などがあります。

○近代の宜野湾

沖縄が日本の一部になってからの社会の様子を展示しています。展示物には、土地整理の再現や、移民に関する内容、戦前の新城集落の模型、大正から昭和初期の一般的な民家の復元があります。

○戦中・戦後の宜野湾

宜野湾市における沖縄戦や、伊佐浜の土地闘争を展示しています。主な展示物には、戦争時のトーチカの模型や、伊佐浜の土地闘争の再現、沖縄戦や米軍基地に関する映像などがあります。

○明日の宜野湾

未来の宜野湾市をイメージした模型を展示しています。模型は「明日の宜野湾」と題して、市内の小中高生に作成してもらいました。

○中央模型

平成10年当時の市の地形模型であり、高低差や街並み、道路などを忠実に再現しています。また、貝塚時代、グスク時代、近世と近代、戦中・戦後という四つのコーナーごとに解説文とボタンがあり、ボタンを押すと地形模型にあるランプが点灯します。

4. 施設の内容

○敷地面積:4,710 m² ○建築面積:1,390 m²
○延床面積:1,999 m²[一階:1,281 m²、二階:311 m²、地下:394 m²、その他:13 m²]

名 称		主 な 利 用 内 容	面 積
展 示 部 門	常設展示室	宜野湾市の歴史などの“あらまし”をいつでも学べる場所です。	400 m ²
	企画展示室	市の特色を知る期間限定の企画展や講演会等を行う場所です。	130 m ²
	展示準備室	企画展や講演会などの準備を行う場所です。	23 m ²
収 蔵 部 門	大 収 蔵 庫	歴史・民俗・考古などに関する博物館資料を保管する場所です。	192 m ²
	特別収蔵庫	紙類や布類などの博物館資料を保管する場所です。	48 m ²
	収蔵庫前室	収蔵庫と特別収蔵庫への虫菌などの侵入を防止する場所です。	15 m ²
	くん 蒸 室	博物館資料の殺虫・殺菌の作業を行う場所です。	18 m ²
	地 下 倉 庫	石製品や陶製品などの博物館資料を保管する場所です。	394 m ²
	1 階 倉 庫	博物館の行政文書や書類などを保管する場所です。	12 m ²
	2 階資料・倉庫	地図や写真などの博物館資料を保管する場所です。	33 m ²
	1 階 倉 庫	博物館資料の出し入れ時の荷解や梱包などを行う場所です。	51 m ²
調 査 研 究 部 門	図 書 館	市の歴史などについて、読んで調べる場所で、受付が必要です。	99 m ²
	研 究 室	博物館職員が調査研究や色々な会議を行う場所です。	77 m ²
	修理工作室	博物館資料の修理、展示物等の製作などを行う場所です。	49 m ²

名 称		主 な 利 用 内 容	面 積
管 理 部 門	事 務 室	博物館職員が日常業務を行う場所です。	74 m ²
	展示ロビー	綱引きで使用される旗頭、オオウナギなどを展示しています。	88 m ²
	エントランスホール	市内の大山區から出土した軽便鉄道の台車を展示しています。	36 m ²
	守 衛 室	博物館の休館日と夜間に常駐の警備員が待機する場所です。	7 m ²

5. 開館日・休館日

開館日と開館時間:平日、土・日曜日の午前9時～午後5時(入館受付は午後4時30分迄)
 休館日:火曜日、祝祭日(慰霊の日、文化の日を除く)、年末年始(12月29日～1月3日)
 ※その他、くん蒸による臨時休館日があります。
 ※休館日に祝祭日が重なる場合は、翌日の休みでない日が振替休日となります。

6. 観覧料

○平成20年4月1日から、“市民の方々に親しみのある地域学習の場”と、“市の文化的情報を県内外に広く発信”するために、『観覧料が無料』となりました。

7. 運営体制

※27年度の機構改革により、学芸係に文化課市史編集係が統合され、市史編集業務も兼務となりました。

館長(嘱託)・・・1人 係長・・・1人 主任主事・・・1人
 嘱託(学芸担当:2人、市史編集担当:2人)・・・4人
 臨時職員(住民票等交付担当:2人、市史編集資料整理担当:1人)・・・3人

8. 博物館の収蔵資料

(平成27年3月31日現在登録数)

- 博物館資料収蔵品総数・・・7,854点(考古資料の大半は未集計)
- 図書資料総数・・・22,873冊

9. 証明書交付

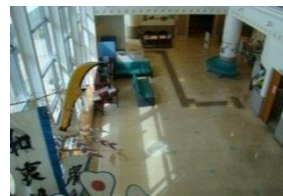
博物館では、市役所本庁市民課から委託を受け証明書等の交付を行っています。博物館事務所窓口では住民票と印鑑証明書を発行しています。また自動交付機も設置しており、暗証番号が登録されている市民カードや住基カードをお持ちであれば、土日でも住民票や印鑑証明書、所得証明書の発行ができます。



常設展示室: エントランス



中央模型と民家



展示ロビー



企画展示室



図書室



大収蔵庫

10.平成 27 年度年間事業計画

目的	事業内容	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月				
展示公開	展示会 企画・特別展	戦後70年企画展①			戦後70年企画展②			小・中学校連携展	企画展			地域との共同企画展					
		沖縄戦から70年 -戦場の宜野湾-			宜野湾 戦後の復興とくらし			文化財図画 作品展	H25・26 新収蔵品展			ぎのわんの “字”展 (大山編)					
	[期間(予定)]	6/17～7/5			7/15～9/6			9/30～10/18	10/31～12/20			1/27～3/6					
教育普及①	一般市民対象 博物館 市民講座	宜野湾の戦争 と戦後		野嵩収容所跡 をめぐる		戦後70年を 語る		獅子舞見学 ツアー		中部のグスク めぐり		湧き水 めぐり		山田真山との 思い出			
		吉浜忍		平敷兼哉		仲村元惟		我如古香		知念勇		平敷兼哉		糸数政次			
	[期日(予定)]		6/28(講座)		7/26(野外)		8/9(講座)		9/27(野外)		10/18(野外)		11/8(野外)		12/13(講演)		
	児童生徒 対象	わらば一 体験じゅく		開校式:見学・ 昔の道具体験 博物館職員		漆喰シーサー 作り 比嘉和行		田イモの 植付け 石川達義		昔のおもちや 作り 松本真清		ウシと ふれ合おう! 宮城邦治		石獅子を 探そう! 博物館職員		豆腐作り 博物館職員	
[期日(予定)]		6/20(館内)		7/18(館内)		8/15(野外)		9/5(館内)		10/24(野外)		11/14(野外)		12/19(館内)			
	備考									図画作品展 (移動展・ 本庁)							
								10/19～10/30									
教育普及②	学校・ 地域等 依頼	社会科見学		* 出前講座案内の告知(校長会・案内配布)										社会科見学:市内小・中学校の団体見学 等		出前講座の実施	
		総合学習等												総合・スキル・グループ学習、遠足、修学旅行 等			
		職場体験学習												市内中学校/インターンシップ(高校) → 業務状況を判断して受入れを検討			
		地域団体支援①												児童・生徒関連:子供会・学童クラブ・保育園・幼稚園・児童館 等			
		地域団体支援②												自治会・婦人会・郷友会等の団体見学を主に!			
		大学連携												県内外の大学ゼミへの展示説明、野外講座			
		学芸員実習受入						8/5～17		→展示公開・教育普及の活動が集中する時期に行う							
		図書室運営												図書室の配架整理が未着手のため課題ではあるが、利用は可能			
	博物館資料貸出												公共機関を主に(写真・体験学習教材 等)!				
収集保管	博物館資料収集		(1)受入れ...随時(宜野湾関連を中心に) * 収蔵用資料・体験教材用														
	博物館資料整理 博物館資料保管		(1)登録・保管...①学芸員実習時、②27年2月以降														
広報活動	博物館ネット刊行		ネット刊行						ネット刊行				ネット刊行				
	[期日]		5/中						10/中				3/中				
	市報ぎのわん[隔月]		4月号		6月号		8月号		10月号		12月号		2月号				
	博物館周知活動		4/始:学校等への年間事業計画送付				各種事業:市報掲載、マスコミ送信、ポスター・チラシ配布、ネット配信 等										
	[期日]		4/始(特に「文化財図画作品展」)				随 時										
調査研究	資料調査		学芸員等は個々でテーマを設定して調査研究を進める。→成果は27年度刊行の「博物館年報」に掲載する。														
博物館協議会開催		宛職委員委嘱準備		第1回				第2回				第3回					
常設展示室整備		展示設計															
住民票等・窓口、自動交付事務		市民カードの周知 → 自動交付機利用の向上															
友の会活動		総会(4月中)		①会員向け企画展解説会・②サークル活動・③友の会だより発行など													

11.平成 26 年度の活動実績

(1) 自主運営活動 ～展示会・講座・教室等の開催～

【展示公開】

	企画展名	期 間	備 考
1	慰霊の日企画・写真パネル展 イクサユージュのーん(戦世の宜野湾)	6/18～7/13	来館者数:1,110名
2	夏の企画展 宜野湾の台地 ～石灰岩台地でくらす人びと～	7/30～9/14	来館者数:1,101名
3	小・中学校連携展 第23回ぎのわんの文化財図画作品展	10/1～10/19	応募総数:182点 来客者数:441名
4	秋の企画展 宜野湾のムラアシビ	10/29～11/30	来館者数:1,160名
5	博物館開館15周年企画展 山田真山ー描いた世界・育まれた環境ー	12/10～12/21	来館者数:725名
6	市民文化財活用企画展 キャンプ瑞慶覧内の遺跡発掘調査	1/9～2/1	来館者数:802名、文化課主催
7	地域連携展 ぎのわんの“字”展「嘉数～根 立て杜ぐすくなくよくらてづきし字～」	2/12～3/8	来館者数:515名、移動展 (嘉数区公民館:3/12～3/23)
企画展への総来館者数			5,854名

【博物館市民講座】

- 目的:市内外を問わず受講者に宜野湾市の自然や歴史、文化に親しむ地域学習の場を提供する。(定員:室内講座50名、野外講座25名)

	講 座 名	期 間	講師名および参加人数
1	ぎのわんの戦跡めぐり	6/29(野外)	平敷 兼哉(市立博物館学芸係長)、22名
2	家譜の話	7/13(講座)	田名 真之(沖縄国際大学教授)、51名
3	宜野湾の台地をめぐる	8/24(野外)	大城 逸朗(おきなわ石の会会長)、24名
4	宜野湾のおもろ	9/21(講演)	波照間 永吉(沖縄県立芸術大学教授)、42名
5	グスクめぐり	10/19(野外)	知念 勇(沖縄考古学会理事)、21名
6	宜野湾の伝統芸能	11/9(講演)	比嘉 悦子(市立博物館館長)、23名
7	山田真山ーその人物と作品ー	12/21(講演)	小林 純子(沖縄県立芸術大学教授)、85名
8	宜野湾のしまくとぅば	1/18(講演)	野原 三義(沖縄国際大学名誉教授)、29名
9	めぐてい!イガルーシマ ～嘉数編～	2/22(野外)	平敷 兼哉(市立博物館学芸係長)、19名
総受講者数			316名

【わらば～体験じゅく】

○ 目的:市内在住小学校 5、6 年生 30 名を対象に、普段はあまり関わる事の少ない市内の自然や文化などを 1 年間通して学ぶことを目的とする。また、他校や異学年との交流を図ることで協調性や友情を育むと共に、講師の博物館職員や地域の先輩方との交流も図る。

	講座名	開催日	講師名および参加人数
1	開校式、博物館探検、昔の道具体験	6/14(館内)	博物館職員、30名
2	標本づくり	7/13(館内)	佐々木 健志(琉球大学風樹館学芸員)、26名
3	田イモの植付け	8/16(野外)	石川 達義(田イモ農家) (於:大山)、20名
4	宿泊学習～野山の観察～	9/27～28 (野外)	博物館職員、 (於:沖縄県立玉城青少年の家)、25名
5	ウンとふれ合おう!	10/25(野外)	宮城 邦治(沖縄国際大学教授) (於:中城村新垣)、23名
6	村獅子を探そう!	11/15(野外)	博物館職員(於:喜友名)、22名
7	しめ縄づくり	12/27(校内)	城間 健二(普天間小学校校長) (於:普天間小学校)、22名
8	田イモの収穫	1/24(野外)	宮城 徳康(田イモ農家) (於:大山)、23名
9	昔のおもちゃづくり、閉校式	2/14(館内)	竹とんぼ作り:松本 眞清・屋嘉比 康勝(地域老人会)／閉校式:博物館職員、21名
総受講者数			212名

【博物館施設整備】

	事業内容	備考
1	常設展示室整備 (基本計画の作成)	開館以来、変化のない展示を改め、学説の変更、新資料の発見に伴い、最新情報を利用者に紹介し、学びの場の充実を図るため、常設展示室整備を進めた。26年度は基本計画書を作成。
2	博物館内外の施設整備	①展示ロビー、大収蔵庫、特別収蔵庫の照明機器の取替え。 ②館外案内標識の設置(4基)。

【博物館友の会】

○ 概要:市立博物館活動の事業に積極的に参加、協力し、併せて会員相互の教養を高め、親睦を図ることを目的に平成 23 年に結成。会員数 85 名(27 年 3 月現在)。

	事業内容	備考
1	総会(4/19)	25年度事業・予算報告、26年度事業計画・予算・運営委員など
2	会員向け企画展の展示解説会(年6回)	博物館職員による企画展の解説(①慰霊の日パネル展:6/28、②宜野湾の台地展:8/2、③宜野湾のムラアシビ展:11/8、④山田真山展:12/13、⑤文化財企画展:1/17、ぎのわんの字展:2/21)
3	サークル活動(年3回)	友の会会員で年間テーマを決めて調べ学習を行う。26年度のテーマは「宜野湾の外人住宅～過去・現在・未来について学ぶ～」(①6/28、②9/27、③12/13)。

(2) 社会科見学・総合学習・出前講座・学芸員実習・職場体験学習(インターンシップ)

宜野湾市及び近隣の学校による博物館見学(社会科見学・総合学習)は、社会科学習の一環と、地域の歴史や文化などを学ぶ事を目的として行っています。また、博物館へ距離的・時間的に見学が困難な市内の学校を対象に、博物館職員が直接、学校へ出向いて解説する出前講座も行っています。

さらに、市内の中学校や県内の高校や県内外の大学からの依頼により、職場体験や学芸員実習の受け入れも行っています。これは、生徒が日頃の学生生活を見直し、将来について考えるきっかけづくりや、学芸員資格の取得を目的としています。

【社会科見学・総合学習】

見学日時	学校名	学年	児童・生徒数	引率者数	合計
10月3日(金)	大謝名小学校	3	86	4	90
10月10日(金)	宜野湾小学校	3	112	7	119
10月17日(金)	中城南小学校	3	76	4	80
10月22日(水)	中城小学校	3	63	3	66
10月22日(水)	港川小学校	3	70	6	76
10月30日(木)	津覇小学校	3	48	3	51
10月31日(金)	北谷第二小学校	3	87	5	92
11月6日(木)	島袋小学校	3	123	6	129
11月26日(水)	普天間小学校	3	120	6	126
11月28日(金)	志真志小学校	3	124	5	129
12月4日(木)	普天間第二小学校	3	102	5	107
1月7日(水)	琉球大学附属小学校	3	34	1	35
1月16日(金)	牧港小学校	3	75	5	80
1月21日(水)	はごろも小学校	3	106	4	110
1月22日(木)	大山小学校	3	105	4	109
1月28日(水)	浦城小学校	3	170	7	177
2月12日(木)	琉球大学附属小学校	3	34	1	35
2月13日(金)	琉球大学附属小学校	3	34	1	35
2月19日(木)	北中城小学校	3	119	6	125
合計	19学校	—	1,688	83	1,771

◎主な見学内容

- ・ 常設展示室・・・常設展示室内にある民家の前で民具の説明をする。
- ・ 企画展示室・・・博物館の仕事の説明を受けた後、開催中の企画展の解説を聞きながら見学。
- ・ 農具の体験学習・・・農具の説明と、実際に農具を使って脱穀作業の体験を行う。
- ・ 映像学習・・・『宜野湾 50th』や『基地がなかった頃』等を鑑賞し、宜野湾市の歴史や文化を学ぶ。

【出前講座】

見学日時	学校名	学年	児童・生徒数	引率者数	合計
9月17日(水)	沖縄カトリック小学校	3	95	3	98
9月26日(金)	大謝名小学校	3	86	4	90
1月23日(金)	普天間小学校	3	118	4	122
1月29日(木)	嘉数小学校	3	137	4	141
1月30日(金)	長田小学校	3	85	3	88
2月20日(金)	普天間第二小学校	3	109	3	112
3月5日(木)	長田小学校	3	85	3	88
合 計	6学校7回	—	715	24	739

◎主な内容(昔のくらし)

- ・ビデオ鑑賞…『基地がなかった頃』を鑑賞し、当時の生活環境や時代の背景をイメージする。
- ・服装の解説…どんなもので出来ているのか素材を確認し、現在の服装との違いを考える。
- ・脱穀・精米の体験…昔の子ども達の仕事や、ビデオ鑑賞で出た道具を実際に使い体験する。
- ・運搬用具の体験…どんなものを入れて(乗せて)運んでいたのかを考える。

◎主な内容(宜野湾市の年中行事)

- ・ビデオ鑑賞
 - …『基地がなかった頃』を鑑賞し、普天間基地がなかった頃の宜野湾の様子をイメージする。
- ・写真で見る昔の様子
 - …戦前の航空写真を使い、宜野湾並松や今でも身の回りにある湧き水などを探す。
- ・映像で見るムラの行事
 - …昔から行われているムラの行事、新しく行われるようになったムラの行事を知る。
- ・食品サンプルから見るムラの行事
 - …家で行われている行事にはどんなものがあるのか、どんな意味があるのかを知る。

【職場体験学習・学芸員実習】

※期間中、火曜日は休館

学習・実習期間	学校名	学年	生徒・学生数
職場体験学習:7月2日(水)～7月4日(金)	宜野湾中学校	2	3
職場体験学習:7月9日(水)～7月10日(木) ※9日(水)は台風8号の影響で学校が休校になったため、中止。	真志喜中学校	2	2
インターシップ:11月12日(水)～11月13日(木)	宜野湾高等学校	2	3
学芸員実習:8月13日(水)～8月25日(月)	琉球大学	4	2
学芸員実習:8月13日(水)～8月25日(月)	沖縄国際大学	4	2
合 計	5学校5回	—	12

◎主な体験内容

- ・常設展示室の案内体験…常設展示室内を実際に職員を前にして案内してもらう。
- ・収蔵品台帳の記入…市内外の方々から頂いた資料の情報等を台帳に記入する。
- ・企画展・ワークシート(案)作り…企画展の内容や展示方法の作成等を行う。
- ・窓口での住民票等交付の補助といった市民対応についても体験をする。
※体験の内容は、博物館事業と併せて計画し、決定する。

【教職10年経験者研修】

学実習期間	学校名	人数
7月30日(水)～8月1日(金)の3日間	北中城高等学校	1

(3) 平成 26 年度の入館者数

(単位:人)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
常設展示室	大人	174	261	454	415	293	228	305	388	318	225	254	322	3,637
	学生	32	92	60	8	28	17	103	53	43	4	9	2	451
	児童	80	59	122	208	223	49	765	396	134	543	213	67	2,859
	幼児	29	86	179	69	113	29	58	27	17	34	46	37	724
	小計	315	498	815	700	657	323	1,231	864	512	806	522	428	7,671
企画展示室			683	517	793	218	640	961	725	765	402	150	5,854	
講演会			51	77	44	67	44	45	107	52	40		527	
合計		315	498	1,549	1,294	1,494	608	1,915	1,870	1,344	1,623	964	578	14,052
図書室	大人	17	27	39	32	17	9	17	8	27	4	6	9	212
	学生	0	0	1	1	10	0	0	5	5	2	7	0	31
	児童	6	6	5	6	28	4	17	2	13	2	7	5	101
	幼児	1	1	2	0	2	0	0	0	5	0	0	4	15
	小計	24	34	47	39	57	13	34	15	50	8	20	18	359
総計		339	532	1,596	1,333	1,551	621	1,949	1,885	1,394	1,631	984	596	14,411

■補足:地域団体支援:学童クラブや自治会、デイサービス等の団体見学の内訳は、137 団体、3,796 名

12. 宜野湾市立博物館の運営に関する基本的方針

(平成 24 年 4 月 4 日教育委員会議決)

一 基本 理念	1. 趣旨・目的	<p>【趣 旨】 宜野湾市立博物館の運営について、これまでの博物館の基本的な考え方や事業・活動などを踏まえ、開館後の新たな時代の要請に応える役割と機能を再構築した「博物館づくり」を目指して、今後計画する博物館事業・活動の「基本的方針」を策定する。</p> <p>【目 的】 ① <u>市民のアイデンティティ創出の場となる博物館</u> 宜野湾市の自然・歴史・文化に対する知識と理解を深め、もって市民文化の向上発展に寄与し、「市民のアイデンティティ創出の場」となる博物館を目的とする。</p> <p>② <u>市の歴史・文化遺産を保存し、継承していく博物館</u> 宜野湾市の歴史や文化を伝える歴史・文化遺産を市民の地域学習に供し、これら「市の歴史・文化遺産を保存し、継承」していく博物館を目的とする。</p>
	2. 基本的な考え方 (基本的な性格と機能)	<p>◎<u>宜野湾市の歴史と文化を学ぶ市民学習の場!</u> →市民の文化活動の拠点づくり! 宜野湾市の考古、歴史、芸術、民俗、産業、自然科学などに関する資料を収集・保管、展示・公開して、教育的配慮のもとに市民の利用に供するとともに、これに関連する調査・研究及び教育・普及活動を行う。</p>
一 基本 理念	3. 基本目標	<p>①<u>市民に親しみとやさしさのある地域学習の場!</u> →市民の文化交流の空間(施設)づくり! 生涯学習時代に対応するために、市立博物館の施設が地域と密接に関連し、市民に積極的に利用され、地域社会の共同施設として捉え、多様に増大してきた教育的需要に応じて、地域コミュニティー施設または生涯学習の拠点となるとともに、地域に開かれた「市民に親しみのある地域学習の場」となる博物館を目標にする。また、子供、高齢者、身障者が「安心して利用できるやさしい博物館」を目標とする。</p>
		<p>②<u>児童・生徒に分りやすい地域学習の場!</u> →学校との連携づくり! 学校教育との関連においては、児童・生徒が地域に対する愛着と誇りを育むために、「児童・生徒に分りやすい地域学習の場」となる博物館を目標とする。</p>
		<p>③. <u>森川公園と一体になった博物館!</u> →博物館の環境づくり! 森川公園の水と緑の環境をいかした、宜野湾市のシンボル性の高い博物館を目標とする。</p>
		<p>④. <u>宜野湾市の自然・歴史・文化の情報発信の場!</u> →市民参画、リピーターづくり! 高度情報化及び国際化時代に対応するために、県内、国内のみならず、海外からの来館者のニーズに応えられる、「宜野湾市の自然・歴史・文化の最新の情報発信の場」となる博物館づくりを目標とする。</p>
二 基本 方針	1. 基本方針	<p>【基本方針】 ◎<u>先人の生活の知恵と工夫を知る市民参画の場!</u> ○ 調査・研究、収集・保管、展示・公開などの博物館活動を通して、宜野湾市の持つ地域的特色の中で育まれてきた自然、歴史、文化に対する知識と理解を深める。また、講演会、学習会などの博物館のさまざまな教育・普及活動を通して、市民とともに地域の歴史・文化遺産を探求し、知の楽しみを市民と博物館の双方で分かち合える、活動性の高い博物館づくりに努める。</p> <p>① <u>市民の自発的な地域学習と文化交流の場!</u> 市民が気軽に参加でき、子供、高齢者、身障者共々に交流しあえる、地域学習と文化交流の拠点となる博物館づくりに努める。</p>

<p>1. 基本方針</p>	<p>② <u>児童・生徒が見て、触れて、体感できる博物館づくり！</u> 児童・生徒が見て、触れて、体感できる展示資料や楽しみながら学べる場を設け、学校のカリキュラムと連動した教育・普及活動を充実させる。さらに、学校での移動博物館や出前教室などの課外活動を積極的に推進する。</p> <p>③ <u>森川公園の水と緑の環境をいかした博物館づくり！</u> 森川公園の環境をいかした博物館づくりに努めるとともに、羽衣伝説の地「森の川」や、公園内の豊かな自然地形・動植物などを活用した自然観察会や民具づくりなど、地域に根ざした体験学習などの教育・普及活動の充実に努める。</p> <p>④ <u>市民ニーズの変化や学芸員の調査・研究などの進展に応じて、成長する博物館づくり！</u> 市民ニーズの変化や学芸員の調査・研究などの進展に応じて、博物館活動が成長していく博物館づくりに努める。</p>
<p>二 基本方針</p> <p>2. 基本方針の 体系図</p>	<p style="text-align: center;">＝体系図＝</p> <p>①市民の地域学習と文化交流の場</p> <p>②児童・生徒が分かりやすい地域学習の場</p> <p>地域</p> <p>学校</p> <p>宜野湾市立博物館</p> <p>《先人の生活の知恵と工夫を知る 市民参画による文化活動の場》</p> <p>調査・研究 収集・保管 展示・公開 教育・普及 施設管理</p> <p>環境</p> <p>情報</p> <p>③森川公園の水と緑の環境、羽衣伝説の活用</p> <p>④最新の宜野湾市の自然・歴史・文化情報の発信</p> <p style="text-align: center;">【新しい博物館づくりの実施】</p>
<p>3. 活動方針</p>	<p>① 市立博物館開館以降の常設展示室の固定的な展示を見直し、常に新鮮さと弾力性を失うことのない展示を実現するために、「常設展示室のリニューアル」に努める。</p> <p>② 市民と児童・生徒の教育・普及活動の場、学校現場と地域団体の文化活動の拠点となる「体験学習施設」の充実に努める。</p>
<p>三 分野別 活動方針</p> <p>1. 調査・研究</p> <p>2. 収集・保管 (保存・修理)</p>	<p>① 博物館資料に関連する市内に所在する自然環境、歴史・文化遺産、文献資料、伝承資料などの専門的、技術的な調査研究を推進する。</p> <p>② 資料の保管及び展示等に関連する市内外に所在する自然環境、歴史・文化遺産、文献資料、伝承資料などの専門的、技術的な調査研究を推進する。</p> <p>③ 調査研究の成果が、常設展示室の内容を深めるとともに、市の歴史・文化・自然的特色を活かした独創的で自主的な企画展の開催に繋がるように努める。</p> <p>④ 調査研究の成果を積極的に公開し、一般市民と児童・生徒の地域学習教材に活かされ、市民の「アイデンティティの創出」に繋がるように努める。</p> <p>① 市の土地に由来し、市民の生活に由来のある資料と、それらに関連する資料の収集に努める。収集にあたっては、市の歴史的変遷、時代的特色、地域的特色を示す資料の調査研究を推進し、収集に努める。</p>

三 分 野 別 活 動 方 針	2. 収集・保管 (保存・修理)	② 収集された資料は、市民の文化創造の源としての価値を認識し「文化財」として取り扱い、必要に応じて保存処置や修理を施し、常に安全で安定した環境のもとでの恒久的な保存に努める。
		③ 収集・保管された資料は、データベースを整備し、デジタル化することによって資料の円滑で幅広い利活用を促進する。
		④ 沖縄戦と基地接収で流出した在外の歴史・文化遺産の調査を推進し、収集に努める。
	3. 展示・公開	① 常設展示室の固定的な展示を見直し、常に新鮮さと弾力性を失うことのない展示に努める。また、資料を五感で体感できる手法や、屋外における自然展示や敷地周辺のフィールドの恒常的な活用なども検討し、市民の地域学習と学校教育等に幅広く活用できる取り組みを推進する。
		② 市の歴史・文化・自然的特色を活かした独創的で自主的な企画展の開催に努める。そのことにより、展示内容に関心のある新たな来観者や、新鮮味を求める再度の来観者の増員に努める。
		③ 学術的に裏づけられた正確な資料と情報に基づいて展示を行う。利用者の理解を深め、利便を図るために、映像・音声・情報機器などの視聴覚機器を効果的に配備することによって、観覧者に展示の意図を分かりやすく伝える。
	4. 教育・普及 (学習支援)	<u>学校教育の支援</u> ① 学校教育との連携により、総合学習・社会科見学・職場体験学習・出前授業などの学校教育活動に対して学習課程に対応した支援活動を行い、子どもたちの育成に役立つ博物館を目指す。
		② また、博物館活動と学校教育とが各々目指す方針の接点を整理し、相互に協働して授業メニューを作成したり、調査・研究活動を行ったり、展示室を開放した企画展を開催するなど、学校との連携活動を通して「博学協働体制」の確立を目指す。
		<u>市民への教育普及</u> ① 市民が主体的に学び、自己実現を果たすことができる生涯学習の拠点となるために、学習支援の観点から、誰もが気軽に訪れ、交流する中で、楽しく学ぶことができる多様な学習機会を提供する。
		② また、図書館や公民館など、他の社会教育施設との連携を強化し、移動展示会を開催するなど、社会人や高齢者といった大人に向けた学習情報や学習機会の提供を積極的に図る。
	5. その他	① 市民参画:博物館活動の「市民参画」に向けて、一般市民と児童・生徒の自主的な「博物館友の会」との連携に努め、市民の意見を博物館の運営に反映する仕組みを整える。
		② 他館連携:県内各市町村及び民間文化施設等との連携を図り、文化施設や催し、情報及び歴史・文化遺産や各地の伝統行事・祭事日程等、県内の文化に関する幅広い情報を提供・発信できる文化情報サービス機能の整備を図る。
③ 広報活動:博物館活動の現況に関する報告、事業計画の予告、調査研究や資料収集・情報収集に関する報告などを、各種出版物、新聞紙面、インターネットなど様々な手段によって広く市民に向け周知していくことに努める。		
④ 施設管理:来観者の“快適で安全な”博物館利用を推進する。		

資料

1. 学校職員一覧

平成 27 年 4 月 1 日現在

学 校 名	校長名	教頭名	所在地	電話番号
幼 稚 園 名	園長名	副園長名		
普天間小学校	城間 健二	知念 克治	普天間 1-10-1	892-3359
普天間幼稚園	〃	知花 恭子	〃	892-2665
普天間第二小学校	喜屋武 悦子	喜屋武 千之	新城 2-8-19	892-2424
普天間第二幼稚園	〃	大広 貴子	〃	892-4430
大山小学校	目取真 淳	富山 整	大山 5-16-1	897-2174
大山幼稚園	〃	渡嘉敷 泉	〃	897-6193
大謝名小学校	大川 実	武富 誠	大謝名 5-12-1	897-2100
大謝名幼稚園	〃	仲本 りち	〃	897-4154
嘉数小学校	宮城 彰夫	下地 正晃	真栄原 1-13-1	898-2630
嘉数幼稚園	〃	野原 信哉	〃	898-6243
志真志小学校	新城 貴子	伊禮 泉文	宜野湾 3-5-1	892-1502
志真志幼稚園	〃	山口 ルミ	〃	892-1501
宜野湾小学校	比嘉 良成	與座 衛	字愛知 409	892-3006
宜野湾幼稚園	〃	高原 真紀乃	〃	892-5263
長田小学校	比嘉 秀雄	宮平 和志	長田 3-19-1	892-1177
長田幼稚園	〃	比嘉 友恵	〃	892-2411
はごろも小学校	高森 新一	宮里 寿子	大山 6-23-1	942-2040
はごろも幼稚園	〃	鈴木 涼子	〃	942-2050
普天間中学校	野原 多恵子	村上 茂	新城 2-41-1	892-3328
真志喜中学校	石川 正信	伊志嶺 清	真志喜 3-19-1	897-3651
嘉数中学校	仲田 丘	宮城 守	字我如古 423	898-2642
		石垣 吉博		
宜野湾中学校	山内 一秀	伊波 忍	赤道 1-15-1	893-1397

2. 学校医・学校歯科医・学校薬剤師一覧表

学校名	医師及び薬剤師		医院住所	電話
	医院名	氏名		
普 天 間 小 学 校 幼 稚 園	愛 知 クリニッ ク	多 和 田 健	愛知1-2-12	892-3511
	中 原 歯 科 医 院	中 原 勉	普天間1-10-14	892-3387
	—	渡 慶 次 美 保 子	普天間1-10-20	893-0219
普 天 間 第 二 小 学 校 幼 稚 園	新 垣 医 院	新 垣 善 一	野嵩2-1-7	892-6555
	あらかき 歯 科 クリニッ ク	新 垣 善 章	野嵩2-34-9	893-3883
	回 生 堂 薬 局 ユニオン 店	仲 村 廣 美	野嵩3-8-6	893-1223
大 山 小 学 校 幼 稚 園	いとむ 小 児 科 ・ 内 科	呉 屋 五 十 六	伊佐1-10-9	898-5856
	な か む ら 歯 科 医 院	仲 村 将 満	上原1-6-5	892-0990
	新 川 薬 局	小 渡 静 男	愛知3-1-61	892-4189
大 謝 名 小 学 校 幼 稚 園	海 邦 病 院	富 名 腰 徹	真志喜2-23-5	898-2111
	は ぐ ろ も フ ァ ミ リ ー 歯 科	神 下 太 一	真志喜2-13-13	898-2804
	さ わ や か 薬 局	國 吉 み どり	長田1-28-3	893-5566
嘉 数 小 学 校 幼 稚 園	岡 こ ど も クリニッ ク	岡 勇 次 郎	字宇地泊772-1	942-9255
	仲 尾 歯 科 医 院	仲 尾 義 孝	真栄原1-10-5	898-6771
	が じ ま る 薬 局	石 井 真 喜 子	西原町小那覇1602-1	835-8800
志 真 志 小 学 校 幼 稚 園	お や か わ クリニッ ク	親 川 富 憲	長田1-29-1	893-5511
	セルシ ュ テ ン タ ル クリニッ ク	梅 村 誠	我如古1-34-5	943-5430
	—	宮 本 桂 子	我如古2-36-14-407	911-3685
宜 野 湾 小 学 校 幼 稚 園	西 平 医 院	西 平 守 樹	赤道2-2-2	896-1116
	ラッキー デ ン タ ・ ラ ン ト 歯 科 クリニッ ク	福 里 剛	愛知1-5-15 2F	892-8148
	が ね こ 薬 局	金 城 守	我如古3-8-8	942-2888
長 田 小 学 校 幼 稚 園	み や ぎ 小 児 科 クリニッ ク	宮 城 仲 健	我如古447-1	898-3339
	長 田 歯 科 医 院	垣 花 賢	長田3-35-9	894-0648
	が ね こ 薬 局	金 城 守	我如古3-8-8	942-2888
は ぐ ろ も 小 学 校 幼 稚 園	古 堅 ウ ィ メ ン ズ クリニッ ク	古 堅 善 亮	大謝名165	890-1600
	せ せ ら ぎ 歯 科 クリニッ ク	金 城 英 二	伊佐2-21-13	890-1188
	び い ぶ る 薬 局	中 尾 滋 久	浦添市経塚373-1	943-5533
普 天 間 中 学 校	久 田 小 児 科 クリニッ ク	久 田 友 太 郎	野嵩2-28-5	892-1212
	お さ む フ ァ ミ リ ー 歯 科 クリニッ ク	島 袋 修	喜友名1-31-2	894-0001
	た い よ う 薬 局	新 川 祥 平	伊佐2丁目14-7	898-3311
真 志 喜 中 学 校	ま え は ら 心 療 内 科	伊 藤 礼 子	真栄原3-17-2 2F	943-3516
	な か ざ と 歯 科 医 院	仲 里 博 夫	字宇地泊701	898-3118
	う ち ど ま り 薬 局	新 城 光 枝	字宇地泊818	890-0088
嘉 数 中 学 校	眼 科 クリニッ ク 幸 地	幸 地 賢 治	宜野湾2-5-13	893-3711
	仲 村 歯 科	仲 村 晃	我如古4-5-6	897-1182
	あ い 薬 局 経 塚 店	棚 田 雅 貴	浦添市経塚633	878-1189
宜 野 湾 中 学 校	光 クリニッ ク	金 城 光 世	嘉数2-2-1	898-2233
	わ か ば の 森 歯 科 医 院	森 誠	赤道1-1-1-201	892-0788
	が ね こ 薬 局	金 城 守	我如古3-8-8	942-2888

3. 宜野湾市就学指導委員会委員

任期：平成27年7月1日から平成29年6月30日まで

	氏名	役職名等	資格区分	選任区分
1	仲田 丘	宜野湾市立嘉数中学校 校長	第1号 委員	新任
2	目取真 淳	宜野湾市立大山小学校 校長	第1号 委員	新任
3	喜友名 朝美	宜野湾市立普天間小学校 教諭 特別支援学級担任(知的)	第2号 委員	新任
4	下地 洋子	宜野湾市立普天間第二小学校 教諭 言語通級指導教室担任	第2号 委員	新任
5	外間 朝子	宜野湾市立はごろも小学校 教諭 特別支援学級担任(知的)	第2号 委員	新任
6	仲本 まり	宜野湾市立大謝名小学校 教諭 特別支援学級担任(知的)	第2号 委員	新任
7	新城 倫子	宜野湾市立嘉数小学校 教諭 特別支援学級(知的)	第2号 委員	新任
8	屋良 美奈子	宜野湾市立志真志小学校 教諭 特別支援学級担任(情緒)	第2号 委員	新任
9	嶺井 ゆかり	宜野湾市立長田小学校 教諭 特別支援学級担任(情緒)	第2号 委員	新任
10	宮良 秀美	宜野湾市立宜野湾小学校 教諭 特別支援学級担任(情緒)	第2号 委員	新任
11	与那覇 可代子	宜野湾市立普天間中学校 教諭 特別支援学級担任(情緒)	第2号 委員	新任
12	宮城 仲健	専門医 みやぎ小児科 クリニック医院長	第3号 委員	新任
13	多和田 稔	学識経験者 前嘉数小学校 校長	第4号 委員	新任
14	我如古 昭子	沖縄県立美咲特別支援学校 はなさき分校 教諭	第5号 委員	新任
15	西田 佐希子	青少年サポートセンター 臨床心理士 市職員	第6号 委員	新任
16	野原 信哉	宜野湾市立嘉数幼稚園 副園長	第6号 委員	新任
17	知念 春美	はごろも学習センター 所長	第6号 委員	新任
18	外間 理絵	福祉推進部保育課 臨床心理士 市職員	第7号 委員	新任
19	山城 久美子	宜野湾市立うなばら保育所 所長	第7号 委員	新任
20	城間 健	福祉推進部障がい福祉課 市職員	第7号 委員	新任

4. 宜野湾市学校給食センター運営委員会委員

任期：平成26年7月20日から平成27年7月19日まで

	氏名	役職等	資格区分	選任区分
1	城間 健二	普天間小学校 校長	第1号委員	新任
2	古堅 宗篤	嘉数小学校 校長	第1号委員	新任
3	比嘉 秀雄	長田小学校 校長	第1号委員	新任
4	新城 貴子	志真志小学校 校長	第1号委員	新任
5	野原 多恵子	普天間中学校 校長	第1号委員	新任
6	島袋 盛吉	真志喜中学校 校長	第1号委員	新任
7	仲田 丘	嘉数中学校 校長	第1号委員	新任
8	山内 一秀	宜野湾中学校 校長	第1号委員	再任
9	宮城 靖英	普天間第二小学校 PTA会長	第2号委員	新任
10	仲松 宏	大山小学校 PTA会長	第2号委員	新任
11	石原 昌直	宜野湾小学校 PTA会長	第2号委員	新任
12	名嘉 康敏	大謝名小学校 PTA会長	第2号委員	新任
13	嘉味田 朝紀	はごろも小学校 PTA会長	第2号委員	新任
14	江口 麻衣	普天間第二学校給食センター 栄養職員	第3号委員	新任
15	金城 実可子	大山学校給食センター 栄養職員	第3号委員	新任
16	伊差川 薫子	真志喜学校給食センター 栄養教諭	第3号委員	再任
17	伊禮 夏未	宜野湾学校給食センター 栄養職員	第3号委員	再任
18	高良 俊二	宜野湾学校給食センター 調理係長	第4号委員	再任
19	護得久 朝晶	真志喜学校給食センター 調理員	第4号委員	新任
20	岸本 健一	大山学校給食センター 調理係長	第4号委員	再任
21	又吉 修	普天間第二学校給食センター 調理係長	第4号委員	新任
22	伊佐 英明	教育委員会 指導部次長	第4号委員	新任
23	伊波 義雄	学識経験者	第5号委員	再任
24	仲地 良紀	宜野湾市PTA連合会 会長	第6号委員	再任
25	我如古 怜子	宜野湾市会計管理者	第6号委員	新任
26	松川 勉	JA沖縄宜野湾支店経済部 部長	第6号委員	再任
27	本永 好美	JA沖縄宜野湾支店女性部 部長	第6号委員	再任

5. 宜野湾市はごろも学習センター運営委員会委員

	氏名	役職名等	任期
1	多和田 稔	元宜野湾市立嘉数小学校 校長	H26. 7. 1～H28. 6.30
2	上間 和子	元沖縄市立中の町小学校 校長	H26. 7. 1～H28. 6.30
3	仲本 賢輝	元適応指導教室担当 元宜野湾中学校 校長	H26. 7. 1～H28. 6.30
4	中村 絹江	元宜野湾市PTA連合会 会長	H26. 7. 1～H28. 6.30
5	仲村 和也	宜野湾市青少年健全育成連絡協議会 総務部長	H26. 7. 1～H28. 6.30
6	米盛 徳市	琉球大学教育学部 教授	H26. 7. 1～H28. 6.30
7	宮城 彰夫	宜野湾市立嘉数小学校 校長	H27. 7. 7～H28. 6.30
8	仲田 丘	宜野湾市立嘉数中学校 校長	H27. 7. 7～H28. 6.30
9	森本 雅人	宜野湾市教育委員会 指導課 指導主事	H26. 7. 1～H28. 6.30
10	比嘉 広和	宜野湾市役所 総務部 IT推進室 係長	H26. 7. 1～H28. 6.30

6. 宜野湾市社会教育委員

	氏名	役職名等	任期
1	中曾根 昌一	元学校 校長	H26. 6. 1～H28. 5.31
2	宮城 政一	元学校 校長	H26. 6. 1～H28. 5.31
3	佐久川 紀成	元学校 校長	H26. 6. 1～H28. 5.31
4	沖山 サト	生涯学習コーディネーター	H26. 6. 1～H28. 5.31
5	新城 道子	宜野湾市婦人連合会 会長	H26. 6. 1～H28. 5.31
6	田村 尚	宜野湾市PTA連合会 会長	H27. 6. 1～H28. 5.31
7	喜屋武 悦子	宜野湾市立普天間第二小学校 校長	H27. 6. 1～H28. 5.31
8	新城 清子	宜野湾市自治会長会 会長	H26. 6. 1～H28. 5.31

7. 宜野湾市立中央公民館運営審議会委員

	氏名	役職名等	任期
1	宮城 政一	元高校校長 元宜野湾市立中央公民館 館長	H26. 6. 1～H28. 5.31
2	知念 春美	はごろも学習センター 所長	H26. 6. 1～H28. 5.31
3	山内 一秀	宜野湾市立宜野湾中学校 校長	H26. 6. 1～H28. 5.31
4	川村 和久	宜野湾市立普天間第二小学校 校長	H26. 6. 1～H28. 5.31
5	波平 道子	宜野湾市婦人連合会 副会長	H26. 6. 1～H28. 5.31
6	崎山 和子	宜野湾市青少年健全育成協議会 事務局長	H26. 6. 1～H28. 5.31
7	渡名喜 庸松	宜野湾市子ども会育成者連絡協議会 会長	H26. 6. 1～H28. 5.31
8	屋嘉比 盛栄	宜野湾市自治会長会 代表 (普天間一区自治会長)	H26. 6. 1～H28. 5.31
9	沖山 サト	宜野湾市立中央公民館サークル 連絡協議会 会長	H26. 6. 1～H28. 5.31
10	金城 美香	宜野湾市立中央公民館サークル連絡協議会	H26.11.1～H28.10.31

8.宜野湾市民図書館協議会委員

	氏名	役職名等	任期
1	吉田 肇吾	沖縄国際大学講師	H26. 8.1～H28. 7.31
2	稲嶺 昭子	沖縄県子どもの本研究会 会員	H26. 8.1～H28. 7.31
3	奥間 初子	宜野湾市子育て支援ブックスタートスタッフ	H26. 8.1～H28. 7.31
4	大城 貴子	宜野湾市読み聞かせ会「子どもの島」 会員	H26. 8.1～H28. 7.31
5	多良間 佐和子	宜野湾市婦人連合会	H26. 8.1～H28. 7.31
6	新垣 真弓	宜野湾市PTA連合会 副会長	H27. 7.10～H28. 7.31
7	宮城 香子	学校図書館 司書	H26. 8.1～H28. 7.31
8	松田 朝仁	宜野湾市自治会 会長	H26. 8.1～H28. 7.31
9	喜屋武 悦子	宜野湾市立普天間第二小学校 校長	H27. 7.10～H28. 7.31
10	仲田 丘	宜野湾市立嘉数中学校 校長	H27. 7.10～H28. 7.31

9.宜野湾市立博物館協議会委員

	氏名	役職名等	任期
1	大川 実	宜野湾市立大謝名小学校 校長	H27. 6. 1～H28. 5.31
2	仲田 丘	宜野湾市立嘉数中学校 校長	H27. 6. 1～H28. 5.31
3	新垣 義夫	普天満宮 宮司	H26. 6. 1～H28. 5.31
4	波平 道子	宜野湾市婦人連合会 副会長	H26. 6. 1～H28. 5.31
5	名城 清	真志喜区自治会 会長	H26. 6. 1～H28. 5.31
6	波平 エリ子	沖縄国際大学・沖縄大学 非常勤講師	H26. 6. 1～H28. 5.31
7	池田 榮史	琉球大学法文学部 教授	H26. 6. 1～H28. 5.31
8	大城 逸朗	おきなわ石の会 会長	H26. 6. 1～H28. 5.31
9	田名 真之	沖縄国際大学総合文化学部 教授	H26. 6. 1～H28. 5.31

10.宜野湾市文化財保護審議会委員

	氏名	役職名等	任期
1	赤嶺 政信	琉球大学法文学部 教授 民俗(有形民俗文化財)	H26. 6. 1～H28.5.31
2	新垣 義夫	普天満宮 宮司 芸能(無形文化財)	H26. 6. 1～H28.5.31
3	池田 榮史	琉球大学法文学部 教授 考古(史跡)	H26. 6. 1～H28.5.31
4	大城 逸朗	おきなわ石の会 会長 地質(名勝・天然記念物)	H26. 6. 1～H28.5.31
5	崎浜 靖	沖縄国際大学 准教授 地理(名勝・天然記念物)	H26. 6. 1～H28.5.31
6	田名 真之	沖縄国際大学 教授 歴史(有形文化財・古文書)	H26. 6. 1～H28.5.31
7	嵩元 政秀	沖縄考古学会 元会長 考古(史跡)	H26. 6. 1～H28.5.31
8	波平 エリ子	沖縄大学 非常勤講師 民俗(有形民俗文化財)	H26. 6. 1～H28.5.31
9	福島 駿介	琉球大学 名誉教授 建築(有形文化財・建造物)	H26. 6. 1～H28.5.31
10	比嘉 悦子	沖縄県立芸術大学 非常勤講師 民俗音楽 (無形民俗文化財)	H27. 4. 1～H28.5.31

11.宜野湾市史編集委員会委員

	氏名	役職名等	任期
1	江上 幹幸	元沖縄国際大学 教授	H27. 1. 1～H28.12.31
2	崎浜 靖	沖縄国際大学 准教授	H27. 1. 1～H28.12.31
3	田名 真之	沖縄国際大学 教授	H27. 1. 1～H28.12.31
4	仲村 元惟	元学校 校長	H27. 1. 1～H28.12.31
5	辻 雄二	琉球大学 教授	H27. 1. 1～H28.12.31
6	波平 エリ子	沖縄大学 沖縄国際大学 非常勤講師	H27. 1. 1～H28.12.31
7	松川 章	浦添市文化課 課長	H27. 1. 1～H28.12.31
8	吉浜 忍	沖縄国際大学 教授	H27. 1. 1～H28.12.31
9	比嘉 悦子	民族音楽研究家	H27. 1. 1～H28.12.31
10	高江洲 敦子	沖縄国際大学 非常勤講師	H27. 1. 1～H28.12.31

12.宜野湾市スポーツ推進委員

	氏名	任期
1	安里 直司	H27. 4. 1～H29. 3.31
2	伊波 徹	H27. 4. 1～H29. 3.31
3	我如古 盛朝	H27. 4. 1～H29. 3.31
4	小浜 裕子	H27. 4. 1～H29. 3.31
5	呉屋 千賀子	H27. 4. 1～H29. 3.31
6	友寄 辰六	H27. 4. 1～H29. 3.31
7	比嘉 盛政	H27. 4. 1～H29. 3.31
8	平安名 典子	H27. 4. 1～H29. 3.31
9	宮城 直久	H27. 4. 1～H29. 3.31
10	宮城 春美	H27. 4. 1～H29. 3.31
11	宮里 大悟	H27. 4. 1～H29. 3.31
12	宇良 千明	H27. 4. 1～H29. 3.31
13	宮城 輝久	H27. 4. 1～H29. 3.31
14	与那覇 彩香	H27. 4. 1～H29. 3.31
15	宮城 卓	H27. 4. 1～H29. 3.31
16	上原 朋也	H27. 4. 1～H29. 3.31

(1967年7月1日)
制 定

宜野湾市の歌

明るくはつらつと

野田猛良 作詩
田場盛徳 作曲

The musical score is written on a grand staff with a treble clef and a key signature of one flat (B-flat). The time signature is 4/4. The score consists of six lines of music. The lyrics are written below the notes. Dynamics include *mf*, *mf*, *mp*, *f*, and *mf*. There are also accents and slurs throughout the piece.

かかす こうだ い そー ら は れ て
の ほ る あ さ ひ に は つ ら つ と
き ほ う の ひ か り て り は え る あ
あ や く し ん の わ か き ま ち わ が
ぎ の わ ん に し あ わ せ を み ん
な で き ず こ う き ず く の だ

宜野湾市の歌

作詩 野田猛良
作曲 田場盛徳

一

嘉数高台 空晴れて
のほる朝日に はつらつと
希望のひかり 照りはえる
ああ羅進の 若きまち
わが宜野湾に しあわせを
みんなできずこう きずくのだ

二

権現さまも あらたかに
朝夕よせる 人の波
のびる産業 建設に
見よ勤労の 若きまち
わが宜野湾に 繁栄を
みんなで招こう 招くのだ

三

歴史はひかる 黄金宮
豊に文化 花咲きて
明るい自治と 人の和に
ああひらけゆく 若きまち
わが宜野湾の 栄光を
みんなであうたおう たたえよう

